

(12)特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局(43) 国際公開日
2004 年 5 月 13 日 (13.05.2004)

PCT

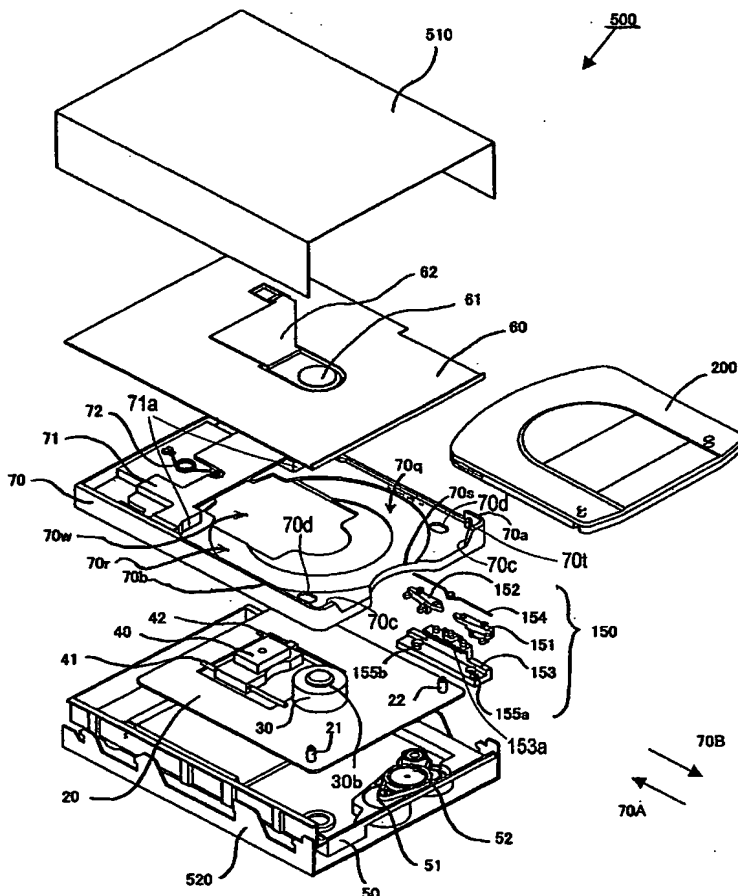
(10) 国際公開番号
WO 2004/040569 A1

- (51) 国際特許分類: G11B 17/04 (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 松下電器産業株式会社 (MATSUSHITA ELECTRIC INDUSTRIAL CO., LTD.) [JP/JP]; 〒571-8501 大阪府 門真市 大字門真 1 0 0 6 番地 Osaka (JP).
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2003/013965
- (22) 国際出願日: 2003 年 10 月 30 日 (30.10.2003)
- (25) 国際出願の言語: 日本語 (72) 発明者; および
- (26) 国際公開の言語: 日本語 (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 稲田 真寛 (INATA, Masahiro) [JP/JP]; 〒664-0001 兵庫県 伊丹市 荒牧字野ノ口 2 0 - 3 - B - 4 0 4 Hyogo (JP). 江澤 弘造 (EZAWA, Kozo) [JP/JP]; 〒573-0049 大阪府 枚方市 山之上北町 3 3 - 3 4 Osaka (JP). 佐治 義人 (SAJI, Yoshito) [JP/JP]; 〒659-0043 兵庫県 芦屋
- (30) 優先権データ:
特願2002-320201 2002 年 11 月 1 日 (01.11.2002) JP
特願2003-289287 2003 年 8 月 7 日 (07.08.2003) JP

[続葉有]

(54) Title: DISC DRIVE

(54) 発明の名称: ディスクドライブ装置



(57) Abstract: A disc drive suitable for a disc cartridge comprising an opening through which a head accesses a disc, a shutter for opening/closing the opening, and a rotator partially provided with a gear part and first and second cut parts on the opposite sides of the gear part and engaging with the shutter. The disc drive comprises a shutter drive mechanism including a rack part engaging with the gear part and first and second drive levers engaging, respectively, with the first and second cut parts and being supported rotatably, and a cam structure for driving the first and second drive levers of the shutter drive mechanism to oscillate as a section for carrying the disc cartridge moves, wherein the rotator is rotated such that the first and second cut parts of the disc cartridge held by the carrying section and the gear part engage with the shutter drive mechanism to open/close the shutter.

[続葉有]



市 潮見町 27-11 Hyogo (JP). 滝沢 輝之 (TAK-IZAWA, Teruyuki) [JP/JP]; 〒572-0019 大阪府 寝屋川市 三井南町 30-5-707 Osaka (JP).

(74) 代理人: 奥田 誠司 (OKUDA, Seiji); 〒540-0038 大阪府 大阪市 中央区 内波路町一丁目 3番 6号 片岡ビル 2階 奥田国際特許事務所 Osaka (JP).

(81) 指定国 (国内): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.

(84) 指定国 (広域): ARIPO 特許 (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア特許 (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ特許 (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IT, LU, MC, NL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI 特許 (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

— 国際調査報告書

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

(57) 要約:

本発明は、ヘッドがディスクヘアクセスするための開口と、開口を開閉するシャッタと、一部にギア部とギア部を挟むように第1および第2の切り欠き部とが設けられ、シャッタと係合している回転体とを備えたディスクカートリッジに適合している。

ディスク装置は、ギア部と係合するラック部と、第1および第2の切り欠き部とそれぞれ係合し、回転可能なように支持される第1および第2の駆動レバーとを含むシャッタ駆動機構と、ディスクカートリッジを搬送する搬送部が移動するのにしたがって、揺動するようにシャッタ駆動機構の第1および第2の駆動レバーを駆動するカム構造を有し、搬送部に保持されたディスクカートリッジの第1の切り欠き部、第2の切り欠き部およびギア部とシャッタ駆動機構とが係合し、シャッタを開閉するように回転体を回転させる。

明 細 書

ディスクドライブ装置

技術分野

本発明は、カートリッジ型の収納体に収納された光ディスクあるいは磁気ディスクなどの、ディスク状のデータ記憶媒体にデータを記録することおよび／またはデータ記憶媒体からデータを再生することを行うディスク装置に関する。

背景技術

ディスク状のデータ記憶媒体が、コンピュータを用いる機器用のソフトウェアやデータ、あるいは、音楽や映像など、種々の情報を記憶するために広く利用されている。データの記録または再生には、光ビームあるいは磁気を用いられ、光ビーム利用するデータ記憶媒体には、CDやDVDなどがある。磁気を利用するデータ記憶媒体にはフロッピーディスクが従来より用いられている。また、光ビームおよび磁気を利用するデータ記憶媒体にはMOやMD等がある。

特に、データの書き換えを行うことが可能なデータ記憶媒体は、記憶されたデータの保護の観点から、カートリッジ型の収納ケースに収納されている。

日本特許公開番号（特開平）9-153264号公報は、このようなカートリッジ型の収納ケース（以下ディスクカートリッジと呼

ぶ) の一例を開示している、図 6 3 に示すように、ディスクカートリッジ 1 0 0 は、記録および／または再生可能なディスク 1 0 を収納するカートリッジ本体 1 0 1 を備えている。カートリッジ本体 1 0 1 は、スピンドルモータなどのディスク 1 0 を回転させる駆動部および記録および／または再生を行うヘッドがカートリッジ本体 1 0 1 に侵入し、ディスク 1 0 に接近するための開口 1 0 1 w をカートリッジ本体 1 0 1 の上面および下面に有する。

また、ディスクカートリッジ 1 0 0 は、カートリッジ本体 1 0 1 の上面および下面にある開口 1 0 1 w を覆い、開口 1 0 1 w より露出したディスク 1 0 の面を保護するために、四角い底部を有した C 型の断面のシャッタ 1 0 3 を備えている。

図 6 3 に示すように、シャッタ 1 0 3 は、矢印 P 方向へ移動し得る。パネ（不図示）により開口 1 0 1 w が閉じられた状態となるようにシャッタ 1 0 3 は付勢されており、特に外力が加わらない時にはディスク 1 0 が露出しないようにシャッタ 1 0 3 が開口 1 0 1 w を閉じている。

ディスク装置（図示せず）を用いてディスクカートリッジ 1 0 0 にデータを記録したり、ディスクカートリッジ 1 0 0 からデータを再生したりする場合、ディスク装置に設けられたシャッタオープナ 1 0 4 を利用する。具体的には、シャッタ 1 0 3 のノッチ部 1 0 3 a にシャッタオープナ 1 0 4 の突起 1 0 4 a を係合させ、ディスクカートリッジ 1 0 0 をディスク装置に対して矢印 Q 方向へ移動させる。これにより、シャッタオープナ 1 0 4 は、回動中心 1 0 4 b を

中心として矢印R方向へ回転し、シャッタ111が矢印P方向へ移動する。これにより、シャッタ103を開放させることができる。

ディスクカートリッジ100のシャッタ103は上述したように四角い底部を有したC型の断面を備えている。このような形状のシャッタは一般に製造が難しく、また、シャッタが安定してスライドするためには、高い精度でシャッタを加工する必要がある。このため、部品コストが高くなり、ひいてはディスクカートリッジ100自体のコストが高くなる。

また、シャッタ103の上述した構造は、カートリッジ本体101の上面および下面にある開口101wを閉塞した状態でも、シャッタ103とカートリッジ本体101との間に隙間を生じさせやすい。このため、ディスクカートリッジ100内への塵埃の侵入を十分に防止することが難しく、ディスク10にデータを記録し、ディスク10からデータを再生する際に、エラーが生じる可能性が高まる。

このような課題を解決する構造を備えたディスクカートリッジの一例として、日本特許公開番号（特開）2002-50148号公報は、平板状の複数のシャッタにより開口部を開閉する構造を備えたディスクカートリッジを開示している。図64はこのカートリッジ200の斜視図である、図65はカートリッジ200の構成部品を分解して示す斜視図である。

ディスクカートリッジ200は、上体211および下体212によって構成されるカートリッジ本体210を備えている。下体21

2 は、スピンドルモータなどのディスク 10 を回転させる駆動部、および、記録／再生を行うヘッドがカートリッジ本体 210 に侵入し、ディスク 10 に接近するための開口 212w をその底面に有する。下体 212 の外面には、ディスク装置（図示せず）内におけるディスク 10 と平行な面内におけるディスクカートリッジ 200 の位置を決定するための位置決め穴 215a および 215b、および、ディスクカートリッジ 200 の表裏を逆に装填することを防止するための切り欠き 212t が設けられている。また、下体 212 の内面には、第 1 のリンク支軸 212a および第 2 のリンク支軸 212b が設けられている。図 65 に示すように、下体 212 の側面には後述する回転体 230 の外周の一部を露出する開口 212g が設けられており、開口 212g の両端にはガイド部 212G および 212H が設けられている。

カートリッジ本体 210 の内部には、開口 212w を閉塞するためのシャッタ部 220 と、ディスク 10 の中心とほぼ一致する点を中心として回動する回転体 230 と、ロック部材 225 とが備えられている。シャッタ部 220 は、第 1 のシャッタ 221 と第 2 のシャッタ 222 とで構成される。

回転体 230 は円板形状を有し、シャッタ部 220 が完全に開放状態になったとき、開口部 212w と一致するような位置および形状を備えた開口部 230w を有している。また、回転体 230 の側面には、外部から回転体 230 を回転駆動させるための第 1 の切り欠き部 231 と、第 2 の切り欠き部 232 と、これらの間に位置す

るギア部 2 3 3 が設けられている。回転体 2 3 0 のシャッタ部 2 2 0 と対向する面には、第 1 のシャッタ 2 2 1 および第 2 のシャッタ 2 2 2 のための回転支軸 2 3 0 a および 2 3 0 b が設けられている。

第 1 のシャッタ 2 2 1 および第 2 のシャッタ 2 2 2 は、それぞれ、回転支軸 2 3 0 a および 2 3 0 b が挿入される回動中心穴 2 2 1 a および 2 2 2 a と、第 1 のリンク支軸 2 1 2 a および第 2 のリンク支軸 2 1 2 b がそれぞれ挿入されるリンク溝 2 2 1 b および 2 2 2 b とを有する。このため、第 1 のシャッタ 2 2 1 および第 2 のシャッタ 2 2 2 は、回転支軸 2 3 0 a および 2 3 0 b を中心にそれぞれ回転する。

ロック部材 2 2 5 は、下本体 2 1 2 に設けられている回転軸 2 1 2 c に回動自在に支持されており、開口部 2 1 2 w が閉じている時、ロック部材 2 2 5 の凸部 2 2 5 a と回転体 2 3 0 の第 2 の切り欠き部 2 3 2 とが係合する。これにより、回転体 2 3 0 の回転をロックする。

ディスクカートリッジ 2 0 0 において、上部本体 2 1 1 はディスク 1 0 の上面全体を覆うので、ディスク 1 0 をクランプするクランプ 2 4 0 が内包されている。

次に、図 6 6 から図 6 8 を参照して、ディスクカートリッジ 2 0 0 のシャッタ部 2 2 0 の開閉動作を説明する。図 6 6、図 6 7 および図 6 8 は、それぞれシャッタ部 2 2 0 が完全に閉塞した状態、開く途中の状態および完全に開放した状態を示している。

図 6 6 に示すように、ロック部材 2 2 5 の操作部 2 2 5 b を矢印

P方向に押すと、ロック部材225は、回転軸212cを中心に矢印225Aの方向に回転する。このため、ロック部材225の凸部225aと回転体230の第2の切り欠き部232との係合が解除され、回転体230が回転可能となる。操作部225bを操作し、回転体230のロックを解除した状態で、回転体230を矢印S方向へ回転させると、第1の回転支軸230aおよび第2の回転支軸230bがそれぞれ矢印T1方向および矢印U1方向に回転する。これにともない、第1のシャッタ221の回転中心穴221aおよび第2のシャッタ222の回転中心穴222aが同じ方向に回転する。また、リンク溝221bおよびリンク溝222bが第1のリンク支軸212aおよび第2のリンク支軸212bに沿って、それぞれ、矢印T2方向および矢印U2へスライドする。

回転体230を矢印Sの方向へ回転させ続けると、図67に示すように、第1のシャッタ221および第2のシャッタ222が回転中心穴221aおよび回転中心穴222aを中心として矢印T1およびU1の方向に回転しながら、矢印T2およびU2の方向へ移動する。その結果、図68に示すように、シャッタ部220が完全に開放した状態となる。この時下体212の開口部212wと回転体230の開口部230wがほぼ一致し、ディスクカートリッジ200に収納されたディスク10に対して、スピンドルモータなどのディスク10を回転駆動させる駆動部と、記録および／または再生を行うヘッドがカートリッジ本体210内に侵入し、ディスク10に接近することが可能となる。

開口部 2 1 2 w を閉塞するためには、上記開動作の逆動作、すなわち回転体 2 3 0 を矢印 S' 方向に回転することにより行う。図 6 7 に示すように、シャッタ部 2 2 0 が閉塞し、開口部 2 1 2 w が完全に閉じた状態になると、ロック部材 2 2 5 は、ロック部材 2 2 5 に設けられた弾性部 2 2 5 c によって回転軸 2 1 2 c を中心に 2 2 5 A' の方向へ回転し、再び回転体 2 3 0 の第 2 の切り欠き部 2 3 2 とロック部材 2 2 5 の凸部 2 2 5 a が係合する。これにより、回転体 2 3 0 の回転をロックし、シャッタの閉動作が完了する。

このように、第 1 のシャッタ 2 2 1 および第 2 のシャッタ 2 2 2 のリンク溝 2 2 1 b および 2 2 2 b が下体 2 1 2 の第 1 のリンク支軸 2 1 2 a および第 2 のリンク支軸 2 1 2 b に挿入されているため、回転体 2 3 0 は任意に回転するわけではなく、シャッタ部 2 2 0 が開放した状態と閉塞した状態との間で所定の角度だけ回転し得る。回転体 2 3 0 がカートリッジ本体 2 1 0 に対してとり得る回転角度のいずれにおいても、カートリッジ本体 2 1 0 の側面に設けられた開口 2 1 2 g から第 1 の切り欠き部 2 3 1、第 2 の切り欠き部 2 3 2 およびギア部 2 3 3 の少なくともいずれかひとつが露出している。このため、第 1 の切り欠き部 2 3 1、第 2 の切り欠き部 2 3 2 およびギア部 2 3 3 の少なくともいずれか 1 つと係合して、回転体 2 3 0 を回転させることにより、シャッタ部 2 2 0 がどのような状態にあっても、シャッタ部 2 2 0 を動作させることができる。

ディスクカートリッジ 2 2 0 の上記シャッタ部の動作を安定して行うためには、ディスクカートリッジを確実に保持する必要がある。

例えば、図 6 6 から図 6 8 に示すように、カートリッジ本体 2 1 0 (図では下体 2 1 2 のみを示している) の側面を保持する保持部材 2 1 0 a および 2 1 0 b をディスク装置に設けるのが、最も簡便かつ確実な方法である。

図 6 9 および図 7 0 に示すように、日本特許公開特開 2 0 0 2 - 5 0 1 4 8 号公報は、上記の回転体 2 3 0 を回動させるための手段として、直線的に配置された第 1 の係合凸部 2 5 1 と、ギア部 2 3 3 と、第 2 の係合凸部 2 5 2 とを含むラック棒 2 5 0 を開示している。第 1 の係合凸部 2 5 1、ギア部 2 3 3 および第 2 の係合凸部 2 5 2 は、回転体 2 3 0 の側面に設けられた第 1 の切り欠き部 2 3 1、ギア部 2 3 3 および第 2 の切り欠き部 2 3 2 とそれぞれ係合する。第 1 の切り欠き部 2 3 1 が形成されている側面部 2 3 1 a は、ギア部 2 3 3 の歯先面と同じ高さの面であり、また、第 2 の切り欠き部 2 3 2 が形成されている側面部 2 3 2 a は、ギア部 2 3 3 の歯底面と同じ高さである。

シャッタ部 2 2 0 の開閉を行う場合、図 6 9 に示す位置から図 7 0 に示す位置まで、矢印 2 5 0 A の方向へラック棒 2 5 0 をディスクカートリッジ 2 0 0 の側面に対しておおよそ平行に移動させ、回転体 2 3 0 を前述したように回転させる。

しかし、このように一体成形されたラック棒 2 5 0 をディスクカートリッジ 2 0 0 の側面でスライドさせるためには、ディスクカートリッジ 2 0 0 側面近傍にラック棒 2 5 0 がディスクカートリッジ 2 0 0 に対して相対的に移動するための空間が必要となる。

このため、ディスクカートリッジ 200 を安定に保持するための保持部材 210 a とラック棒 250 の移動空間とが干渉し、ラック棒 250 の移動空間を確保する場合には、保持部材 210 a を用いてディスクカートリッジ 200 を安定して保持することができないという問題が生じる。

また、ラック棒 250 が一体成型されている場合、ラック棒 250 と回転部材 230 との係合にラック棒 250 を構成する樹脂の弾性を利用する。このため、ラック棒 250 の弾性が十分に適切に制御できず、ディスクカートリッジ 200 の外形形状との引っかかりが生じたり、開閉動作の繰り返しによって、ラック棒 250 が塑性変形し、回転部材 230 とラック棒 250 との係合が不完全になったりする可能性がある。

発明の開示

本発明は上記の課題を鑑み、回転体を回動させることによりシャッタを開閉させるディスクカートリッジに適合し、簡便な構成で、安定、確実にディスクカートリッジのシャッタを開閉することのできるディスク装置を提供することを目的とする。

本発明のディスク装置は、ディスクと、前記ディスクを収納する本体と、前記本体に設けられており、データの記録および／または再生を行うヘッドが前記ディスクへアクセスするための開口と、前記開口を開閉するシャッタと、一部にギア部と前記ギア部を挟むように第 1 および第 2 の切り欠き部とが設けられ、前記シャッタと係

合している回転体とを備えたディスクカートリッジに適合している。ディスク装置は、前記ディスクを回転させるためのモータ、前記モータが前記ディスクを回転させることができる位置と前記ディスクカートリッジを前記ディスク装置に対して装填または取り出しを行う位置との間で前記ディスクカートリッジを保持し、搬送する搬送部、前記データの記録および／または再生を行うヘッド、および

前記ギア部と係合するラック部と、前記第 1 および第 2 の切り欠き部とそれぞれ係合し、回転可能なように支持される第 1 および第 2 の駆動レバーとを含むシャッタ駆動機構を備え、前記搬送部は、前記搬送部が移動するのにしたがって、揺動するように前記シャッタ駆動機構の第 1 および第 2 の駆動レバーを駆動する第 1 のカム構造を有し、前記搬送部が移動することにより、前記搬送部に保持されたディスクカートリッジの第 1 の切り欠き部、第 2 の切り欠き部およびギア部と前記シャッタ駆動機構とが係合し、前記シャッタを開閉するように前記シャッタ駆動機構が前記回転体を回転させる。

ある好ましい実施形態において、前記第 1 および第 2 の駆動レバーは、前記ラック部に回転可能なように支持されている。

ある好ましい実施形態において、前記第 1 および第 2 の駆動レバーは、前記第 1 および第 2 の切り欠き部と係合する係合部をそれぞれ有し、前記シャッタ駆動機構は、前記第 1 および第 2 の駆動レバーの係合部が前記搬送部側へ付勢されるように前記第 1 および第 2 の駆動レバーを付勢する。

ある好ましい実施形態において、前記シャッタ駆動機構は、前記

ラック部を前記搬送部の搬送方向に対して直交する方向において移動可能なように支持するベース部と、前記ラック部材を前記搬送部側へ付勢する第２の付勢構造とをさらに含む。

ある好ましい実施形態において、前記搬送部は、前記ラック部を前記搬送方向に対して直交する方向へ駆動する第２のカム構造を有する。

ある好ましい実施形態において、前記搬送部は、前記シャッタ駆動機構と面する側面を有し、前記第１のカム構造および前記第２のカム構造は前記側面に設けられている。

ある好ましい実施形態において、前記搬送部は、前記ディスクカートリッジを所定の位置に保持するガイド壁を有している。

ある好ましい実施形態において、前記第１のカム構造は前記１の駆動レバーおよび前記第２の駆動レバーと当接する。

ある好ましい実施形態において、前記第２のカム構造は前記ラック部と当接する第２の案内面を有する。

ある好ましい実施形態において、前記搬送部は、前記シャッタ駆動機構と面する側面を有し、前記第１の案内面および前記第２の案内面は、前記搬送部の側面に互いに平行に配置されている。

ある好ましい実施形態において、前記第１および第２の駆動レバーの係合部が前記第１の切り欠き部および第２の切り欠き部とのみ係合し、前記ディスクカートリッジの側面の他の部分とは接触しないよう前記第１のカム構造が前記第１および第２の駆動レバーを駆動する。

ある好ましい実施形態において、シャッタ駆動機構は前記搬送部をガイドするガイドリブを有する。

ある好ましい実施形態において、前記ガイドリブは前記ラック部に設けられている

ある好ましい実施形態において、前記ガイドリブは前記ベース部に設けられている。

ある好ましい実施形態において、前記回転体に設けられた前記第2の切り欠き部とギア部の前記第2の切り欠き部に近接した一端に位置する歯または溝とのピッチは、前記第2の駆動レバーの係合部と前記ラック部の前記第2の駆動レバーに近接した一端に位置する溝または歯とのピッチと等しい。

ある好ましい実施形態において、前記回転体に設けられた前記第2の切り欠き部とギア部の前記第2の切り欠き部に近接した一端に位置する歯または溝とのピッチは、前記第2の駆動レバーの係合部と前記ラック部の前記第2の駆動レバーに近接した一端に位置する溝または歯とのピッチに対して1歯分長くなっている。

ある好ましい実施形態において、前記ディスクカートリッジのシャッタが閉塞動作を行う場合、前記第2の駆動レバーが前記第1の駆動レバーより先に前記ディスクカートリッジの回転体と係合するように、第1のレバーおよび第2のレバーは前記シャッタ駆動機構に配置されており、前記ラック部の前記第2のレバーに最も近接した歯は面取りが施されている。

ある好ましい実施形態において、前記第2の付勢構造の付勢力は、

前記第 1 の付勢構造よりも大きい。

ある好ましい実施形態において、前記搬送部が前記ディスクカートリッジを前記ディスク装置に対して装填を行う際、前記第 1 の駆動レバー、前記ラック部および前記第 2 の駆動レバーが順に前記ディスクカートリッジの回転体と接触するように前記第 1 のカム構造は前記第 1 の駆動レバーおよび前記第 2 の駆動レバーを駆動する。

ある好ましい実施形態において、前記搬送部が前記ディスクカートリッジを前記ディスク装置に対して装填を行う際、前記第 1 の駆動レバー、前記ラック部および前記第 2 の駆動レバーが順に前記ディスクカートリッジの回転体と接触するように前記第 1 のカム構造は前記第 1 の駆動レバーおよび前記第 2 の駆動レバーを駆動し、前記第 2 のカム構造が前記ラック部を駆動する。

ある好ましい実施形態において、前記搬送部が前記ディスクカートリッジを前記ディスク装置から排出する際、前記ラック部は前記ギア部と少なくとも第 1 の位置および第 2 の位置において噛み合うことが可能であり、第 1 の位置および第 2 の位置のいずれにおいて前記ラック部が前記ギア部と噛み合った場合でも、前記シャッタを閉塞することが可能である。

ある好ましい実施形態において、前記ディスクカートリッジのシャッタが開放した後、前記第 1 の駆動レバーおよび前記第 2 の駆動レバーは前記ディスクカートリッジと接触しないように駆動される。

ある好ましい実施形態において、前記ディスクカートリッジのシャッタが開放した後前記ラック部は前記ディスクカートリッジと接

触しないように駆動される。

ある好ましい実施形態において、前記搬送部は、前記ディスクカートリッジのシャッタが開放または閉塞した後、所定の距離を移動する。

ある好ましい実施形態において、前記搬送部は、前記ディスクカートリッジと異なる外形を有する他のディスクカートリッジを載置することが可能な凹部を有する。

ある好ましい実施形態において、前記ディスクカートリッジは前記回転体の回転を防止するためのロック部材を有し、前記第 1 の駆動レバーおよび前記第 2 の駆動レバーが前記ロック部材と接触しないように前記第 1 のカム構造が前記第 1 の駆動レバーおよび前記第 2 の駆動レバーを駆動する。

図面の簡単な説明

図 1 は、本発明のディスク装置の第 1 の実施形態の構成を示す分解斜視図である。

図 2 は、図 1 に示すトレイに図 6 4 に示すディスクカートリッジを装填した状態を示す平面図である。

図 3 は、図 1 に示すトレイに図 6 3 に示すディスクカートリッジを装填した状態を示す平面図である。

図 4 は、図 1 に示すシャッタ駆動機構の構造を示す斜視図である。

図 5 は、図 4 に示すトレイの側面に設けられたカム溝を示す斜視図である。

図 6 A は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図であり、図 6 B は、図 6 A に対応する状態であってディスクカートリッジを取り除いた状態を示す平面図である。

図 7 は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図である。

図 8 A は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図であり、図 8 B は、図 8 A に対応する状態であってディスクカートリッジを取り除いた状態を示す平面図である。

図 9 A は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図であり、図 9 B は、図 9 A に対応する状態であってディスクカートリッジを取り除いた状態を示す平面図である。

図 10 は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図である。

図 11 A は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の

開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図であり、図 1 1 B は、図 1 1 A に対応する状態であってディスクカートリッジを取り除いた状態を示す平面図である。

図 1 2 A は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図であり、図 1 2 B は、図 1 2 A に対応する状態であってディスクカートリッジを取り除いた状態を示す平面図である。

図 1 3 は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図である。

図 1 4 A は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図であり、図 1 4 B は、図 1 4 A に対応する状態であってディスクカートリッジを取り除いた状態を示す平面図である。

図 1 5 は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図である。

図 1 6 は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図である。

図 1 7 は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状

態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図である。

図 1 8 は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図である。

図 1 9 は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図である。

図 2 0 は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図である。

図 2 1 は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図である。

図 2 2 は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図である。

図 2 3 は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図である。

図 2 4 は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図である。

図 2 5 は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図である。

図 2 6 は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図である。

図 2 7 は、本発明のディスク装置の第 2 の実施形態の構造を示す分解斜視図である。

図 2 8 は、図 2 7 に示すシャッタ駆動機構の構成およびトレイのカム溝との関係を示す斜視図である。

図 2 9 は、図 2 7 に示すシャッタ駆動機構の構成およびトレイの他のカム溝との関係を示す斜視図である。

図 3 0 は、シャッタ駆動機構と係合するカム溝部を説明するためのトレイの斜視図である。

図 3 1 A および図 3 1 B は、シャッタ駆動機構の正面図および断面図である。

図 3 2 A、3 2 B、および 3 2 C は、第 1 の実施形態のシャッタ駆動機構、第 2 の実施形態のシャッタ駆動機構およびディスクカートリッジの回転体における各部の寸法をそれぞれ説明する平面図である。

図 3 3 A は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図であり、図 3 3 B は、

図 3 3 A に対応する状態であってディスクカートリッジを取り除いた状態を示す平面図である。

図 3 4 は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図である。

図 3 5 A は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図であり、図 3 5 B は、図 3 5 A に対応する状態であってディスクカートリッジを取り除いた状態を示す平面図である。

図 3 6 A は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図であり、図 3 6 B は、図 3 6 A に対応する状態であってディスクカートリッジを取り除いた状態を示す平面図である。

図 3 7 A は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図であり、図 3 7 B は、図 3 7 A に対応する状態であってディスクカートリッジを取り除いた状態を示す平面図である。

図 3 8 A は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図であり、図 3 8 B は、

図 3 8 A に対応する状態であってディスクカートリッジを取り除いた状態を示す平面図である。

図 3 9 は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図である。

図 4 0 A は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図であり、図 4 0 B は、図 4 0 A に対応する状態であってディスクカートリッジを取り除いた状態を示す平面図である。

図 4 1 は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図である。

図 4 2 は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図である。

図 4 3 は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図である。

図 4 4 は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図である。

図 4 5 は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状

態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図である。

図 4 6 は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図である。

図 4 7 は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図である。

図 4 8 は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図である。

図 4 9 は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図である。

図 5 0 は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図である。

図 5 1 は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図である。

図 5 2 は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図である。

図 5 3 は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図である。

図 5 4 は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図である。

図 5 5 は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図である。

図 5 6 は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図である。

図 5 7 は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図である。

図 5 8 は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図である。

図 5 9 は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図である。

図 6 0 は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開

動作中および閉動作中の一状態を示す平面図である。

図 6 1 は、ディスクカートリッジのシャッタ部が完全に閉じた状態でディスク装置に挿入される場合におけるシャッタ駆動機構の開動作中および閉動作中の一状態を示す平面図である。

図 6 2 A および 6 2 B は、シャッタ駆動機構のラック部とディスクカートリッジの回転体のギア部との噛み合いを説明する図である。

図 6 3 は、従来のディスクカートリッジの構造およびシャッタの開閉動作を説明する平面図である。

図 6 4 は、本願発明で用いるディスクカートリッジの外観を示す斜視図である。

図 6 5 は、本願発明で用いるディスクカートリッジを示す分解斜視図である。

図 6 6 は、図 6 4 に示すディスクカートリッジのシャッタ開閉動作の一状態を示す平面図である。

図 6 7 は、図 6 4 に示すディスクカートリッジのシャッタ開閉動作の一状態を示す平面図である。

図 6 8 は、図 6 4 に示すディスクカートリッジのシャッタ開閉動作の一状態を示す平面図である。

図 6 9 は、図 6 4 に示すディスクカートリッジのシャッタ開閉動作の一状態を示す平面図である。

図 7 0 は、図 6 4 に示すディスクカートリッジのシャッタ開閉動作の一状態を示す平面図である。

図 7 1 は、本願発明で用いる他のディスクカートリッジを示す斜

視図である。

図 7 2 は、本願発明で用いる他のディスクカートリッジを示す分解斜視図である。

発明を実施するための最良の形態

本発明のディスク装置は、図 6 4 から図 6 8 を参照して説明したディスクカートリッジ 2 0 0 に適合しており、ディスクカートリッジ 2 0 0 を装填してディスクカートリッジ 2 0 0 に収納されているディスク 1 0 にデータを記録し、または、ディスク 1 0 に記録されたデータを再生することができる。ディスクカートリッジ 2 0 0 の構造は既に説明しているので、以下の実施形態ではディスクカートリッジ 2 0 0 の各部に図 6 4 から図 6 8 と同じ参照符号を付し、構造の詳細な説明は省略する。

本発明のディスク装置が適合可能なディスクカートリッジはディスクカートリッジ 2 0 0 に限られるわけではない。データを記録することが可能なディスクやデータが記録されたディスクと、ディスクを収納する本体と、記録／再生用のヘッドがディスクにアクセスするための本体に設けられた開口と、開口を開閉するためのシャッタと、シャッタを開閉するための回転体とを備え、回転させることにより、シャッタの開閉を行うディスクカートリッジであれば、本発明を適用することができる。この場合、回転体の外周部には、ギア部ならびに第 1 および第 2 の切り欠きが設けられていることが好ましい。たとえば、図 7 1 および図 7 2 に示すディスクカートリッ

ジ 3 0 0 にも本発明のディスク装置は好適に対応している。ディスクカートリッジ 3 0 0 は P C T 国際特許出願公開番号 W O 0 3 / 0 4 1 0 7 6 に開示されている。

図 7 1 および図 7 2 に示すように、ディスクカートリッジ 3 0 0 は上体 3 1 1 および下体 3 1 2 からなるカートリッジ本体 3 1 0 と、カートリッジ本体 3 1 0 に収納されたディスク 1 0 と、下体 3 1 2 に設けられた開口 3 1 2 w と、開口 3 1 2 w を外部に対して開閉するシャッタ部 3 2 0 と、回転体 3 3 0 とを備えている。

図に示すように、上体 3 1 1 にはディスク 1 0 の一面のほぼ全体を露出する開口が設けられている。このため、ディスク 1 0 がカートリッジ本体 3 1 0 に収納されている状態において、ディスク 1 0 の一面、たとえばラベル面が上体 3 1 1 の開口から露出する。下体 3 1 2 の内面にはシャッタ部の回転軸となる回転支軸 3 1 2 a、3 1 2 b が設けられている。また、下体 3 1 2 の外面には位置決め穴 3 1 5 a、3 1 5 b が設けられている。カートリッジ本体 3 1 0 の側面には開口 3 1 2 g が設けられている。

シャッタ部 3 2 は、第 1 のシャッタ 3 1 2 および第 2 のシャッタ 3 2 2 を含む。第 1 のシャッタ 3 1 2 および第 2 のシャッタ 3 2 2 には案内溝 3 2 1 b、3 2 2 b および回転支軸 3 1 2 a、3 1 2 b が挿入される回動孔 3 2 1 a、3 2 1 b がそれぞれ設けられている。

回転体 3 3 0 は、平坦なリング状部およびリング状部の外側に形成された円筒状の側面を有している、リング状部のシャッタ部 2 0 と対向する面には案内溝 3 2 1 b、3 2 2 b に挿入されるリンク支

軸 3 3 0 a、3 3 0 b が設けられている。リング状部にはさらに切り欠き部 3 3 0 w が設けられている。また、側面には第 1 の切り欠き部 3 3 1、第 2 の切り欠き部 3 3 2 およびこれらに挟まれたギア部 3 3 3 が形成されている。

ディスクカートリッジ 3 0 0 はロック部材 3 2 5 をさらに備え、支軸 3 1 2 c の周りに回転可能なように支持される。ロック部材 3 2 5 は凸部 3 2 5 a を有し、シャッタ部 3 2 0 が閉塞している状態において、凸部 3 2 5 a は第 2 の切り欠き部 3 3 2 と係合し、回転体 3 3 0 が回転するのを防止する。

回転体 3 3 0 は案内溝 3 2 1 b、3 2 2 b およびリンク支軸 3 3 0 a、3 3 0 b によってシャッタ部 3 2 0 と係合しており、回転体 3 3 0 を回転させることにより、シャッタ部 3 2 0 が開口 3 1 2 w を閉塞した状態および開放した状態にすることができる。回転体 3 0 0 に係合したシャッタ部 3 2 0 が回転支軸 3 1 2 a、3 1 2 b に支持されているため、回転体 3 3 0 は任意に回転するわけではなく、シャッタ部が開放した状態と閉塞した状態との間で所定の角度だけ回転し得る。回転体 3 3 0 がカートリッジ本体 3 1 0 に対してとり得る回転角度のいずれにおいても、カートリッジ本体 3 1 0 の側面に設けられた開口 3 1 2 g から第 1 の切り欠き部 3 3 1、第 2 の切り欠き部 3 3 2 およびギア部 3 3 3 の少なくともいずれかひとつが露出している。このため、第 1 の切り欠き部 3 3 1、第 2 の切り欠き部 3 3 2 およびギア部 3 3 3 の少なくともいずれか 1 つと係合して、回転体 3 3 0 を回転させることにより、シャッタ部 3 2 0 がど

のような状態にあっても、シャッタ部 320 を動作させることができる。

(第 1 の実施形態)

以下、本発明の第 1 の実施形態を詳細に説明する。まず図 1 から図 3 を用いて、本実施形態のディスク装置 500 の構造を説明する。図 1 は、ディスクカートリッジ 200 を装填することが可能なディスク装置 500 の分解斜視図である。本実施形態ではディスクカートリッジ 200 を用いてディスク装置 500 を説明するが、上述したようにディスクカートリッジ 300 や、上述の構造を備えるディスクカートリッジにもディスク装置 500 は適合している。

図 1 に示すように、ディスク装置 500 は、トラバースベース 20 と、ディスクカートリッジ 200 に収納されたディスク 10 を回転駆動するスピンドルモータ 30 と、記録および／または再生を行う光ヘッド 40 とを備える。

スピンドルモータ 30 は、ディスク 10 を保持するためのディスク載置面 30b を有し、トラバースベース 20 に固定されている。光ヘッド 40 は、ガイド軸 41 および 42 に沿って移動可能なように、トラバースベース 20 上に支持されている。トラバースベース 20 上には駆動源（図示せず）が設けられており、光ヘッド 40 をガイド軸 41 および 42 に沿って移動させる光ヘッドの移動方向は、ディスク 10 の半径方向とおおよそ一致している。トラバースベース 20 上にはディスクカートリッジ 200 の位置決め穴 215a および 215b と係合する固定ピン 21、22 が設けられている。固

定ピン 21、22 と位置決め穴 215 a、15 b との係合によって、スピンドルモータ 30 に対するディスクカートリッジ 200 の位置決めが行なわれる。

ディスク装置 500 は、ベースシャーシ 50 と、天板 60 と、トレイ 70 をさらに備える。ベースシャーシ 50 は、トラバースベース 20 を支持し、トレイ 70 を矢印 70 A の方向および 70 B の方向へ移動可能にガイドする。また、ベースシャーシ 50 には、トレイ 70 を矢印 70 A の方向および 70 B の方向に移動させる駆動モータ 51 と、駆動モータ 51 の駆動力を減速および伝達するためのギア列 52 が設けられている。駆動モータ 51 およびギア列 52 はトレイ 70 の下方に位置しており、トレイ 70 の裏面に構成される、例えば、ラック部材（図示せず）とギア列 52 とが係合することにより、トレイ 70 が駆動される。

天板 60 にはディスク 10 を保持するクランパ 61 と、クランパ支持部 62 とが設けられており、ベースシャーシ 50 に取り付けられている。クランパ 61 は、たとえば、ディスクカートリッジ 300 など、ディスクカートリッジにクランパが備えられていないディスクカートリッジが装填された場合に用いられる。ディスクカートリッジ 200 は、カートリッジ内部にクランパ 240 を備えているため、ディスク 200 がディスク装置 500 に装填される場合にはクランパ 61 は使用されない。

トレイ 70 はディスクカートリッジ 200 を保持し、ディスクカートリッジ 200 をディスク装置 500 の外部へ排出する位置と、

スピンドルモータ 30 がディスクカートリッジ 200 内のディスク 10 を載置することのできる位置との間でディスクカートリッジ 200 を搬送する。トレイ 70 はディスクカートリッジ 200 をトレイ 70 内の所定の位置に保持するためのガイド壁 70 a、70 b、70 c、71 a を有する。

ガイド壁 71 a はトレイ 70 内において矢印 70 A および 70 B の方向へ移動可能なスライド部 71 に設けられている。スライド部 71 は付勢構造である付勢パネ 72 によって、矢印 70 B の方向へ付勢されている。このため、トレイ 70 にディスクカートリッジ 200 が装填されると、ガイド壁 70 c と当接するようにスライド部 71 がディスクカートリッジ 200 を矢印 70 B の方向へ付勢する。ガイド壁 70 a、70 b、70 c、71 a により、ディスクカートリッジ 200 を収納するための凹部 70 r が形成され、トレイ 70 の凹部 70 r 内でディスクカートリッジ 200 の位置決めされる。

ガイド壁 70 a は、トレイの移動方向と平行であり、後述するシャッタ駆動機構 150 と対向している。シャッタ駆動機構 150 が通過するためにガイド壁 70 a の一部は切り欠かれている。凹部 70 r の底部には、スピンドルモータ 30 および光ヘッド 40 がディスク 10 に接近するための開口部 70 w、および、固定ピン 21、22 が貫通する穴 70 d が設けられている。ガイド壁 70 a、70 b の内側には凸部 70 t が形成されている。

また、トレイ 70 には、カートリッジに収納されていないディスク 10 を直接装填できるように、凹部 70 r の底部にさらに、円形

状の凹部 70 q を設けてもよい。また、凹部 70 r に載置されたディスクカートリッジ 200 をトレイ 70 から取り出しやすくするために、カートリッジの側面の一部を露出させるための切り欠き 70 s をトレイ 70 の前面に設けても良い。

以下において詳述するように、ディスク装置 500 は、回転体 230 を回転させることにより、ディスクカートリッジ 200 のシャッタ部 220 を開閉するシャッタ駆動機構 150 を備える。シャッタ駆動機構 150 は、第 1 の駆動レバー 151 と、第 2 の駆動レバー 152 と、一部にラック部 153 a が設けられたベース 153 と、第 1 および第 2 の駆動レバー 151、152 を付勢するバネ 154 とで構成され、ベースシャーシ 50 に取り付けられる。

ベース 153 には、トレイ 70 が矢印 70 A および 70 B の方向へ移動する際のガイドするガイドリブ 155 a および 155 b が設けられており、トレイ 70 に対するシャッタ駆動機構 150 の位置精度を高める構成としている。

ベースシャーシ 50 は、ディスク装置 500 下面の外殻をなす下部筐体 520 に取り付けられている。下部筐体 520 には装置上面の外殻をなす上部筐体 510 が取り付けられ、下部筐体 520 および上部筐体 510 によりディスク装置 500 の外殻が構成される。ベースシャーシ 50 は、例えば装置への衝撃を緩衝するための、ゴムなどの弾性部材で構成されるダンパを介して下部筐体 520 に支持されていてもよい。

図 2 は、トレイ 70 にディスクカートリッジ 200 を装填した状

態を示す平面図である。図 2 に示すように、トレイ 70 の凸部 70 t とディスクカートリッジ 200 の下体 212 に設けられた切り欠き 212 t とが係合する。ディスクカートリッジ 200 の上体 211 には切り欠きは設けられていないため、上体 211 がトレイ 70 と接するように表裏を逆にしてディスクカートリッジ 200 をトレイ 70 に装填しようとするれば、切り欠き 212 t と上体 211 とが干渉し、トレイ 70 にディスクカートリッジ 200 を正しく装填することはできない。

なお、図 3 に示すように、ディスク装置 500 はディスクカートリッジ 200 やディスクカートリッジ 300 に加えて、ディスクカートリッジ 100 に適合していてもよい。この場合には、ディスクカートリッジ 200 やディスクカートリッジ 300 とディスクカートリッジ 100 との両方を正しくトレイ 70 に装填し、およその位置決めができるよう、トレイ 70 の凹部 70 r の形状をディスクカートリッジ 100 にも適合させてよい。たとえば、ガイド壁 70 a、70 b のディスクカートリッジ 200 と接触しない部分に凸部 70 e を設け、トレイ 70 にディスクカートリッジ 100 を装填した場合、凸部 70 e がディスクカートリッジ 100 と接触して位置決めを行うようにしてもよい。

次に、シャッタ駆動機構 150 の構造を説明する。図 4 は、シャッタ駆動機構 150 の構成を示す斜視図である。シャッタ駆動機構 150 は、ディスクカートリッジ 200 の回転体 230 を回転させることにより、シャッタ部 220 の開閉を行う。図 4 に示すように、

シャッタ駆動機構 1 5 0 は、回転体 2 3 0 の第 1 の切り欠き部 2 3 1 に係合する第 1 の駆動レバー 1 5 1 と、回転体 2 3 0 の第 2 の切り欠き部 2 3 2 に係合する第 2 の駆動レバー 1 5 2 と、回転体 2 3 0 のギア部 2 3 3 と係合するラック部 1 5 3 a を有するベース 1 5 3 と、バネ 1 5 4 とを備える。

第 1 の駆動レバー 1 5 1 および第 2 の駆動レバー 1 5 2 は、それぞれベース 1 5 3 に設けられた回転軸 1 5 3 b および 1 5 3 c に回転可能に支持される。第 1 の駆動レバー 1 5 1 は、回転体 2 3 0 の第 1 の切り欠き部 2 3 1 に係合する係合部 1 5 1 a と、以下で詳細に説明するカム溝 7 5 に係合する係合部 1 5 1 b を備えている。同様に、第 2 の駆動レバー 1 5 2 は、回転体 2 3 0 の第 2 の切り欠き部 2 3 2 に係合する係合部 1 5 2 a と、トレイ 7 0 のカム溝 7 5 に係合する係合部 1 5 2 b を備えている。

バネ 1 5 4 は、ベース 1 5 3 に設けられた支軸 1 5 3 d に取り付けられ、第 1 の駆動レバー 1 5 1 の係合部 1 5 1 a および係合部 1 5 1 b をトレイ 7 0 側である矢印 1 5 1 A の方向へ付勢する。また、第 2 の駆動レバー 1 5 2 の係合部 1 5 2 a および係合部 1 5 2 b をトレイ 7 0 側である矢印 1 5 2 A の方向へ付勢する。

ベース 1 5 3 には、第 1 の駆動レバー 1 5 1 および第 2 の駆動レバー 1 5 3 が所定の角度以上回転しないよう、第 1 の駆動レバー 1 5 1 および第 2 の駆動レバー 1 5 3 の一部と当接するストッパ部 1 5 3 e が設けられている。

図 5 は、トレイ 7 0 の斜視図であり、シャッタ駆動機構 1 5 0 と

面する側面をよく示している。図 5 に示すように、ガイド壁 70 a のシャッタ駆動機構 150 と面する側面に第 1 のカム構造であるカム溝 75 が形成されている。カム溝 75 は、溝の底部となる案内面 75 a を有し、案内面 75 a が第 1 の駆動レバー 151 および第 2 の駆動レバー 152 の係合部 151 b、152 b と当接することにより、カム溝 75 のプロファイルにしたがって、第 1 の駆動レバー 151 および第 2 の駆動レバー 152 を駆動する。カム溝 75 は案内面 75 a が盛り上がっており、その一部では溝を形成していない。

ここで、「カム構造」とは、任意形状を持った機械要素であって、その直接接触によって相手側に任意の運動を与える要素である。本実施形態では第 1 のカム構造としてカム溝 75 を用いるが、公知の他のカム構造であってもよい。つまり、第 1 の駆動レバー 151 および第 2 の駆動レバー 152 と直接接触することにより、第 1 の駆動レバー 151 および第 2 の駆動レバー 152 に運動を与えることのできる任意の形状を有する構造をカム構造としてトレイ 70 が備えておればよい。たとえば、溝に換えて全体が凸状のリッジであってもよく、溝とリッジとの組み合わせによってカム構造が形成されていてもよい。

上述したようにパネ 154 が第 1 の駆動レバー 151 の係合部 151 b および第 2 の駆動レバー 152 の係合部 152 b をトレイ 70 側へ付勢しているため、トレイ 70 がシャッタ駆動機構 150 に対して相対的に矢印 70 A または矢印 70 B の方向に移動すると、係合部 151 b および係合部 152 b がカム溝の 75 の案内面 75

aと当接しながら移動する。このため、第1の駆動レバー151および第2の駆動レバー152は、カム溝の75プロファイルにしたがって、それぞれ、回転軸153bおよび153cを中心に揺動する。

次に、シャッタ駆動機構150の動作を説明する。ディスク装置500において、ディスクカートリッジ200が装填されたトレイ70がディスク装置500内へ挿入される（矢印70Aの方向へ移動）と、これにともなってシャッタ駆動機構150が駆動され、ディスクカートリッジ200のシャッタ部220が開く動作を行う。また、トレイ70がディスク装置500から排出される（矢印70Bの方向へ移動）と、これにともなって、シャッタ駆動機構150が駆動され、シャッタ部220が閉じる動作を行う。

ディスクカートリッジ200は通常の使用状態において、操作者あるいはユーザがシャッタ部220の開閉することは想定されていない。しかし、操作者が意図的に回転体230の回転をロックしているロック部材225を操作して、回転体230のロックを解除し、回転体230を回して、シャッタ部220を開閉することは可能である。

このため、操作者がディスクカートリッジ200をディスク装置500に装填する際、シャッタ部220が必ず閉じているとは限らない。

このため、ディスクカートリッジ200をトレイ70に装填し、トレイ70をディスク装置500に挿入するとき、ディスクカート

リッジ 200 の状態としては、(A) シャッタ部 220 が完全に閉じている状態、(B) シャッタ部 220 が不完全に閉じている状態、(C) 完全にシャッタ部 220 が開いている状態、の 3 つが考えられる。一方、ディスク装置 500 からディスクカートリッジ 200 が排出されるときには、シャッタ部 220 は必ず開放されている。このため、ディスク装置 500 からディスクカートリッジ 200 を排出する場合、ディスクカートリッジ 200 の状態としては、

(D) シャッタ部 220 が完全に開いている状態のみが考えられる。以下、この 4 つの場合に分けてディスク装置 500 の動作を説明する。

なお、以下の説明で参照する図では、トレイ 70 の位置がほぼ変わらずシャッタ駆動機構 150 がトレイ 70 に対して移動しているかのように、異なった位置に示されている。しかし、実際には、シャッタ駆動機構 150 はディスク装置 500 の所定の位置に固定されており、トレイ 70 が矢印 70A または 70B の方向に移動することによって、トレイ 70 のシャッタ駆動機構 150 に対する相対的な位置が変化している。また、以下の図において、図 6A および図 6B など、同じ数字に A および B の 2 つ符号が付されている 1 対の図では、(A) がディスクカートリッジ 200 を搭載した状態の図を示し、(B) がディスクカートリッジを搭載していない状態を示している。

まず、シャッタ部 220 が完全に閉じられた状態で、ディスクカートリッジ 200 がトレイ 70 に載置され、ディスク装置 500 内

に装填される場合（A）におけるシャッタ駆動機構 150 の動作を説明する。

図 6 A および図 6 B は、トレイ 70 がディスク装置 500 から排出された状態を示している。図 6 A はトレイ 70 にシャッタ部 220 が閉塞した状態にあるディスクカートリッジ 200 が載置された状態を示しており、図 6 B はトレイ 70 およびシャッタ駆動機構 150 のみを示している。図 6 A および 6 B に示すように、ディスクカートリッジ 200 をトレイ 70 に装填し、駆動モータ 51 によって、トレイ 70 を矢印 70 A の方向に挿入する。シャッタ駆動機構 150 は、ベースシャーシ 50 に取り付けられているため、トレイ 70 の挿入によって、シャッタ駆動機構 150 が相対的にディスクカートリッジ 200 に近づいていく。このとき、第 1 の駆動レバー 151 の係合部 151 b および第 2 の駆動レバー 152 の係合部 152 b が位置している部分のカム溝 75 の溝は深くなっており、案内面 75 a と係合部 151 b、152 b とは当接しておらず、第 1 の駆動レバー 151 および第 2 の駆動レバー 152 はベース 153 に設けられたストッパ部 153 e によって所定の位置でとどまっている。しかし、ストッパ部 153 e の位置を調節し、案内面 75 a と係合部 151 b、152 b とが当接するように構成してもよい。

図 6 A および図 6 B に示す状態から、さらにトレイ 70 を矢印 70 A の方向に挿入すると、図 7 に示すように、第 1 の駆動レバー 151 の係合部 151 b がカム溝 75 の案内面 75 a が盛り上がった部分に達する。そして、係合部 151 b がカム溝 75 の案内面 75

aと当接し、第1の駆動レバー151が回転軸153bを中心に矢印151Bの方向へ回転する。これにより、ディスクカートリッジ200のロック部材225と第1の駆動レバー151が接触するのを回避する。このとき、第2の駆動レバー152はトレイ70のカム溝75と当接していないため、ベース153のストッパ部153eによって決まる所定の位置（回転角度）を保っている。

図7の状態から、さらにトレイ70を矢印70Aの方向に挿入すると、図8Aおよび8Bに示すように、ラック部153aがディスクカートリッジ200のロック部材225と接触する位置に達する。ロック部材225は、ラック部153aによって押し込められ、ロック部材225の凸部225aが支持軸212cを中心に回転する。このため、回転体230の第2の切り欠き部232とロック部材225の凸部225aとの係合が外れ、回転体230のロックが解除される。このとき、第1の駆動レバー151はトレイ70のカム溝75により回転されたままで、第2の駆動レバー152はトレイ70のカム溝75と係合していないため、ベース153のストッパ部153eによって決まる所定の位置のままである。

図8Aおよび8Bの状態から、さらにトレイ70を矢印70Aの方向に挿入すると、第1の駆動レバー151の係合部151bが、カム溝75の凹んだ部分に達する。バネ154によって付勢されているので、係合部151bが凹んだ案内面75aと当接するように、第1の駆動レバー151が矢印151Aの方向に回転する。そして、第1の駆動レバー151の係合部151aが回転体230の側面部

２３１ a に当接する。さらに、トレイ ７０ が矢印 ７０ A の方向に挿入されると、図 ９ A に示すように、第 １ の駆動レバー １５１ の係合部 １５１ a は、回転体 ２３０ の側面部 ２３１ a を滑りながら移動した後、回転体 ２３０ の第 １ の切り欠き部 ２３１ と係合する。

ロック部材 ２２５ は、ラック部 １５３ a によって押し込められているため、回転体 ２３０ のロックは解除されている。したがって、図 ９ A に示す状態から、さらにトレイ ７０ を矢印 ７０ A の方向に挿入すると、シャッタ駆動機構 １５０ の第 １ の駆動レバー １５１ との係合によって、回転体 ２３０ が矢印 ２３０ A の方向に回転し、回転体 ２３ に係合したシャッタ部 ２２０ がシャッタの開放動作を開始する。

図 １０ に示すように、シャッタ駆動機構 １５０ とトレイ ７０ との相対的な移動量に対応して、回転体 ２３０ は所定の回転角度で回転する。そして、第 １ の駆動レバー １５１ の係合部 １５１ a が、第 １ の切り欠き部 ２３１ から離れる前にラック部 １５３ a は回転体 ２３０ のギア部 ２３３ と噛み合い始める。これ以降、ラック部 １５３ a とギア部 ２３３ の噛み合いによって、回転体 ２３０ がシャッタ駆動機構 １５０ から駆動力を受け、回転体 ２３０ の回転によって、シャッタ部 ２２０ はさらに開き続ける。

このとき、図 ９ B に示すように、第 ２ の駆動レバー １５２ の係合部 １５２ b はカム溝 ７５ の案内面 ７５ a が盛り上がった部分に達する。そして、係合部 １５２ b がカム溝 ７５ の案内面 ７５ a と当接し、第 ２ の駆動レバー １５２ が回転軸 １５３ C を中心に矢印 １５２ B の

方向へ回動する。これにより、ディスクカートリッジ 200 のロック部材 225 と第 2 の駆動レバー 152 が接触するのを回避する。

トレイ 70 がさらに矢印 70 A の方向に挿入されると、図 11 A および図 11 B に示すように、ラック部 153 a と回転体 230 のギア部 233 との噛み合いにより、回転体 230 は矢印 230 A の方向に回転を続け、シャッタ部 220 がさらに開く。このとき、第 1 の駆動レバー 151 の係合部 151 B がカム溝 75 の案内面 75 a と当接することによってカム溝 75 に駆動され、ディスクカートリッジ 200 の外側面との接触を回避するように、第 1 の駆動レバー 151 は回転軸 153 b を中心に矢印 151 B の方向に回動する。なお、この回避動作は、ディスクカートリッジ 200 の外形形状に構成されている回転体 230 ガイド部 212 G と第 1 の駆動レバー 151 が接触するのを防止するために行っている。

さらにトレイ 70 が矢印 70 A の方向に挿入されると、第 2 の駆動レバー 152 の係合部 152 b がカム溝 75 の凹んだ部分に達する。パネ 154 によって付勢されているので、係合部 152 b が凹んだ案内面 75 a と当接するように、第 2 の駆動レバー 152 が矢印 152 A の方向に回動する。回転体 230 のギア部 233 とラック部 153 a との噛み合いによって、シャッタ部 220 を開きながら、回転体 230 が所定の角度だけ回動することにより、ギア部 230 とラック部 153 a との噛み合いが離れる前に、第 2 の駆動レバー 152 の係合部 152 a が回転体 230 の第 2 の切り欠き部 232 と係合し始める。

このとき、第１の駆動レバー１５１の係合部１５１ａは、トレイ７０のガイド壁７０ａの傾斜面７０ｇに当接し、第１の駆動レバー１５１は、この傾斜面７０ｇおよびガイド壁７０ａに沿って、矢印１５１Ｂの方向に回動する。第１の駆動レバー１５１をこのように回避させることによって、トレイ７０内においてディスクカートリッジ２００の位置決めに用いるガイド壁７０ａが第１の駆動レバー１５１の係合部１５１ａと干渉することを防ぐ。また、ガイド壁７０ａを十分に高くすることにより、ディスクカートリッジ２００とガイド壁７０ａとが接触する面積を大きくし、ディスクカートリッジ２００の位置決めを安定して行うことができる。なお、本実施形態では、第１の駆動レバー１５１の回動動作を、ガイド壁７０ａと第１の駆動レバー１５１の係合部１５１ａとの当接によって行なったが、第１の駆動レバー１５１の係合部１５１ｂと当接するカム溝７５によって第１の駆動レバー１５１の回動を行ってもよい。

図１２Ａおよび図１２Ｂに示す状態から、さらにトレイ７０が矢印７０Ａの方向に挿入されると、図１３に示すように、第２の駆動レバー１５２の係合部１５２ａと回転体２３０の第２の切り欠き部２３２との係合によって、回転体２３０が回転し、シャッタ部２２０をさらに開く。下体２１２内のストッパ部２１２ｅに回転体２３０のストッパ用凸部２３０ａが当接、回転体２３０の回転が止まると、シャッタ部２２０が完全に開いた状態となり、シャッタ部２２０の開動作が完了する。

しかし、シャッタ駆動機構１５０やディスクカートリッジ２００

をなどの構成部品の加工精度による形状のばらつき（例えば、第2の駆動レバー152の係合部152aと回転体230の第2の切り欠き部232との勘合ガタ）や、トレイ70におけるディスクカートリッジ200の矢印70Aの方向または70Bの方向における位置ずれにより、図13に示すシャッタ駆動機構150とトレイ70との相対位置では、完全にはシャッタが開放していない可能性がある。

また、トレイ70がディスク装置500に挿入されて停止する位置の精度は高くない。このためトラバーススペース20上のスピンドルモータ30に対するディスクカートリッジ200の位置は少しずれる可能性がある。この位置ずれを補正するには、例えばトラバーススペース上に構成された位置決めピン21および22をディスクカートリッジ200に設けられた位置決め穴215aおよび215bに勘合させて位置決めを行うのが一般的である。しかし、このとき、第2の切り欠き部233と第2の駆動レバー152が係合したままでは、ディスクカートリッジ200の動きが制約され、正しく位置決めを行うことができない可能性がある。

そこで、本実施形態では、図13に示す状態から、さらにトレイ70を矢印70Aの方向に挿入して、確実に回転体230のストッパ用凸部230aが下体212のストッパ部212eに当接するまでトレイ70を駆動する。その後、さらに、トレイ70を矢印70Aの方向に挿入し、図14Aおよび図14Bに示すように、カム溝75の案内面75aが盛り上がった部分に係合部152bを当接

させる。これによって、バネ 1 5 4 の付勢力に抗して、第 2 の駆動レバー 1 5 2 が矢印 1 5 2 B の方向に回動し、第 2 の駆動レバー 1 5 2 の係合部 1 5 2 a が第 2 の切り欠き部 2 3 2 からはずれる。第 2 の駆動レバー 1 5 2 の係合部 1 5 2 a は、回転体 2 3 0 の側面部 2 3 2 a と接していてもよい。これにより、トレイ 7 0 のディスク装置 5 0 0 内への挿入動作が終了する。このように、係合部 1 5 2 a と切り欠き部 2 3 2 との係合を完全に解放した状態まで、シャッタ駆動機構 1 5 0 に対して相対的にトレイ 7 0 を移動させることにより、上述した部品の形状ばらつきによる誤差を許容し、図 1 4 A に示す状態を確実に実現する。また、図 1 4 A に示すように、係合部 1 5 2 a と切り欠き部 2 3 2 とが係合していないので、ディスクカートリッジ 2 0 0 の位置決め穴 2 1 5 a、2 1 5 b に固定ピン 2 1、2 2 を係合させる際、ディスクカートリッジ 2 0 0 が移動することが可能となり、ディスクカートリッジ 2 0 0 をトラバーススペースに固定されたスピンドルモータ 3 0 に対して正しく位置決めすることができる。

次に、シャッタ部 2 2 0 が不完全に閉じられた状態でディスクカートリッジ 2 0 0 がトレイ 7 0 に載置され、ディスク装置 5 0 0 内装填される場合（B）におけるシャッタ駆動機構 1 5 0 の動作を説明する。

図 1 5 に示すように、シャッタ部 2 2 0 が不完全に閉じられた状態では、カートリッジ本体 2 1 0 の側面に設けられた開口 2 1 2 g から回転体 2 3 0 のギア部 2 3 3 が一部露出している。この状態の

ディスクカートリッジ 200 をトレイ 70 に装填し、駆動モータ 51 によって、トレイ 70 を矢印 70 A の方向に挿入をする。シャッタ駆動機構 150 はベースシャーシ 50 に取り付けられているため、トレイ 70 が挿入されるにつれて、シャッタ駆動機構 150 がディスクカートリッジ 200 に対して近づいていく。このとき、第 1 の駆動レバー 151 の係合部 151 b および第 2 の駆動レバー 152 の係合部 152 b はカム溝 75 の案内面 75 a と当接しないため、ベース 153 に設けられたストッパ部 153 e によって第 1 の駆動レバー 151 および第 2 の駆動レバー 152 は所定の角度でとどまったままである。

図 15 の状態から、トレイ 70 が矢印 70 A の方向にさらに挿入されると、図 16 に示すように、第 1 の駆動レバー 151 の係合部 151 b がカム溝 75 の案内面 75 a が盛り上がった部分に達する。そして、係合部 151 b がカム溝 75 の案内面 75 a と当接し、第 1 の駆動レバー 151 が回転軸 153 b を中心に矢印 151 B の方向へ回転する。これにより、ディスクカートリッジ 200 のロック部材 225 と第 1 の駆動レバー 151 が接触するのを回避する。このとき、第 2 の駆動レバー 152 はトレイ 70 のカム溝 75 と当接していないため、ベース 153 のストッパ部 153 e によって決まる所定の回転角度を保っている。

図 16 に示す状態から、さらにトレイ 70 を矢印 70 A の方向に挿入すると、図 17 に示すように、ラック部 153 a がディスクカートリッジ 200 のロック部材 225 と接触する位置に達する。ラ

ック部 1 5 3 a によって、ディスクカートリッジ 2 0 0 のロック部材 2 2 5 が押し込めるが、すでに回転体 2 3 0 が矢印 2 3 0 A の方向に回転しているので、回転体 2 3 0 のロックは解除されている。このとき、第 1 の駆動レバー 1 5 1 の係合部 1 5 1 b が、カム溝 7 5 の凹んだ部分に達する。バネ 1 5 4 によって付勢されているので、係合部 1 5 1 b が凹んだ案内面 7 5 a と当接するように、第 1 の駆動レバー 1 5 1 が矢印 1 5 1 A の方向に回転する。このため、第 1 の駆動レバー 1 5 1 の係合部 1 5 1 a は回転体 2 3 0 の側面部 2 3 1 a (またはギア部 2 3 3) に当接する。

図 1 7 に示す状態から、さらに、トレイ 7 0 が矢印 7 0 A の方向に挿入されても、前述した図 9 A および図 9 B で示す状態とは異なり、第 1 の切り欠き部 2 3 1 は、開口 2 1 2 g から露出しておらず、第 1 の駆動レバー 1 5 1 の係合部 1 5 1 a は、回転体 2 3 0 の第 1 の切り欠き部 2 3 1 と接触しない。このため、回転体 2 3 0 は回転せず、第 1 の駆動レバー 1 5 1 の係合部 1 5 1 a は、回転体 2 3 0 の側面部 2 3 1 a (またはギア部 2 3 3) の上を滑りながら移動する。

さらに、トレイ 7 0 が矢印 7 0 A の方向に挿入されると、図 1 8 に示すように、ラック部 1 5 3 a が回転体 2 3 0 のギア部 2 3 3 と接触する。このとき、ラック部 1 5 3 a の端部は図 1 0 に示す状態とは異なり、ギア部 2 3 3 の端部から中央よりのいずれかの歯に噛み合う。ラック部 1 5 3 a とギア部 2 3 3 とが噛み合いながらトレイ 7 0 が挿入されることによって、回転体 2 3 0 は矢印 2 3 0 A の

方向に回転し、シャッタ部 2 2 0 が不完全に閉じられた状態から開き始める。このとき、第 2 の駆動レバー 1 5 2 の係合部 1 5 2 b はカム溝 7 5 の案内面 7 5 a が盛り上がった部分に達する。そして、係合部 1 5 2 b がカム溝 7 5 の案内面 7 5 a と当接し、第 2 の駆動レバー 1 5 2 が回転軸 1 5 3 C を中心に矢印 1 5 2 B の方向へ回転する。これにより、ディスクカートリッジ 2 0 0 のロック部材 2 2 5 と第 2 の駆動レバー 1 5 2 が接触するのを回避する。

図 1 8 に示す状態から、さらにトレイ 7 0 が矢印 7 0 A の方向に挿入されると、図 1 9 に示すように、ラック部 1 5 3 a と回転体 2 3 0 のギア部 2 3 3 の噛み合いにより、回転体 2 3 0 は矢印 2 3 0 A の方向に回転を続け、シャッタ部 2 2 0 がさらに開いていく。このとき、第 1 の駆動レバー 1 5 1 はトレイ 7 0 のカム溝 7 5 に駆動され、ディスクカートリッジ 2 0 0 の側面と接触しないように回転軸 1 5 3 b を中心に矢印 1 5 1 B の方向に回転する。

図 1 9 の状態から、さらにトレイ 7 0 が矢印 7 0 A の方向に挿入されると、第 2 の駆動レバー 1 5 2 の係合部 1 5 2 b がカム溝 7 5 の凹んだ部分に達する。バネ 1 5 4 によって付勢されているので、係合部 1 5 2 b が凹んだ案内面 7 5 a と当接するように、第 2 の駆動レバー 1 5 2 が矢印 1 5 2 A の方向に回転する。このため、図 2 0 に示すように、第 2 の駆動レバー 1 5 2 の係合部 1 5 2 a が回転体 2 3 0 の側面部 2 3 2 a に当接する。

ラック部 1 5 3 a は、回転体 2 3 0 のギア部 2 3 3 の途中から噛み合いを始めたため、ギア部 2 3 3 の歯数に対して、ラック部 1 5

3 a の歯が余る。しかし、回転体 2 3 0 の第 2 の切り欠き部 2 3 2 が設けられている側面部 2 3 2 a はギア部 2 3 3 の歯底の高さに設定されているため、余ったラック部 1 5 3 a の歯は、回転体 2 3 0 と当接せず、側面部 2 3 2 a の表面で滑りながら移動する。第 2 の駆動レバー 1 5 2 の係合部 1 5 2 a も回転体 2 3 0 の側面部 2 3 2 a の表面を滑りながら移動する。つまり、この間、回転体 2 3 0 はシャッタ駆動機構 1 5 0 から駆動力を受けず、回転を停止する。

トレイ 7 0 の挿入によって、第 2 の駆動レバー 1 5 2 の係合部 1 5 2 a が、第 2 の切り欠き部 2 3 2 の位置に達すると、係合部 1 5 2 a が第 2 の切り欠き部 2 3 2 と係合しする。この係合により、再び回転体 2 3 0 は回転を開始し、前述した場合と同様に、シャッタ駆動機構 1 5 0 およびディスクカートリッジ 2 0 0 が動作する。前述したように、図 1 3 に示す状態を経て、部品の形状ばらつきなどによる誤差を許容し、図 1 4 に示すシャッタ部 2 2 0 が完全に開放状態となる。これにより、シャッタ駆動機構 1 5 0 の開動作が完了する。

このように、シャッタ部 2 2 0 が不完全に閉じられた状態でディスクカートリッジ 2 0 0 がトレイ 7 0 に載置され、ディスク装置 5 0 0 内に装填されても、何ら支障を生ずることなくシャッタ駆動機構 1 5 0 がシャッタ部 2 2 0 を確実に開放し、ディスクカートリッジ 2 0 0 をディスク装置 5 0 0 内に装填することができる。

次に、シャッタ部 2 2 0 が完全に開かれた状態でディスクカートリッジ 2 0 0 がトレイ 7 0 に載置され、ディスク装置 5 0 0 内装填

される場合（C）におけるシャッタ駆動機構 150 の動作を説明する。

図 21 に示すように、シャッタ部 220 が完全に開かれた状態では、ディスクカートリッジ 200 側面の開口 212 g から回転体 230 の第 2 の切り欠き部 232 が完全に露出している。この状態のディスクカートリッジ 200 をトレイ 70 に装填し、駆動モータ 51 によって、トレイ 70 を矢印 70 A の方向に挿入をする。シャッタ駆動機構 150 はベースシャーシ 50 に取り付けられているため、トレイ 70 が挿入されるにつれて、シャッタ駆動機構 150 がディスクカートリッジ 200 に対して近づいていく。このとき、第 1 の駆動レバー 151 の係合部 151 b および第 2 の駆動レバー 152 の係合部 152 b はカム溝 75 の案内面 75 a と当接しないため、ベース 153 に設けられたストッパ部 153 e によって第 1 の駆動レバー 151 および第 2 の駆動レバー 152 は所定の角度でとどまったままである。

図 21 の状態から、トレイ 70 が矢印 70 A の方向にさらに挿入されると、図 22 に示すように、第 1 の駆動レバー 151 の係合部 151 b がカム溝 75 の案内面 75 a が盛り上がった部分に達する。そして、係合部 151 b がカム溝 75 の案内面 75 a と当接し、第 1 の駆動レバー 151 が回転軸 153 b を中心に矢印 151 B の方向へ回動する。これにより、ディスクカートリッジ 200 のロック部材 225 と第 1 の駆動レバー 151 が接触するのを回避する。このとき、第 2 の駆動レバー 152 はトレイ 70 のカム溝 75 と当接

していないため、ベース 1 5 3 のストッパ部 1 5 3 e によって決まる所定の回転角度を保っている。

図 2 2 に示す状態から、さらにトレイ 7 0 を矢印 7 0 A の方向に挿入すると、ラック部 1 5 3 a がディスクカートリッジ 2 0 0 のロック部材 2 2 5 と接触する位置に達する。ラック部 1 5 3 a によって、ディスクカートリッジ 2 0 0 のロック部材 2 2 5 が押し込めるが、すでに回転体 2 3 0 が矢印 2 3 0 A の方向に回転しているので、回転体 2 3 0 のロックは解除されている。このとき、第 1 の駆動レバー 1 5 1 の係合部 1 5 1 b が、カム溝 7 5 の凹んだ部分に達する。バネ 1 5 4 によって付勢されているので、係合部 1 5 1 b が凹んだ案内面 7 5 a と当接するように、第 1 の駆動レバー 1 5 1 が矢印 1 5 1 A の方向に回転する。このため、第 1 の駆動レバー 1 5 1 の係合部 1 5 1 a は回転体 2 3 0 の側面部 2 3 1 a (またはギア部 2 3 3) に当接する。

図 2 2 の状態から、さらに、トレイ 7 0 が矢印 7 0 A の方向に挿入されると、前述した図 9 A および図 9 B で示す状態とは異なり、開口 2 1 2 g から露出しているのは、第 1 の切り欠き部 2 3 1 ではなく、第 2 の切り欠き部 2 3 2 である。しかし、第 2 の切り欠き部 2 3 2 が形成されている側面部 2 3 2 a は、ギア部 2 3 3 の歯の底面であるため、第 1 の駆動レバー 1 5 1 の係合部 1 5 1 a に対して、第 2 の切り欠き部 2 3 2 は凹んでおり、係合部 1 5 1 a は第 2 の切り欠き部 2 3 2 と係合しない。このため、回転体 2 3 0 は回転せず、第 1 の駆動レバー 1 5 1 の係合部 1 5 1 a は、回転体 2 3 0 の側面

部 2 3 2 a の上を滑りながら移動する。部品の形状ばらつきなどにより、第 1 の駆動レバー 1 5 1 の係合部 1 5 1 a が、第 2 の切り欠き部 2 3 2 に係合したとしても、回転体 2 3 0 のストッパ用凸部 2 3 0 a が、下部カートリッジ本体 2 1 2 に設けられたストッパ部 2 1 2 e と当接することによって回転体 2 3 0 の回転が防止される。このため、回転しない回転体 2 3 0 からの反力によって第 1 の駆動レバー 1 5 1 が矢印 1 5 1 B の方向に回動し、すぐに係合が外れる。

トレイ 7 0 がさらに矢印 7 0 A の方向に挿入される、図 2 4 に示すように、ラック部 1 5 3 a が回転体 2 3 0 の側面部 2 3 2 a に達する。上述したように、側面部 2 3 2 a はギア部 2 3 3 の歯底面と同じ高さに形成されているため、ラック部 1 5 3 a は回転体 2 3 0 と噛み合わず空転をする。このとき、第 2 の駆動レバー 1 5 2 の係合部 1 5 2 b はカム溝 7 5 の案内面 7 5 a が盛り上がった部分に達する。そして、係合部 1 5 2 b がカム溝 7 5 の案内面 7 5 a と当接し、第 2 の駆動レバー 1 5 2 が回転軸 1 5 3 C を中心に矢印 1 5 2 B の方向へ回動する。これにより、ディスクカートリッジ 2 0 0 のロック部材 2 2 5 と第 2 の駆動レバー 1 5 2 が接触するのを回避する。

図 2 4 の状態から、さらに、トレイ 7 0 が矢印 7 0 A の方向に挿入されると、ラック部 1 5 3 a はギア部 2 3 3 と噛み合わないまま、側面部 2 3 2 a において移動する。このため、回転体 2 3 0 は回転せず、停止したままである。このとき、第 1 の駆動レバー 1 5 1 はトレイ 7 0 のカム溝 7 5 に駆動され、ディスクカートリッジ 2 0 0

の側面と接触しないように回転軸 1 5 3 b を中心に矢印 1 5 1 B の方向に回転する。

図 2 5 の状態から、さらに、トレイ 7 0 が矢印 7 0 A の方向に挿入されると、第 2 の駆動レバー 1 5 2 の係合部 1 5 2 b がカム溝 7 5 の凹んだ部分に達する。バネ 1 5 4 によって付勢されているので、係合部 1 5 2 b が凹んだ案内面 7 5 a と当接するように、第 2 の駆動レバー 1 5 2 が矢印 1 5 2 A の方向に回転する。このため、図 2 6 に示すように、第 2 の駆動レバー 1 5 2 の係合部 1 5 2 a が回転体 2 3 0 の側面部 2 3 2 a に当接する。トレイ 7 0 がさらに移動すると、第 2 の駆動レバー 1 5 2 の係合部 1 5 2 a は、回転体 2 3 0 の側面部 2 3 2 a を滑りながら移動し、図 1 3 に示すように第 2 の駆動レバー 1 5 2 の係合部 1 5 2 a が、第 2 の切り欠き部 2 3 2 と係合する。その後、前述したように部品の形状ばらつきなどによる誤差が吸収され、図 1 4 の状態となる。これにより、シャッタ駆動機構 1 5 0 の開動作が完了する。

このように、シャッタ部 2 2 0 が完全に開いた状態でディスクカートリッジ 2 0 0 がトレイ 7 0 に載置され、ディスク装置 5 0 0 内に装填されても、何ら支障を生ずることなく、シャッタ部 2 2 0 が開いた状態を維持したまま、ディスクカートリッジ 2 0 0 をディスク装置 5 0 0 内に装填することができる。

最後に、シャッタ部 2 2 0 を閉じてディスクカートリッジ 2 0 0 を排出させる場合 (D) におけるシャッタ駆動機構 1 5 0 の動作を説明する。この動作は、前述したシャッタ部 2 2 0 が完全に閉じた

状態でトレイ 70 をディスク装置 500 に挿入する場合 (A) と逆手順で行われる。つまり、図 14 A および 14 B の状態から動作を開始し、トレイ 70 をディスク装置 500 から排出させるように移動させることによって、図 6 の状態に示すようにシャッタ駆動機構 150 がシャッタ部 220 を完全に閉じる。

トレイ 70 を排出するために、駆動モータ 51 が図 14 に示す状態からトレイ 70 を矢印 70 B の方向に移動させると、第 2 の駆動レバー 152 の係合部 152 b は、トレイ 70 のカム溝 70 の凹んだ部分へ達する。バネ 154 によって付勢されているので、係合部 152 b が凹んだ案内面 75 a と当接するように、第 2 の駆動レバー 152 が矢印 152 A の方向に回転する。このため、第 2 の駆動レバー 152 の係合部 152 a は回転体 230 の側面部 232 a に当接する。トレイ 70 が矢印 70 B の方向にさらに排出されると、図 13 に示すように、第 2 の駆動レバー 152 の係合部 152 a は、回転体 230 の側面部 232 a 上を滑りながら移動し、回転体 230 の第 2 の切り欠き部 232 と係合する。図 13 に示す状態から、さらに、トレイ 70 が矢印 70 B の方向に排出されると、第 2 の駆動レバー 152 の係合部 152 a と第 2 の切り欠き部 232 との係合によって、シャッタ駆動機構 150 が回転体 230 を矢印 230 B の方向に回転し、シャッタ部 220 の閉動作が開始される。

その結果、図 12 A および 12 B に示すように、シャッタ駆動機構 150 とトレイ 70 との相対的な移動量に対応して、回転体 230 は所定の回転角度で回転する。第 2 の駆動レバー 152 の係合部

1 5 2 a が、第 2 の切り欠き部 2 3 2 から離れる前にラック部 1 5 3 a が回転体 2 3 0 のギア部 2 3 3 に噛み合いを開始し、シャッタ部 2 2 0 はさらに閉じ続ける。

図 1 2 A の状態から、さらにトレイ 7 0 を矢印 7 0 B の方向に排出すると、図 1 1 A および 1 1 B に示すように、ラック部 1 5 3 a と回転体 2 3 0 のギア部 2 3 3 との噛み合いにより、回転体 2 3 0 は矢印 2 3 0 B の方向に回転を続け、シャッタ部 2 2 0 がさらに閉じていく。このとき、第 2 の駆動レバー 1 5 2 の係合部 1 5 2 b がカム溝 7 5 の盛り上がった部分に達するので、係合部 1 5 2 a がディスクカートリッジ 2 0 0 の側面から遠ざかるように第 2 の駆動レバー 1 5 2 が回転軸 1 5 3 c を中心に矢印 1 5 2 B の方向に回転する。これにより、回転体 2 3 0 のガイド部 2 1 2 H およびロック部材 2 2 5 と第 2 の駆動レバー 1 5 2 の係合部 1 5 2 a とが接触するのを防止する。

図 1 1 A に示す状態から、さらにトレイ 7 0 が矢印 7 0 B の方向に排出されると、図 1 0 に示すように、第 1 の駆動レバー 1 5 1 の係合部 1 5 1 b が、カム溝 7 5 の凹んだ部分に到達する。パネ 1 5 4 によって付勢されているので、係合部 1 5 1 b が凹んだ案内面 7 5 a と当接するように、第 1 の駆動レバー 1 5 1 が矢印 1 5 1 A の方向に回転する。回転体 2 3 0 のギア部 2 3 3 とラック部 1 5 3 a との噛み合いによって、シャッタ部 2 2 0 を閉じながら、回転体 2 3 0 が所定の角度だけ回転することにより、ギア部 2 3 0 とラック部 1 5 3 a との噛み合いが離れる前に、第 1 の駆動レバー 1 5 1 の係

合部 1 5 1 a が回転体 2 3 0 の第 1 の切り欠き部 2 3 1 と係合し始める。このとき、ロック部材 2 2 5 は、ラック部 1 5 3 a によって押し込められ、回転体 2 3 0 のロックが解除された状態になっている。

図 1 0 に示す状態から、さらにトレイ 7 0 が矢印 7 0 B の方向に排出されると、図 9 A および 9 B に示すように、第 1 の駆動レバー 1 5 1 の係合部 1 5 1 a と回転体 2 3 0 の第 1 の切り欠き部 2 3 1 との係合によってシャッタ部 2 0 0 を閉じながら、回転体 2 3 0 がさらに回転する。シャッタ部 2 2 0 が完全に閉じると、回転体 2 3 0 の回転が止まる。

しかし、この状態では上述した部品の形状ばらつきにより、完全にシャッタが閉じられていない場合が存在する可能性がある。このため、図 9 に示す状態から、図 8 A および 8 B に示すように、さらにトレイ 7 0 を矢印 7 0 B の方向に排出し、確実に第 1 のシャッタ 2 1 2 および第 2 のシャッタ 2 1 2 が互いに当接するまで、回転体 2 3 0 を回転させる。これにより、部品の形状ばらつきによる誤差を許容して、確実にシャッタ部 2 2 0 を閉塞した状態にすることができる。その後、第 1 の駆動レバー 1 5 1 の係合部 1 5 1 b はカム溝 7 5 の案内面 7 5 a が盛り上がった部分に到達する。そして、案内面 7 5 a に従って、第 1 の駆動レバー 1 5 1 が矢印 1 5 1 B の方向へ回転することにより、係合部 1 5 1 a が第 1 の切り欠き部 2 3 1 から外れる。

さらにトレイ 7 0 を矢印 7 0 B の方向に排出させると、図 7 に示

すように、第１の駆動レバー１５１の係合部１５１ａがディスクカートリッジ２００の側面から離間し、回転体２３０ガイド部２１２Ｈおよびロック部材２２５と接触しないようにシャッタ駆動機構１５０が移動する。

図７に示す状態から、さらに、トレイ７０を矢印７０Ｂの方向に排出すると、図６Ａおよび６Ｂに示すように、第１の駆動レバー１５１の係合部１５１ｂおよび第２の駆動レバー１５２の係合部１５２ｂは、カム溝７５の案内面７５ａが深く凹んだ部分に到達する。係合部１５１ｂおよび係合部１５２ｂは案内面７５ａと当接しないため、第１の駆動レバー１５１および第２の駆動レバー１５２は、ベース１５３に設けられたストッパ部１５３ｅと当接し、所定の回転角度を保つ。トレイ７０の移動が完了すると、シャッタ駆動機構１５０によるシャッタの閉動作が完了する。そして、トレイ７０に載置されたディスクカートリッジ２００がディスク装置５００から排出される。

なお、本実施例では、トラバースベース２０上に位置決めピン２１、２２を構成することにより、ディスクカートリッジ２００の位置決めを行っている。しかし、位置決めピンはトラバースベース２０に固定されていなくてもよい。

また、本実施例では、シャッタ部２２０の開放動作が完了した後、ディスクカートリッジ２００の位置決めを行う際には、第２の駆動レバー１５２は回転体２３０と離間させている。しかし、部品の加工精度などを高め、スピンドルモータ３０に対してディスクカート

リッジ 200 を十分正確に位置決めすることができれば、第 2 の駆動レバー 152 が回転体 230 と係合した状態でシャッタ部の開動作を終了し、トレイ 70 の駆動を止めてもよい。

また、本実施例では、トレイ 70 を少し余分に駆動することで、部品の形状ばらつきによって生じるシャッタ部 220 を完全に開くための誤差を考慮している。しかし、各構成部品の加工精度を高めたり、ディスクカートリッジ 200 のシャッタ部 220 が完全に開く位置のばらつきに対してシャッタ駆動機構 150 の許容誤差を大きく設定することにより、シャッタ部 220 が完全に開いた状態にし得ることが保証できれば、第 2 の駆動レバーが回転体 230 に係合した状態でシャッタ部 220 の開動作を終了してもよい。

また、本実施例では、第 1 の駆動レバー 151 および第 2 の駆動レバー 152 の駆動をトレイ 70 の側面に設けられたカム溝 75 によって行っている。しかし、トレイ 70 の挿入／排出動作により、第 1 の駆動レバー 151 および第 2 の駆動レバー 152 を駆動することができれば、例えば、トレイ 70 の裏面にカム溝 75 を形成してもよい。

また、本実施例では、第 1 の駆動レバー 151 および第 2 の駆動レバー 152 の駆動を同一のカム溝 75 によって行っている。しかし、第 1 の駆動レバー 151 および第 2 の駆動レバー 152 をそれぞれ独立した 2 つのカム溝によって駆動してもよい。

また、本実施例では、トレイ 70 側面から凹んだカム溝 75 を形成している。しかし、カム構造は凸形状を有してもよい。

また、本実施例では、ディスク装置 500 内へディスクカートリッジ 200 を挿入し、ディスク装置 500 内からディスクカートリッジ 200 を搬出するためにトレイ 70 を用いる。しかし、ディスク装置 500 に例えばスロットイン方式を採用し、ディスクカートリッジ 200 搬送する搬送部に、カム形状を設けても本実施形態と同様の効果を得ることができる。

また、本実施形態のディスク装置 500 において、第 1 の駆動レバーおよび第 2 の駆動レバーの動作が異常であることを機械的または電氣的に検出してもよい。このように構成することにより、ディスクカートリッジ 200 の誤挿入を検出することができる。

また、この上部筐体 510 と下部筐体 520 とで構成されるディスク装置 500 の外形寸法の高さ H1 が、例えば 41.6 mm であってもよい。外形寸法の幅は、例えば 146 mm であってもよい。外形寸法の奥行きは、例えば 196 mm であってもよい。

以上のように、本実施形態のディスク装置は、回転体を回転させることによりシャッタを開閉させるディスクカートリッジに好適に適合している。特に、回転体の第 1 の切り欠き部、第 2 の切り欠き部に係合する第 1 および第 2 の駆動レバーをそれぞれ駆動して、これらがそれぞれ、第 1 の切り欠き部および第 2 の切り欠き部とのみ係合し、ロック部材などディスクカートリッジの側面の他の部分とは接触しないようすることにより、カートリッジ側方における引っかかりや繰り返し動作によるレバー部またはディスクカートリッジ部の損傷をなくし、駆動機構の信頼性を高めている。

また、ディスクカートリッジが載置されたトレイがディスク装置に挿入される際、第 1 の駆動レバー、ラック部および第 2 の駆動レバーが順にディスクカートリッジの回転体と接触するようにカム構造が第 1 の駆動レバーおよび第 2 の駆動レバーを駆動する。このため、トレイに載置されるディスクカートリッジのシャッタがどのような状態であっても、第 1 の駆動レバー、ラック部および第 2 の駆動レバーの少なくとも 1 つと回転体が係合しシャッタ部を開放させることができる。

また、トレイなどの搬送部のシャッタ駆動機構と近接する部分の形状に応じて、第 1 および第 2 の駆動レバー部をそれぞれ駆動させることが可能であるため、搬送部におけるディスクカートリッジの位置を規制するガイド壁を搬送部に設けることが可能である。このため、搬送部内においてディスクカートリッジの位置を正確に定めることが可能となり、シャッタ開閉動作を安定して行うことができる。さらに、ディスクカートリッジの位置決めを行う際に、ディスクカートリッジがシャッタ開閉機構 150 に接触しないようにすることも可能であり、これにより、ディスク装置内におけるディスクカートリッジの位置決めをより安定して行うことができる。

また、省スペースかつ簡便な構成でシャッタ駆動機構を構成することが可能であるため、一般に使われている PC ドライブサイズ（146 mm×196 mm×41.6 mm）を有するディスク装置を実現することも可能である。

また、搬送部に第 1 および第 2 の駆動レバーを駆動するカム構造

形状を形成することにより、ディスクカートリッジの位置に対して、適切なタイミングで第 1 および第 2 の駆動レバーを駆動させ、シャッタ駆動機構の信頼性を向上させることができる。

また、第 1 および第 2 の駆動レバー部をそれぞればねを用いて付勢し、開閉動作中搬送部を余分に駆動することにより、部品の形状ばらつきを許容して、確実にシャッタを開閉することができる。

また、第 1 の駆動レバーおよび第 2 の駆動レバーの動作異常を、機械的または電氣的に検出することにより、ディスクカートリッジ 200 の誤挿入を検出することができる。

また、ベースに搬送部を案内するガイド形状を設けることにより、搬送部に対するシャッタ駆動機構の位置精度を高めることができる。

また、付勢バネを用い、ベースをカートリッジ搬送部に対して付勢することによって、搬送部に対するシャッタ駆動機構の位置精度を高めることができる。

また、付勢バネを用い、ベースをディスクカートリッジに対して付勢することによって、ディスクカートリッジに対するシャッタ駆動機構の位置精度を高めることができる。

（第 2 の実施形態）

以下、本発明の第 2 の実施形態を詳細に説明する。本実施形態のディスク装置に装填可能なディスクカートリッジは第 1 の実施形態と同じである。第 1 の実施形態と同様、ディスクカートリッジ 200 を用いて本実施形態のディスク装置を説明するが、上述したよう

にディスクカートリッジ 300 や、上述の構造を備えるディスクカートリッジにもディスク装置 500 は適合している。

図 27 は、本実施形態のディスク装置 501 の構成を示す分解斜視図である。図 27 において、第 1 の実施形態と同じ構成要素には同じ参照部号を付している。ディスク装置 501 は、ラック部 153 a を含むラック部材 157 がベース 153 から分離されており、ベース 153 とラック部材 157 が独立した部材によって構成されている。このため、シャッタ駆動機構 150 の構造とこれに係合するトレイ 70 の構造が第 1 の実施形態とが異なっている。他の構成要素の構造や機能および動作は第 1 の実施形態と同一であるため、上述した相違点を主として詳細に説明する。

図 27 に示すように、トレイ 70 には、ディスクカートリッジ 200 を収納するための凹部 70 r が設けられている。トレイ 70 において、ガイド壁 70 a および 70 b はトレイの挿入方向 70 A および排出方向 70 B に対して平行に設けられており、シャッタ駆動機構 150 が近接するガイド壁 70 a の一部は、シャッタ駆動機構 150 が通過するための切り欠きが設けられている。本実施形態では、トレイ 70 の美観を高めるために、ガイド壁 70 b もガイド壁 70 a と同様の形状を備え、トレイ 70 においてガイド壁 70 a および 70 b は対称に配置されているが、ガイド壁 70 はディスクカートリッジ 200 の側方をガイドする機能を十分果たすことができる。

また、ガイド壁 70 a および 70 b の内側にはディスクカートリ

ッジ 200 がトレイ 70 に収納された際に矢印 70 A および 70 B の方向の位置決めを行う凸部 70 t が設けられている。凹部 70 r の底部には、スピンドルモータ 30 および光ヘッド 40 がディスク 10 に接近するための開口部 70 w が設けられている。

図 27 に示すように、カートリッジに収納されていないディスク 10 を直接装填するために、凹部 70 r の底部にさらに円形状の凹部 70 q を設けてもよい。また、凹部 70 r に載置されたディスク カートリッジ 200 をトレイ 70 から取り出しやすくするために、カートリッジの側面の一部を露出させるための切り欠き 70 s をトレイ 70 の前面に設けてもよい。切り欠き 70 s の両側には、ディスク カートリッジ 200 の位置決めを行うためのガイド壁 70 c が設けられている。

トレイ 70 は、スライド部 72 および付勢スライド部 72 を付勢するための付勢バネ 73 をさらに備える。スライド部 71 は付勢バネ 72 によって、矢印 70 B の方向へ付勢され、スライド部 71 のガイド壁 71 a がディスク カートリッジ 200 と当接する。これにより、図 2 に示すように、トレイ 70 に装填されたディスク カートリッジ 200 がトレイ 70 の凹部 70 r 内において位置決めされる。第 1 の実施形態で説明したように、スライド部 71 を利用して、図 63 に示したディスク カートリッジ 100 を装填することが可能なようにトレイ 70 を構成してもよい。

シャッタ駆動機構 150 は、第 1 の駆動レバー 151 と、第 2 の駆動レバー 152 と、一部にラック部 153 a が設けられたラック

部材 1 5 7 と、ラック部材を矢印 1 5 0 A および 1 5 0 B の方向にガイドするベース 1 5 3 と、第 1 および第 2 の駆動レバー 1 5 1、1 5 2 を付勢するバネ 1 5 4 と、ラック部材 1 5 7 を付勢するラック付勢バネ 1 5 6 とを備えている。

ベース 1 5 3 はガイドリブ 1 5 5 a および 1 5 5 b を有し、トレイ 7 0 が矢印 7 0 A および 7 0 B の方向へ移動する際にトレイ 7 0 をガイドする。これにより、トレイ 7 0 に対するシャッタ駆動機構 1 5 0 の位置の精度を高めている。また、ベース 1 5 3 には、ラック部材 1 5 7 を矢印 1 5 0 A および 1 5 0 B の方向にガイドするガイドリブ 1 5 5 c と、ラック部材 1 5 7 の係合部 1 5 7 a と係合する係合穴 1 5 5 d が設けられている。係合穴 1 5 5 d は、ラック部材 1 5 7 がラック付勢バネ 1 5 6 により矢印 1 5 0 A の方向付勢される際のストッパの機能も有し、シャッタ駆動機構 1 5 0 を組み立てた際にラック部材 1 5 7 がラック付勢バネ 1 5 6 の付勢により脱落しないようにしている。

次に、シャッタ駆動機構 1 5 0 およびトレイ 7 0 に設けられたカム構造を説明する。本実施形態のシャッタ駆動機構 1 5 0 では第 1 および第 2 の駆動レバー 1 5 1 および 1 5 2 に加えて、ラック部材 1 5 7 も駆動される。このため、トレイ 7 0 の側面には第 1 のカム構造および第 2 のカム構造としてカム溝 7 5 および 7 6 が設けられている。

図 2 8 および図 2 9 は、トレイ 7 0 に係合したシャッタ駆動機構 1 5 0 を示す斜視図であり、図 3 0 は、トレイ 7 0 に設けられたカ

ム溝 7 5 および 7 6 の構造を示す斜視図である。また、図 3 1 A および図 3 1 B は、それぞれシャッタ駆動機構 1 5 0 の正面図および断面図である。

シャッタ駆動機構 1 5 0 は、図 6 4 に示すディスクカートリッジ 2 0 0 の回転体 2 3 0 を駆動することでシャッタ部 2 2 0 の開閉を行う。図 2 8 に示すように、シャッタ駆動機構 1 5 0 において、第 1 の駆動レバー 1 5 1 および第 2 の駆動レバー 1 5 2 は、回転体 2 3 0 の第 1 の切り欠き部 2 3 1 および第 2 の切り欠き部 2 3 2 に係合する。ラック部材 1 5 7 のラック部 1 5 3 a は、回転体 2 3 0 のギア部 2 3 3 と係合する。

第 1 の駆動レバー 1 5 1 と第 2 の駆動レバー 1 5 2 は、それぞれラック部材 1 5 7 に設けられた回転軸 1 5 3 b および 1 5 3 c に回転可能なように支持される。バネ 1 5 4 は、ベース 1 5 3 に設けられた支軸 1 5 3 d に取り付けられており、第 1 の駆動レバー 1 5 1 を矢印 1 5 1 A の方向へ、第 2 の駆動レバー 1 5 2 を矢印 1 5 2 A の方向へそれぞれ付勢する。ラック部材 1 5 7 には、バネ 1 5 4 による第 1 の駆動レバー 1 5 1 および第 2 の駆動レバー 1 5 3 の回転を妨げるストッパ部 1 5 3 e が設けられている。このストッパ部 1 5 3 e により、第 1 の駆動レバー 1 5 1 および第 2 の駆動レバー 1 5 2 が所定の回転角度で保持される。

図 2 8、2 9 および図 3 1 A に示すように、第 1 の駆動レバー 1 5 1 は、回転体 2 3 0 の第 1 の切り欠き部 2 3 1 に係合する係合部 1 5 1 a と、トレイ 7 0 の側面に設けられているカム溝 7 5 の案内

面 7 5 a (図 3 0) と当接する係合部 1 5 1 b を備えている。同様に、第 2 の駆動レバー 1 5 2 は、回転体 2 3 0 の第 2 の切り欠き部 2 3 2 に係合する係合部 1 5 2 a と、トレイ 7 0 の側面に設けられているカム溝 7 5 の案内面 7 5 a と当接する係合部 1 5 2 b を備えている。

また、ラック部材 1 5 7 は、回転体 2 3 0 のギア部 2 3 3 に噛み合うラック部 1 5 3 a と、トレイ 7 0 の側面に設けられているカム溝 7 6 の第 2 の案内面 7 6 a と当接する係合部 1 5 7 b を備える。ラック部材 1 5 7 は、図 3 1 B に示すようにばね 1 5 6 によって矢印 1 5 0 A の方向に付勢されている。

図 3 0 に示すように、第 1 のカム構造であるカム溝 7 5 および第 2 のカム構造であるカム溝 7 6 はトレイのシャッタ駆動機構 1 5 0 に面する側面において、トレイ 7 0 の移動方向に平行に伸びるように、かつ、互いに平行に形成されている。

図 2 8 および図 2 9 に示すように、トレイ 7 0 がシャッタ駆動機構 1 5 0 に対して相対的に矢印 7 0 A または矢印 7 0 B の方向に移動すると、係合部 1 5 1 b および係合部 1 5 2 b がカム溝の 7 5 の案内面 7 5 a と当接しながら移動する。このため、第 1 の駆動レバー 1 5 1 および第 2 の駆動レバー 1 5 2 は、カム溝の 7 5 のプロファイルにしたがって、それぞれ、回転軸 1 5 3 b および 1 5 3 c を中心に揺動する。また、ラック部材 1 5 7 の係合部 1 5 7 b もカム溝 7 6 の案内面 7 6 a と当接しながら移動する。このため、カム溝 7 6 のプロフィールに応じて、ペース 1 5 3 のガイドリブ 1 5 5 c

に沿う矢印 1 5 0 A および 1 5 0 B の方向に移動する。

次に、回転体 2 3 0 の第 1 の切り欠き部 2 3 1、第 2 の切り欠き部 2 3 2 およびギア部 2 3 3 のピッチと、シャッタ駆動機構 1 5 0 に構成される第 1 の駆動レバー 1 5 1 の係合部 1 5 1 a、第 2 の駆動レバー 1 5 2 の係合部 1 5 2 a およびラック部材 1 5 7 のラック部 1 5 3 a のピッチとの関係を説明する。

図 3 2 A および図 3 2 B は、第 1 の実施形態および本実施形態におけるシャッタ駆動機構 1 5 0 の主要な部分の寸法を示している。また、図 3 2 C は回転体 2 3 0 の主要な部分の寸法を示している。

図 3 2 A に示すように第 1 の実施形態では第 1 の駆動レバーの係合部 1 5 1 a とラック部 1 5 3 a の第 1 の駆動レバーに最も近接した歯とのピッチ L_1 、ラック部 1 5 3 a の両端の歯のピッチ G_1 、および第 2 の駆動レバーの係合部 1 5 2 a とラック部 1 5 3 a の第 2 の駆動レバーに最も近接した歯とのピッチ M_1 は、回転体における第 1 の切り欠き部 1 5 1 a とギア部 2 3 3 の第 1 の切り欠き部 1 5 1 a に最も近接した溝とのピッチ L_3 、ギア部 2 3 3 の両端の溝のピッチ G_3 および第 2 の切り欠き部 1 5 2 a とギア部 2 3 3 の第 2 の切り欠き部 1 5 2 a に最も近接した溝とのピッチ M_3 とそれぞれ等しい。つまり、 $L_1 = L_3$ 、 $G_1 = G_3$ 、 $M_1 = M_3$ である。

ここで、ピッチとは、係合部 1 5 1 a、係合部 1 5 2 a およびラック部 1 5 3 a の両端、ならびに、第 1 の切り欠き部 1 5 1 a、第 2 の切り欠き部 1 5 2 a およびギア部 2 3 3 の両端をそれぞれ直線状に展開した場合の距離をいう。

これに対して、第2の実施形態では第1の駆動レバーの係合部151aとラック部153aの第1の駆動レバーに最も近接した歯とのピッチ L_2 、ラック部153aの両端の歯のピッチ G_2 、および第2の駆動レバーの係合部152aとラック部153aの第2の駆動レバーに最も近接した歯とのピッチ M_2 は、 $L_2 = L_3 + G_p$ 、 $G_2 = G_3$ 、 $M_2 = M_3$ の関係をそれぞれ満たしている。ここで G_p はラック部153aおよびギア部233のギアピッチをさす。つまり、第2の実施形態において第1の駆動レバー151の係合部151aとギア部153aの一端に位置する溝とのピッチは回転体230のギア列のピッチに対して、ちょうどギアピッチ G_p 分長く設定されている。

つまり、第1の駆動レバーの係合部151aと回転体230の第1の切り欠き部231とが係合した場合、ラック部153aとギア部233とは第1の実施形態の場合と比べて、1歯分ずれた位置から噛み合うことになる。この1歯分ずらした関係により、シャッタ駆動機構150によるシャッタの閉動作の信頼性を向上させている。このような噛み合せによる信頼性の向上については、以下において詳述する。

次に、シャッタ駆動機構150の動作を説明する。第1の実施形態と同様、ディスク装置501において、ディスクカートリッジ200が装填されたトレイ70がディスク装置500内へ挿入される（矢印70Aの方向へ移動）と、これにともなってシャッタ駆動機構150が駆動され、ディスクカートリッジ200のシャッタ部2

20が開く動作を行う。また、トレイ70がディスク装置501から排出される（矢印70Bの方向へ移動）と、これにともなって、シャッタ駆動機構150が駆動され、シャッタ部220が閉じる動作を行う。

ディスクカートリッジ200は通常の使用状態において、操作者あるいはユーザがシャッタ部220の開閉することは想定されていない。しかし、操作者が意図的に回転体230の回転をロックしているロック部材225を操作して、回転体230のロックを解除し、回転体230を回して、シャッタ部220を開閉することは可能である。言い換えれば、操作者がディスクカートリッジ200をディスク装置500に装填する際、シャッタ部220が必ず閉じているとは限らない。

このため、ディスクカートリッジ200をトレイ70に装填し、トレイ70をディスク装置500に挿入するとき、ディスクカートリッジ200の状態としては、（A）シャッタ部220が完全に閉じている状態、（B）シャッタ部220が不完全に閉じている状態、（C）完全にシャッタ部220が開いている状態、の3つが考えられる。一方、ディスク装置500からディスクカートリッジ200が排出されるときには、シャッタ部220は必ず開放されている。このため、ディスク装置500からディスクカートリッジ200を排出する場合、ディスクカートリッジ200の状態としては、

（D）シャッタ部220が完全に開いている状態のみが考えられる。以下、この4つの場合に分けてディスク装置500の動作を説明す

る。第 1 の実施形態と同様、以下の図において、図 3 3 A および図 3 3 B など、同じ数字に A および B の 2 つ符号が付されている 1 対の図では、(A) がディスクカートリッジ 2 0 0 を搭載した状態の図を示し、(B) がディスクカートリッジを搭載していない状態を示している。

まず、シャッタ部 2 2 0 が完全に閉じられた状態で、ディスクカートリッジ 2 0 0 がトレイ 7 0 に載置され、ディスク装置 5 0 1 内に装填される場合 (A) におけるシャッタ駆動機構 1 5 0 の動作を説明する。

図 3 3 A および図 3 3 B は、トレイ 7 0 がディスク装置 5 0 1 から排出された状態を示している。図 3 3 A はトレイ 7 0 にシャッタ部 2 2 0 が閉塞した状態にあるディスクカートリッジ 2 0 0 が載置された状態を示しており、図 3 3 B はトレイ 7 0 およびシャッタ駆動機構 1 5 0 のみを示している。図 3 3 A および 3 3 B に示すように、ディスクカートリッジ 2 0 0 をトレイ 7 0 に装填し、駆動モータ 5 1 によって、トレイ 7 0 を矢印 7 0 A の方向に挿入する。シャッタ駆動機構 1 5 0 は、ベースシャーシ 5 0 に取り付けられているため、トレイ 7 0 の挿入によって、シャッタ駆動機構 1 5 0 が相対的にディスクカートリッジ 2 0 0 に近づいていく。このとき、第 1 の駆動レバー 1 5 1 の係合部 1 5 1 b および第 2 の駆動レバー 1 5 2 の係合部 1 5 2 b はカム溝 7 5 の案内面 7 5 a と当接し、第 1 の駆動レバー 1 5 1 および第 2 の駆動レバー 1 5 2 は、それぞれ矢印 1 5 1 B および 1 5 2 B の方向へ回動し、案内面 7 5 a の位置で定

まる所定の回転角度を保っている。具体的には図 3 3 A および 3 3 B に示すように、ロック部材 2 2 5 と接触しないようにラック部 1 5 3 a よりも第 1 の駆動レバー 1 5 1 の係合部 1 5 1 b および第 2 の駆動レバー 1 5 2 の係合部 1 5 2 b は矢印 1 5 0 B の方向へ後退している。

一方、ラック部材 1 5 7 の係合部 1 5 7 b はカム溝 7 6 の案内面 7 6 a と当接しており、案内面 7 6 a によって定まる位置にラック部 1 5 3 a はとどまっている。このように構成することによって、トレイ 7 0 に対してラック部 1 5 3 a の位置を定めることができる。ディスクカートリッジ 2 0 0 はトレイ 7 0 に収納されており、トレイ 7 0 に対して位置決めされているため、ラック部 1 5 3 a はトレイ 7 0 を介してディスクカートリッジ 2 0 0 に対して位置決めされる。これによって、カートリッジ 2 0 0 に対するラック部 1 5 7 の位置精度を高め、シャッタ駆動機構 1 5 0 がディスクカートリッジ 2 0 0 の回転体 2 3 0 と確実に係合するようにしている。

しかし、カム溝 7 6 の案内面 7 6 a の一部に凹部を設け、トレイ 7 0 の挿入または排出動作中の所定の期間、ラック部材 1 5 7 の係合部 1 5 7 b がカム溝 7 6 の案内面 7 6 a と当接しないようにカム溝 7 6 を構成してもよい。このようにすることによって、トレイ 7 0 の駆動負荷を低減できる。この場合、ペース 1 5 3 のストッパ部 1 5 5 d は、ラック部材 1 5 7 がトレイ 7 0 に対して所定の距離以上に接近するのを防止する。

図 3 3 A および図 3 3 B に示す状態から、さらにトレイ 7 0 を矢

印 7 0 A の方向に挿入すると、第 1 の駆動レバー 1 5 1 の係合部 1 5 1 a がロック部材 2 2 5 と接触することなく通過し、図 3 4 に示すように、ラック部 1 5 3 a がディスクカートリッジ 2 0 0 のロック部材 2 2 5 と接触する位置に達する。

ロック部材 2 2 5 は、ラック部 1 5 3 a によって押し込められ、ロック部材 2 2 5 の凸部 2 2 5 a が支持軸 2 1 2 c を中心に回転する。このため、回転体 2 3 0 の第 2 の切り欠き部 2 3 2 とロック部材 2 2 5 の凸部 2 2 5 a との係合が外れ、回転体 2 3 0 のロックが解除される。このとき、第 1 の駆動レバー 1 5 1 の係合部 1 5 1 b は、カム溝 7 5 の凹んだ部分に達する。バネ 1 5 4 によって付勢されているので、係合部 1 5 1 b が凹んだ案内面 7 5 a と当接するように、第 1 の駆動レバー 1 5 1 が矢印 1 5 1 A の方向に回転する。そして、第 1 の駆動レバー 1 5 1 の係合部 1 5 1 a が回転体 2 3 0 の側面部 2 3 1 a に当接する。第 2 の駆動レバー 1 5 2 はカム溝 7 5 の案内面 7 5 a により矢印 1 5 2 B の方向に回転されたままである。

さらに、トレイ 7 0 が矢印 7 0 A の方向に挿入されると、図 3 5 A および 3 5 B に示すように、第 1 の駆動レバー 1 5 1 の係合部 1 5 1 a は、回転体 2 3 0 の側面部 2 3 1 a を滑りながら移動した後、回転体 2 3 0 の第 1 の切り欠き部 2 3 1 と係合する。ロック部材 2 2 5 は、ラック部 1 5 3 a によって押し込められているため、回転体 2 3 0 のロックは解除されている。したがって、図 3 5 A に示す状態から、さらにトレイ 7 0 を矢印 7 0 A の方向に挿入すると、シ

シャッタ駆動機構 150 の第 1 の駆動レバー 151 との係合によって、回転体 230 が矢印 230 A の方向に回転し、回転体 230 に係合したシャッタ部 220 がシャッタの開放動作を開始する。

図 36 に示すように、シャッタ駆動機構 150 とトレイ 70 との相対的な移動量に対応して、回転体 230 は所定の回転角度で回転する。そして、第 1 の駆動レバー 151 の係合部 151 a が、第 1 の切り欠き部 231 から離れる前にラック部 153 a は回転体 230 のギア部 233 と噛み合い始める。これ以降、ラック部 153 a とギア部 233 の噛み合いによって、回転体 230 がシャッタ駆動機構 150 から駆動力を受け、回転体 230 の回転によって、シャッタ部 220 はさらに開き続ける。

このとき、第 1 の駆動レバー 151 の係合部 151 a とラック部 153 a の第 1 の駆動レバー 151 に最も近接した歯（黒く塗りつぶして示されている）との距離は第 1 の実施例とは異なり、1 歯分長い。その結果、ラック部 153 a の第 1 の駆動レバー 151 に最も近接した歯と回転体 230 のギア部 233 における第 1 の切り欠き部に最も近接した溝との噛み合いは 1 歯ずれる。また、第 2 の駆動レバー 152 の係合部 152 b がカム溝 75 の案内面 75 a と当接するため、第 2 の駆動レバー 152 は、回転軸 153 c を中心に矢印 152 B の方向へ回動した状態を保つ。これにより、ディスクカートリッジ 200 のロック部材 225 と第 2 の駆動レバー 152 とのは接触しない。

トレイ 70 がさらに矢印 70 A の方向に挿入されると、図 37 A

および図 3 7 B に示すように、ラック部 1 5 3 a と回転体 2 3 0 のギア部 2 3 3 との噛み合いにより、回転体 2 3 0 は矢印 2 3 0 A の方向に回転を続け、シャッタ部 2 2 0 がさらに開く。このとき、第 1 の駆動レバー 1 5 1 の係合部 1 5 1 B がカム溝 7 5 の案内面 7 5 a と当接することによってカム溝 7 5 に駆動され、ディスクカートリッジ 2 0 0 の外側面との接触を回避するように、第 1 の駆動レバー 1 5 1 は回転軸 1 5 3 b を中心に矢印 1 5 1 B の方向に回動する。なお、この回避動作は、ディスクカートリッジ 2 0 0 の外形形状に構成されている回転体 2 3 0 のガイド部 2 1 2 G が第 1 の駆動レバー 1 5 1 と接触するのを防止するために行っている。

さらにトレイ 7 0 が矢印 7 0 A の方向に挿入されると、図 3 8 A および 3 8 B に示すように、第 2 の駆動レバー 1 5 2 の係合部 1 5 2 b がカム溝 7 5 の凹んだ部分に達する。バネ 1 5 4 によって付勢されているので、係合部 1 5 2 b が凹んだ案内面 7 5 a と当接するように、第 2 の駆動レバー 1 5 2 が矢印 1 5 2 A の方向に回動する。回転体 2 3 0 はギア部 2 3 3 とラック部 1 5 3 a との噛み合いによって、さらに回転する。このとき、ラック部 1 5 3 a は、回転体 2 3 0 のギア部 2 3 3 と 1 歯ずれた状態から噛み合いを始めたため、ギア部 2 3 3 の溝の数に対して、ラック部 1 5 3 a の歯数が 1 つ多くなっており、ラック部 1 5 3 a の第 2 の駆動レバー 1 5 2 に最も近接した歯が余る。しかし、回転体 2 3 0 の第 2 の切り欠き部 2 3 2 が設けられている側面部 2 3 2 a はギア部 2 3 3 の歯底（溝）の高さであるため、ラック部 1 5 3 a の最後の歯は、回転体 2 3 0 と干

渉することなく、ギア部 2 3 3 と噛み合わない状態をとることができる。

第 2 の駆動レバー 1 5 2 の係合部 1 5 2 a は、回転体 2 3 0 の回転にともなって、回転体 2 3 0 の側面部 2 3 2 a を滑りながら移動する。また、第 1 の駆動レバー 1 5 1 の係合部 1 5 1 a は、トレイ 7 0 のガイド壁 7 0 a の傾斜面 7 0 g に当接し、第 1 の駆動レバー 1 5 1 は、この傾斜面 7 0 g およびガイド壁 7 0 a に沿って、矢印 1 5 1 B の方向に回動する。この回動動作によって、ディスクカートリッジ 2 0 0 をトレイ 7 0 内で位置決めするためのガイド壁 7 0 a を形成することが可能となる。なお、本実施例では、この第 1 の駆動レバー 1 5 1 の回動動作を、ガイド壁 7 0 a と第 1 の駆動レバー 1 5 1 の係合部 1 5 1 a との当接によって行っているが、カム溝 7 5 の案内面 7 4 a による駆動と同様に、第 1 の駆動レバー 1 5 1 の係合部 1 5 1 b と係合するカム構造をトレイ 7 0 に設け、第 1 の駆動レバー 1 5 1 を駆動してもよい。

図 3 8 の状態から、さらにトレイ 7 0 を矢印 7 0 A の方向に挿入すると、シャッタ部 2 2 0 を開きながら、回転体 2 3 0 が所定の角度だけ回転することにより、ギア部 2 3 0 とラック部 1 5 3 a との噛み合いが離れる前に、第 2 の駆動レバー 1 5 2 の係合部 1 5 2 a が回転体 2 3 0 の第 2 の切り欠き部 2 3 2 と係合し始める。図 3 9 に示すように、第 2 の駆動レバー 1 5 2 の係合部 1 5 2 a と回転体 2 3 0 の第 2 の切り欠き部 2 3 2 の係合によって、シャッタ部 2 0 0 をさらに開きながら、回転体 2 3 0 が回転し、下部カートリッジ

本体 2 1 2 内のストッパ部 2 1 2 e に回転体 2 3 0 のストッパ用凸部 2 3 0 a' が到達する。これにより、回転体 2 3 0 の回転が止まり、シャッタ部 2 2 0 が完全に開いて開動作が完了する。

しかし、この状態では、シャッタ駆動機構 1 5 0 やディスクカートリッジ 2 0 0 などの構成部品の加工精度による形状のばらつき（例えば、第 2 の駆動レバー 1 5 2 の係合部 1 5 2 a と回転体 2 3 0 の第 2 の切り欠き部 2 3 2 との勘合ガタ）や、トレイ 7 0 におけるディスクカートリッジ 2 0 0 の矢印 7 0 A の方向または 7 0 B の方向における位置ずれにより、図 1 3 に示すシャッタ駆動機構 1 5 0 とトレイ 7 0 との相対位置では、完全にはシャッタが開放していない可能性がある。

また、トレイ 7 0 がディスク装置 5 0 0 に挿入されて停止する位置の精度は高くない。このためトラバーススペース 2 0 上のスピンドルモータ 3 0 に対するディスクカートリッジ 2 0 0 の位置は少しずれる可能性がある。この位置ずれを補正するには、例えばトラバーススペース上に構成された位置決めピン 2 1 および 2 2 をディスクカートリッジ 2 0 0 に設けられた位置決め穴 2 1 5 a および 2 1 5 b に勘合させて位置決めを行うのが一般的である。しかし、このとき、第 2 の切り欠き部 2 3 3 と第 2 の駆動レバー 1 5 2 が係合したままでは、ディスクカートリッジ 2 0 0 の動きが制約され、正しく位置決めを行うことができない可能性がある。

そこで、本実施例では、第 1 の実施例とは異なり、ラック部材 1 5 7 の係合部 1 5 7 b とカム溝 7 6 の案内面 7 6 a との当接により、

ラック部材 1 5 7 を矢印 1 5 0 B の方向に駆動して、ディスクカートリッジ 2 0 0 の位置決めの際、ラック部 1 5 3 a とディスクカートリッジ 2 0 0 の本体部 2 1 2 が干渉しないようにする。これにより、ラック部 1 5 3 a の位置の誤差を許容する。

また、図 3 9 に示す状態から、さらにトレイ 7 0 を矢印 7 0 A の方向に挿入して、確実に回転体 2 3 0 のストッパ用凸部 2 3 0 a が下部カートリッジ本体 2 1 2 のストッパ部 2 1 2 e に当接させる。当接後は、第 2 の駆動レバー 1 5 2 の係合部 1 5 2 b が第 2 の切り欠き部 2 3 2 からはずれ、バネ 1 5 4 の付勢力に抗して、第 2 の駆動レバー 1 5 2 が矢印 1 5 2 B の方向に回転するようにカム溝 7 5 の案内面を構成する。これによって、部品の形状ばらつきによる誤差を許容する。

さらに、トレイ 7 0 を矢印 7 0 A の方向に挿入すると、図 4 0 A および 4 0 B に示すように、カム溝 7 5 の案内面 7 5 a によって、第 2 の駆動レバー 1 5 2 は矢印 1 5 2 B の方向に回転され、ディスクカートリッジ 2 0 0 への付勢力が弱められ第 2 の切り欠き部 2 3 2 との係合が解消する。そしてトレイ 7 0 の挿入動作が終了する。図 4 0 A に示す状態で、シャッタ部 2 2 0 は完全に開いた状態となり、シャッタ駆動機構 1 5 0 の開動作が完了する。また、ディスクカートリッジ 2 0 0 はトレイ 7 0 の凹部 7 0 r 内でトレイ 7 0 の移動方向（矢印 7 0 A および矢印 7 0 B の方向）ならびにトレイ 7 0 の移動方向に垂直な方向（矢印 1 5 0 A および矢印 1 5 0 B の方向）に移動可能となる。

次に、シャッタ部 220 が不完全に閉じられた状態で、ディスクカートリッジ 200 がトレイ 70 に載置され、ディスク装置 500 内に装填される場合（B）におけるシャッタ駆動機構 150 の動作を説明する。

図 41 に示すように、シャッタ部 220 が不完全に閉じられた状態では、ディスクカートリッジ 200 の側面の開口から回転体 230 のギア部 233 が一部露出している。この状態のディスクカートリッジ 200 をトレイ 70 に装填し、駆動モータ 51 によって、トレイ 70 を矢印 70A の方向に挿入すると、トレイ 70 の挿入動作に対して、シャッタ駆動機構 150 が、ディスクカートリッジ 200 に対して近づいていく。

このとき、第 1 の駆動レバー 151 の係合部 151b および第 2 の駆動レバー 152 の係合部 152b は、トレイ 70 に設けられたカム溝 75 の案内面 75a と当接する。このため、第 1 の駆動レバー 151 および第 2 の駆動レバー 152 はそれぞれ、矢印 151B および矢印 152B の方向に回転し、案内面 75a の位置で定まる所定の回転角度を維持する。より具体的には、ロック部材 225 と接触しないようにラック部 153a よりも第 1 の駆動レバー 151 の係合部 151b および第 2 の駆動レバー 152 の係合部 152b は矢印 150B の方向へ後退している。

また、ラック部材 157 の係合部 157b はトレイ 70 に設けられたカム溝 76 の案内面 76a と当接していない。バネ 154 により発生する力より、バネ 156 の力が大きいいため、ラック部材 15

7 は、開閉ベース 1 5 3 のストッパ部 1 5 5 d によって定まる位置にとどまっている。

この状態で、シャッタ駆動機構 1 5 0 は、トレイ 7 0 の挿入動作によって、ディスクカートリッジ 2 0 0 へ相対的に近づいていく。

図 4 1 に示す状態から、トレイ 7 0 が矢印 7 0 A の方向に挿入されると、図 4 2 に示すように、ラック部 1 5 3 a によって、ディスクカートリッジ 2 0 0 のロック部材 2 2 5 が押し込められる。しかし、すでに回転体 2 3 0 が矢印 2 3 0 A の方向に回転しているので、回転体 2 3 0 のロックは解除されている。このとき、第 1 の駆動レバー 1 5 1 の係合部 1 5 1 b はカム溝 7 5 の案内面 7 5 a が凹んだ部分に到達する。第 1 の駆動レバー 1 5 1 はカム溝 7 5 の案内面 7 5 a にしたがって、矢印 1 5 1 A の方向に回動し、第 1 の駆動レバー 1 5 1 の係合部 1 5 1 a が回転体 2 3 0 の側面部 2 3 1 a (またはギア部 2 3 3) に当接する。

図 4 2 に示す状態から、さらに、トレイ 7 0 を矢印 7 0 A の方向に挿入すると、第 1 の駆動レバー 1 5 1 は回転体 2 3 0 の第 1 の切り欠き部 2 3 1 とは係合で、回転体 2 3 0 の側面部 2 3 1 a (またはギア部 2 3 3) の上を滑りながら移動する。トレイ 7 0 が矢印 7 0 A の方向にさらに挿入されると、図 4 3 に示すように、ラック部 1 5 3 a が回転体 2 3 0 のギア部 2 3 3 と接触し、図 3 6 A に示す場合とは異なる位置の歯に噛み合う。これにより、回転体 2 3 0 が矢印 2 3 0 A の方向に回転し、シャッタ部 2 2 0 が不完全に閉じられた状態から開き始める。

このとき、第２の駆動レバー１５２の係合部１５２ｂはカム溝７５の案内面７５ａと当接しており、第２の駆動レバー１５２は、所定の回転角度を維持している。したがって、ディスクカートリッジ２００のロック部材２２５と第２の駆動レバー１５２とは接触しない。

図４３に示す状態から、さらにトレイ７０が矢印７０Ａの方向に挿入されると、図４４に示すように、ラック部１５３ａと回転体２３０のギア部２３３との噛み合いにより、回転体２３０は矢印２３０Ａの方向に回転を続け、シャッタ部２２０がさらに開く。このとき、第１の駆動レバー１５１はカム溝７５の案内面７５ａのプロファイルにしたがい、回転軸１５３ｂを中心に矢印１５１Ｂの方向に回動し、ディスクカートリッジ２００の側面と接触しないように駆動される。

図４４に示す状態から、さらにトレイ７０が矢印７０Ａの方向に挿入されると、第２の駆動レバー１５２の係合部１５２ｂが、案内面７５ａの凹んだ部分に達する。カム溝７５の案内面７５ａと係合部１５２ｂが当接するようにバネ１５４が第２の駆動レバー１５２を付勢するため、第２の駆動レバー１５２が矢印１５２Ａの方向に回動し、図４５に示すように、回転体２３０の側面部２３２ａに当接する。

回転体２３０はギア部２３３とラック部１５３ａとの噛み合いによって、さらに回転する。ラック部１５３ａは、ギア部２３３の途中から噛み合い始めているため、回転が進むと、ギア部２３３端部の

溝がラック部 1 5 3 a と噛み合うとき、ラック部 1 5 3 a の歯は幾つか余っている。しかし、回転体 2 3 0 の第 2 の切り欠き部 2 3 2 が設けられている側面部 2 3 2 a はギア部 2 3 3 の歯底（溝の底）の高さであるため、ラック部 1 5 3 a の余った歯は、回転体 2 3 0 と干渉することはない。

第 2 の駆動レバー 1 5 2 の係合部 1 5 2 a は、回転体 2 3 0 の側面部 2 3 2 a を滑りながら移動する。そして、第 2 の駆動レバー 1 5 2 の係合部 1 5 2 a が、第 2 の切り欠き部 2 3 2 と係合すると、前述したように、第 2 の駆動レバー 1 5 2 によって回転体 2 3 0 を回転し、シャッタ部 2 2 0 がさらに開く。図 3 9 を参照して説明したように、部品の形状ばらつきなどによる誤差を許容し、第 1 の駆動レバー 1 5 1、第 2 の駆動レバー 1 5 2 およびラック部材 1 5 7 をトレイ 7 0 のカム溝 7 5、7 6 によってディスクカートリッジ 2 0 0 から離間させる。これにより、シャッタ部 2 2 0 が完全に開放した図 4 0 の状態となり、シャッタ駆動機構 1 5 0 の開動作が完了する。

このように、シャッタ部 2 2 0 が不完全に開いた状態でディスクカートリッジ 2 0 0 がトレイ 7 0 に載置され、ディスク装置 5 0 1 内に装填されても、何ら支障を生ずることなく、シャッタ部 2 2 0 を確実に開放し、ディスクカートリッジ 2 0 0 をディスク装置 5 0 1 内に装填することができる。

次に、シャッタ部 2 2 0 が完全に開かれた状態で、ディスクカートリッジ 2 0 0 がトレイ 7 0 に載置され、ディスク装置 5 0 0 内に

装填される場合（C）におけるシャッタ駆動機構 1 5 0 の動作を説明する。

図 4 6 に示すように、シャッタ部 2 2 0 が完全に開かれた状態では、ディスクカートリッジ 2 0 0 の側面の開口から回転体 2 3 0 の第 2 の切り欠き部 2 3 2 が完全に露出されている。この状態のディスクカートリッジ 2 0 0 をトレイ 7 0 に装填し、駆動モータ 5 1 によって、トレイ 7 0 を矢印 7 0 A の方向に挿入をすると、トレイ 7 0 の挿入動作に対して、シャッタ駆動機構 1 5 0 が、ディスクカートリッジ 2 0 0 に対して近づいていく。このとき、第 1 の駆動レバー 1 5 1 の係合部 1 5 1 b および第 2 の駆動レバー 1 5 2 の係合部 1 5 2 b はカム溝 7 5 の案内面 7 5 a と当接し、第 1 の駆動レバー 1 5 1 および第 2 の駆動レバー 1 5 2 はそれぞれ矢印 1 5 1 B および 1 5 2 B の方向へ回動し、案内面 7 5 a の位置で定まる所定の回転角度を保っている。具体的には図 3 3 A および 3 3 B に示すように、ロック部材 2 2 5 と接触しないようにラック部 1 5 3 a よりも第 1 の駆動レバー 1 5 1 の係合部 1 5 1 b および第 2 の駆動レバー 1 5 2 の係合部 1 5 2 b は矢印 1 5 0 B の方向へ後退している。

一方、ラック部材 1 5 7 の係合部 1 5 7 b はカム溝 7 6 の案内面 7 6 a と当接していない。バネ 1 5 4 により発生する力より、ラック付勢バネ 1 5 6 の力が大きいため、ラック部材 1 5 7 は矢印 1 5 0 A の方向へ付勢され、ベース 1 5 3 のストッパ部 1 5 5 d によって決まる位置にとどまっている。

この状態から、シャッタ駆動機構 1 5 0 は、トレイ 7 0 の挿入動

作によって、ディスクカートリッジ 70 へ相対的に近づいていく。
図 46 の状態から、トレイ 70 が矢印 70 A の方向に挿入されると、
図 47 に示すように、ラック部 153 a によって、ディスクカート
リッジ 200 のロック部材 225 が押し込められる。回転体 230
が矢印 230 A の方向に回転しているので、回転体 230 のロック
はすでに解除されている。このとき、第 1 の駆動レバー 151 の係
合部 151 b は、カム溝 75 の凹んだ部分に達する。パネ 154 に
よって付勢されているので、係合部 151 b が凹んだ案内面 75 a
と当接するように、第 1 の駆動レバー 151 が矢印 151 A の方向
に回転する。そして、第 1 の駆動レバー 151 の係合部 151 a が
回転体 230 の側面部 231 a に当接する。第 2 の駆動レバー 15
2 はカム溝 75 の案内面 75 a により矢印 152 B の方向に回転さ
れたままである。

図 47 に示す状態から、さらに、トレイ 70 が矢印 70 A の方向
に挿入されると、第 1 の駆動レバー 151 の係合部 151 a は、露
出した第 2 の切り欠き部 232 と接近する。しかし、第 2 の切り欠
き部 232 が構成されている側面部 232 a は、ギア部 233 の歯
底（溝の底）と等しい位置にあるため、第 1 の駆動レバー 151 の
係合部 151 a は第 2 の切り欠き 232 と係合しない。このため、
回転体 230 はシャッタ駆動機構 150 に駆動されず停止したまま
であり、第 1 の駆動レバー 151 の係合部 151 a は、回転体 23
0 の側面部 232 a の上を滑りながら移動する。

なお、部品の形状ばらつきなどにより、第 1 の駆動レバー 151

の係合部 1 5 1 a が、第 2 の切り欠き部 2 3 2 に係合したとしても、回転体 2 3 0 は、下部カートリッジ本体 2 1 2 のストッパ部 2 1 2 e によって、矢印 2 3 0 A の方向に回転しないように規制される。このため、回転しない回転体 2 3 0 からの反力によって、第 1 の駆動レバー 1 5 1 の係合部 1 5 1 a が第 2 の切り欠き部 1 5 2 から離間するように、矢印 1 5 1 B の方向に回動し、すぐに係合が外れる。

トレイ 7 0 が矢印 7 0 A の方向にさらに挿入されると、図 4 8 に示すように、ラック部 1 5 3 a が回転体 2 3 0 の第 2 の切り欠き部 2 3 2 に接近する。しかし、第 2 の切り欠き部 2 3 2 が設けられた側面部 2 3 2 a はギア部 2 3 3 の歯底面と同じ高さであるため、ラック部 1 5 3 a は回転体 2 3 0 と噛み合わず、空転する。このとき、第 2 の駆動レバー 1 5 2 の係合部 1 5 2 b はカム溝 7 5 の案内面 7 5 a と当接する。このため、第 2 の駆動レバー 1 5 2 は、回転軸 1 5 3 c を中心に矢印 1 5 2 B の方向へ回動し、ディスクカートリッジ 2 0 0 のロック部材 2 2 5 と第 2 の駆動レバー 1 5 2 とは接触しない。

図 4 8 の状態から、さらに、トレイ 7 0 が矢印 7 0 A の方向に挿入されても、図 4 9 に示すように、シャッタ部 2 2 0 が完全に開いた状態では、回転体 2 3 0 のギア部 2 3 3 は、ラック部 1 5 3 a と噛み合わない位置まで回転している。このため、ラック部 1 5 3 a は回転体 2 3 0 の側面部 2 3 2 a において空転し、回転体 2 3 0 は回転しない。このとき、第 1 の駆動レバー 1 5 1 はカム溝 7 5 の案内面 7 5 a によって、回転軸 1 5 3 b を中心に矢印 1 5 1 B の方向

に回動し、係合部 1 5 1 a がディスクカートリッジ 2 0 0 から遠ざかる。

図 4 9 の状態から、さらに、トレイ 7 0 が矢印 7 0 A の方向に挿入されると、第 2 の駆動レバー 1 5 2 の係合部 1 5 2 b が、バネ 1 5 4 の付勢力によって、カム溝 7 5 の案内面 7 5 a の凹んだ部分に沿うように当接する。これにより、第 2 の駆動レバー 1 5 2 が矢印 1 5 2 A の方向に回動し、図 5 0 に示すように、回転体 2 3 0 の側面部 2 3 2 a に当接する。さらに、トレイ 7 0 が矢印 7 0 A の方向に挿入されることにより、第 2 の駆動レバー 1 5 2 の係合部 1 5 2 a は、回転体 2 3 0 の側面部 2 3 2 a を滑りながら移動し、図 3 9 を参照して説明したように、第 2 の駆動レバー 1 5 2 の係合部 1 5 2 a が第 2 の切り欠き部 2 3 2 と係合しする。そして、部品の形状ばらつきなどを許容し、図 4 0 に示すようにシャッタ部 2 2 0 が完全に開いた状態となる。これにより、シャッタ駆動機構 1 5 0 の開動作が完了する。

このように、シャッタ部 2 2 0 が完全に開いた状態でディスクカートリッジ 2 0 0 がトレイ 7 0 に載置され、ディスク装置 5 0 1 内に装填されても、何ら支障を生ずることなく、シャッタ部 2 2 0 の開放状態を維持したまま、ディスクカートリッジ 2 0 0 をディスク装置 5 0 1 内に装填することができる。

最後に、シャッタ部 2 2 0 を閉じる場合 (D) のシャッタ駆動機構 1 5 0 の動作を説明する。シャッタ駆動機構 1 5 0 の閉動作は、トレイ 7 0 をディスク装置 5 0 0 から排出するときに行われる。本

実施形態における閉動作は、前述したシャッタ部 220 が完全に閉じた場合 (A) から行われるシャッタの開動作の逆手順とは少し異なる手順で行われる。

図 40A および 40B は、ディスク装置 501 において、ディスクカートリッジのシャッタ部 220 が完全に開放され、ディスク装置 501 からトレイ 70 が排出される直前の状態を示している。図 40A に示す状態から、駆動モータ 51 によって、トレイ 70 を矢印 70B の方向に排出すると、第 2 の駆動レバー 152 は、バネ 154 の付勢力およびトレイ 70 に設けられたカム溝 75 の案内面 75a にしたがって、矢印 152A の方向に回動し、第 2 の駆動レバー 152 の係合部 152a が、回転体 230 の側面部 232a に当接する。そして、さらに、トレイ 70 が矢印 70B の方向に排出されると、図 51 に示すように、第 2 の駆動レバー 152 の係合部 152a は、回転体 230 の側面部 232a を滑りながら移動した後、回転体 230 の第 2 の切り欠き部 232 と係合する。

図 51 の状態から、トレイ 70 が矢印 70B の方向へさらに排出されると、回転体 230 は、第 2 の駆動レバー 152 の係合部 152a と第 2 の切り欠き部 232 との係合によって、矢印 230B の方向に回転され、シャッタ部 220 の閉動作が開始される。

その結果、図 52 に示すように、シャッタ駆動機構 150 とトレイ 70 との相対的な移動量によって定まる回転角度で回転体 230 が回転し、第 2 の駆動レバー 152 の係合部 152a が第 2 の切り欠き部 232 から離れる前にラック部 153a が回転体 230 のギ

ア部 2 3 3 に噛み合いを開始し、シャッタ部 2 2 0 はさらに閉じ続ける。

このとき、ラック部 1 5 3 a と回転体 2 3 0 のギア部 2 3 3 との噛み合いは、シャッタ部 2 2 を開放する場合（図 3 8）とは異なり、ギア部 2 3 2 の最も端に位置する溝（黒い三角で示す溝）にラック部 1 5 3 a の最も端に位置する歯（黒く塗りつぶした歯）が噛み合う。つまり、シャッタ部 2 2 を開放する場合に比べて、歯の位置が 1 つ分ずれている。

図 5 2 の状態から、さらにトレイ 7 0 が矢印 7 0 B の方向に排出されると、図 5 3 に示すように、ラック部 1 5 3 a と回転体 2 3 0 のギア部 2 3 3 との噛み合いにより、回転体 2 3 0 は矢印 2 3 0 B の方向に回転を続け、シャッタ部 2 2 0 がさらに閉じる。このとき、第 2 の駆動レバー 1 5 2 はカム溝 7 5 の案内面 7 5 a によって、回転軸 1 5 3 c を中心に矢印 1 5 2 B の方向に回転し、ロック部 2 2 5 と接触しないよう、係合部 1 5 2 a がディスクカートリッジから離れる。

図 5 3 の状態から、さらにトレイ 7 0 が矢印 7 0 B の方向に排出されると、第 1 の駆動レバー 1 5 1 が、バネ 1 5 4 の付勢力およびカム溝 7 5 の案内面 7 5 a にしたがって、矢印 1 5 1 A の方向に回転し、図 5 4 に示すように、回転体 2 3 0 の側面部 2 3 1 b（第 1 の切り欠き部 2 3 1 とストッパ部 2 3 0 a' の間の側面部）に当接する。このとき、図 5 3 に示すように、ギア部 2 3 2 の他の端に位置する溝（黒い三角で示す溝）はラック部 1 5 3 a の他の端に位置

する歯（黒く塗りつぶした歯）に噛み合っている。

トレイ 70 がさらに矢印 70 B の方向に排出されると、図 55 に示すように、ギア部 233 とラック部 153 a の噛み合いが外れた後に、第 1 の駆動レバー 151 の係合部 151 a が遅れて回転体 230 の第 1 の切り欠き部に係合する。これにより、第 1 の切り欠き部 231 と第 1 の駆動レバー 151 の係合部 151 a との係合を確実に行なわせ、閉動作の安定化を図ることができる。このとき、ロック部材 225 は、ラック部 153 a によって押し込められ、回転体 230 のロックを解除した状態となっている。

図 55 の状態から、さらにトレイ 70 が矢印 70 B の方向に排出されると、図 35 A および 35 B に示すように、第 1 の駆動レバー 151 の係合部 151 a と回転体 230 の第 1 の切り欠き部 231 の係合によって、シャッタ部 200 を閉じながら、回転体 230 が回転する。シャッタ部 220 が完全に閉じると、回転体 230 の回転は止まる。また、ロック部材 225 の一端が第 2 の切り欠き部 232 と係合し、いずれの方向にも回転しないように回転体 230 をロックする。

しかし、部品の加工精度による形状のばらつき（例えば、第 1 の駆動レバー 151 の係合部 151 a と回転体 230 の第 1 の切り欠き部 231 との勘合ガタ）や、ディスクカートリッジ 200 の矢印 70 A または 70 B の方向での位置ずれなどを考慮すると、このとき、完全にシャッタが閉じられていない可能性がある。

このため、図 55 に示す状態から、さらにトレイ 70 を矢印 70

Bの方向に排出させ、確実に第1のシャッタ212および第2のシャッタ212が互いに当接するまで、回転体230を回転させる。当接後は、第1の駆動レバー151の係合部151aが第1の切り欠き部231からはずれ、バネ154の付勢力に抗して、第1の駆動レバー151が矢印151Bの方向に回転することにより、部品の形状ばらつきを許容している。

さらにトレイ70を矢印70Bの方向に排出させると、図34に示すように、第1の駆動レバー151の係合部151bがトレイ70に設けられたカム溝75の案内面75aと当接し、第1の駆動レバー151が、回転軸153bを中心に矢印151Bの方向へ回転する。これにより、ロック部材252と当接しないよう、係合部151aがディスクカートリッジ200から離間する。

図34に示す状態から、さらに、トレイ70が矢印70Bの方向に排出されると、図33に示すように、第1の駆動レバー151の係合部151bおよび第2の駆動レバー152の係合部152bは、カム溝75の案内面75aと当接する。そして、ロック部材225と接触しないように、第1の駆動レバー151および第2の駆動レバー152が矢印151Bおよび矢印152Bの方向にそれぞれ回転する。第1の駆動レバー151および第2の駆動レバー152はこの回転角度を保ったまま、トレイ70の排出動作が完了し、シャッタ駆動機構150の閉動作が終了する。

しかし、上述の閉動作を行う際、ディスクカートリッジ200の回転体230の加工精度およびシャッタ駆動機構150の各部の加

工精度に由来する形状誤差によっては、回転体 2 3 0 との係合が第 2 の駆動レバー 1 5 2 からラック部 1 5 3 a へ切り替わる際、前述したとおりにラック部 1 5 3 a の歯が噛み合わない場合が考えられる。そこで、以下において回転体 2 3 0 のギア部 2 3 3 と最初に噛み合うラック部 1 5 3 a の歯が設計の仕様の歯から前後に 1 歯ずれた場合を説明する。

図 5 6 に示すように、シャッタ駆動機構 1 5 0 のラック部 1 5 3 a の最端部の歯がディスクカートリッジ 2 0 0 の回転体 2 3 0 のギア部 2 3 3 の一番端の溝と噛み合わず、ラック部 1 5 3 a の端から 2 番目の歯がギア部 2 3 3 の一番端の溝と噛み合う場合、ギア部 2 3 3 とラック部 1 5 3 a との噛み合いは前述した正規の噛み合いの場合に比べて 1 歯分遅れる。このため、図 5 7 に示すように、ギア部 2 3 3 とラック部 1 5 3 a との噛み合いが進むと、ギア部 2 3 3 の最後の溝に対応すべきラック部 1 5 3 a の歯はなくなってしまう。

しかし、図 3 2 に示すように、回転体 2 3 0 のギア部 2 3 3 の端と第 1 の切り欠き部 2 3 1 とのピッチ L_3 は、第 1 の駆動レバー 1 5 1 の係合部 1 5 1 a とラック部 1 5 3 a の一番端の歯とのピッチ L_2 よりも 1 歯分短くなっている。このため、第 1 の実施形態の場合と同様、図 5 8 に示すようにラック部 1 5 3 a とギア部 2 3 3 との噛み合いが外れる前に、第 1 の駆動レバー 1 5 1 の係合部 1 5 1 a が第 1 の切り欠き部 2 3 1 と係合することができる。このため、正しく閉動作を完了させることができる。なお、シャッタ部 2 2 0 の負荷が大きい場合や、部品誤差が大きい場合、第 1 の駆動レバー

1 5 1 の係合部 1 5 1 a が第 1 の切り欠き分 2 3 1 から外れてしまい閉動作が完全に完了しない可能性があるが、トレイの搬送動作が途中で止まってしまうことはない。

また、図 5 9 に示すように、シャッタ駆動機構 1 5 0 のラック部 1 5 3 a の最端部がディスクカートリッジ 2 0 0 の回転体 2 3 0 のギア部 2 3 3 と 1 歯分手前で噛み合う場合、ギア部 2 3 3 とラック部 1 5 3 a との噛み合いは正規の噛み合いよりも 1 歯分進む。このため、図 6 0 に示すように、ラック部 1 5 3 a の最後の歯に対応する溝が回転体 2 3 0 には存在せず、回転体 2 3 0 に歯が乗り上げてしまう。しかし、ラック部 1 5 3 a が開閉ベース 1 5 3 に対して矢印 1 5 0 B の方向に移動可能であるため、回転体 2 3 0 のギア部 2 3 3 に乗り上げ、噛み合いが外れた後、シャッタ駆動機構 1 5 0 のみが 1 歯分進むことにより、正規の歯のかみ合い位置にラックの噛み合いがずれて、通常の閉動作を行うことができる。

このように本実施形態によれば、シャッタ駆動機構のラック部 1 5 3 a とカートリッジの回転体 2 3 0 に設けられたギア部 2 3 3 とが正規の位置である第 1 の位置に対して 1 歯分進んだ第 2 の位置あるいは 1 歯分遅れた第 3 の位置において噛み合う場合でも確実にシャッタを閉じることができる。しかし、一般にこのような設計外の動作が行われると、シャッタ駆動機構やカートリッジに負荷がかかるため好ましくない。このため、図 6 2 A に示すように、ラック部 1 5 3 a の第 2 の駆動レバー 1 5 2 に最も近接した歯 1 5 8 が回転体 2 3 0 のギア部 2 3 3 の所定の位置と確実に噛み合うことが可能

となるよう、歯 1 5 8 に面取り 1 5 8 を施すことが好ましい。また、ディスクカートリッジ 2 0 0 の回転体 2 3 0 の加工精度やシャッタ駆動機構 1 5 0 の部品の加工精度に由来する形状の誤差によって、回転体のギア部 2 3 3 がラック部 1 5 3 a に対して、2 3 3' で示すように位置する場合であっても、ラック部 1 5 3 a の歯に面取りを設けることにより、確実に噛み合いずれを防止することができる。これにより、特に、ギア部 2 3 3 とラック部 1 5 3 a との噛み合いが正規の噛み合いよりも 1 歯分遅れることを防ぐことができる。

これに対して、図 6 2 B に示すように、ラック部 1 5 3 a の端部が面取りの施されていない歯 1 5 8' で構成され、ギア部 2 3 3 の位置が 2 3 3' で示される位置にずれた場合、ギア部 2 3 3 の歯とラック部 1 5 3 a の歯とが接触し、うまく正規の位置で噛み合うことができない。このため、噛み合いずれが生じやすくなる。

以上の説明から明らかなように、本実施形態によれば、第 1 および第 2 の駆動レバーを支持するラック部材をベースに対して移動可能なように構成し、カートリッジ搬送部材であるトレイに設けたカム溝によってラック部を駆動する。このため、カートリッジのシャッタを開放後、トレイに設けたカム溝によってラック部をカートリッジの側面から遠ざかる方向に移動させ、シャッタ開駆動機構のラック部ならびに第 1 および第 2 の駆動レバーをカートリッジの回転体から離間させることができる。これにより、シャッタを開放した後、トラバーススペースに設けた位置決めピンによってカートリッジの位置決めを行う際、シャッタ駆動機構が干渉するのを防止するこ

とができる。

また、第 1 の駆動レバーの係合部とラック部とのピッチを、第 1 の切り欠きとギア部とのピッチよりも 1 歯分長くすることによって、トレイの動作やシャッタの外形などの誤差を吸収し、シャッタの開閉を確実に行わせることが可能となる。

なお、上記第 1 および第 2 の実施形態において、ディスク装置は回転体 230 をし、回転体を回転させることにより、シャッタを開閉するディスクカートリッジに対応していた。このようなディスクカートリッジに加えて、ディスク装置は他の形態のディスクカートリッジにも適合していてもよい。

また、上記第 1 および第 2 の実施形態においてディスクカートリッジのシャッタ部が不完全に開放している状態は一例に過ぎない。本発明のディスク装置は、シャッタが図示しない他の状態にあるディスクカートリッジ、たとえばシャッタ部がわずかに開放している状態やシャッタ部がほとんど開放している状態にあるディスクカートリッジを用いても上記各実施形態で説明したように確実にシャッタ部を開放させ、ディスクカートリッジをディスク装置内に装填することが可能である。

産業上の利用可能性

本発明のディスク装置によれば、回転体を回動させることによりシャッタを開閉させるディスクカートリッジにおいて、回転体の第 1 の切り欠き部、第 2 の切り欠き部に係合する第 1 および第 2 の駆

動レバーをそれぞれ駆動することにより、カートリッジ側方における引っかかりや繰り返し動作によるレバー部またはディスクカートリッジ部の損傷をなくし、駆動機構の信頼性を向上することができる。

また、第1および第2の駆動レバー部をそれぞれ駆動することにより、ディスクカートリッジをディスクカートリッジ搬送部材に保持または載置する際に、ディスクカートリッジに対して位置を規制するガイド壁を構成することが可能で、カートリッジ搬送部材内でのカートリッジ位置精度を向上することが可能となり、シャッタ開閉動作を安定して行うことができる。

また、第1および第2の駆動レバー部をそれぞれ駆動することにより、ディスクカートリッジの位置決めを行う際に、ディスクカートリッジへの付勢力を除去できるため、カートリッジの位置決めを安定して行うことができる。

本発明のディスク装置によれば、回転体を回動させることによりシャッタを開閉させるディスクカートリッジに適合し、簡便な構成で、安定、確実にディスクカートリッジのシャッタを開閉することができる。ディスクの記録方式には依存しないため、光ディスクのみならず、磁気や光磁気など他の記録方式のディスクを収納し、上記構造を備えたカートリッジに適合するディスク装置にも本発明を好適に採用することができる。

請 求 の 範 囲

1. ディスクと、前記ディスクを収納する本体と、前記本体に設けられており、データの記録および／または再生を行うヘッドが前記ディスクへアクセスするための開口と、前記開口を開閉するシャッタと、一部にギア部と前記ギア部を挟むように第1および第2の切り欠き部とが設けられ、前記シャッタと係合している回転体とを備えたディスクカートリッジに適合したディスク装置であって、

前記ディスクを回転させるためのモータ、

前記モータが前記ディスクを回転させることができる位置と前記ディスクカートリッジを前記ディスク装置に対して装填または取り出しを行う位置との間で前記ディスクカートリッジを保持し、搬送する搬送部、

前記データの記録および／または再生を行うヘッド、および

前記ギア部と係合するラック部と、前記第1および第2の切り欠き部とそれぞれ係合し、回転可能なように支持される第1および第2の駆動レバーとを含むシャッタ駆動機構、

を備え、

前記搬送部は、前記搬送部が移動するのにしたがって、揺動するように前記シャッタ駆動機構の第1および第2の駆動レバーを駆動する第1のカム構造を有し、前記搬送部が移動することにより、前記搬送部に保持されたディスクカートリッジの第1の切り欠き部、第2の切り欠き部およびギア部と前記シャッタ駆動機構とが係合し、前記シャッタを開閉するように前記シャッタ駆動機構が前記回転体

を回転させる、ディスク装置。

2. 前記第1および第2の駆動レバーは、前記ラック部に回転可能なように支持されている請求項1に記載のディスク装置。

3. 前記第1および第2の駆動レバーは、前記第1および第2の切り欠き部と係合する係合部をそれぞれ有し、前記シャッタ駆動機構は、前記第1および第2の駆動レバーの係合部が前記搬送部側へ付勢されるように前記第1および第2の駆動レバーを付勢する第1の付勢構造を含む請求項1に記載のディスク装置。

4. 前記シャッタ駆動機構は、前記ラック部を前記搬送部の搬送方向に対して直交する方向において移動可能なように支持するベース部と、前記ラック部材を前記搬送部側へ付勢する第2の付勢構造とをさらに含む請求項1から3のいずれかに記載のディスク装置。

5. 前記搬送部は、前記ラック部を前記搬送方向に対して直交する方向へ駆動する第2のカム構造を有する請求項4に記載のディスク装置。

6. 前記搬送部は、前記シャッタ駆動機構と面する側面を有し、前記第1のカム構造および前記第2のカム構造は前記側面に設けられている請求項5に記載のディスク装置。

7. 前記搬送部は、前記ディスクカートリッジを所定の位置に保持するガイド壁を有している請求項 1 に記載のディスク装置。
8. 前記第 1 のカム構造は前記 1 の駆動レバーおよび前記第 2 の駆動レバーと当接する第 1 の案内面を有する請求項 1 に記載のディスク装置。
9. 前記第 2 のカム構造は前記ラック部と当接する第 2 の案内面を有する請求項 8 に記載のディスク装置。
10. 前記搬送部は、前記シャッタ駆動機構と面する側面を有し、前記第 1 の案内面および前記第 2 の案内面は、前記搬送部の側面に互いに平行に配置されている請求項 9 に記載のディスク装置。
11. 前記第 1 および第 2 の駆動レバーの係合部が前記第 1 の切り欠き部および第 2 の切り欠き部とのみ係合し、前記ディスクカートリッジの側面の他の部分とは接触しないよう前記第 1 のカム構造が前記第 1 および第 2 の駆動レバーを駆動する請求項 3 に記載のディスク装置。
12. シャッタ駆動機構は前記搬送部をガイドするガイドリブを有する請求項 1 に記載のディスク装置。

13. 前記ガイドリブは前記ラック部に設けられている請求項12に記載のディスク装置。

14. 前記ガイドリブは前記ベース部に設けられている請求項12に記載のディスク装置。

15. 前記回転体に設けられた前記第1の切り欠き部とギア部の前記第1の切り欠き部に近接した一端に位置する歯または溝とのピッチは、前記第1の駆動レバーの係合部と前記ラック部の前記第1の駆動レバーに近接した一端に位置する溝または歯とのピッチと等しい請求項1に記載のディスク装置。

16. 前記回転体に設けられた前記第2の切り欠き部とギア部の前記第2の切り欠き部に近接した一端に位置する歯または溝とのピッチは、前記第2の駆動レバーの係合部と前記ラック部の前記第2の駆動レバーに近接した一端に位置する溝または歯とのピッチと等しい請求項1に記載のディスク装置。

17. 前記回転体に設けられた前記第2の切り欠き部とギア部の前記第2の切り欠き部に近接した一端に位置する歯または溝とのピッチは、前記第2の駆動レバーの係合部と前記ラック部の前記第2の駆動レバーに近接した一端に位置する溝または歯とのピッチに対

して1歯分長くなっている請求項1に記載のディスク装置。

18. 前記ディスクカートリッジのシャッタが閉塞動作を行う場合、前記第2の駆動レバーが前記第1の駆動レバーより先に前記ディスクカートリッジの回転体と係合するよう、第1のレバーおよび第2のレバーは前記シャッタ駆動機構に配置されており、前記ラック部の前記第2のレバーに最も近接した歯は面取りが施されている請求項1から13のいずれかに記載のディスク装置。

19. 前記第2の付勢構造の付勢力は、前記第1の付勢構造よりも大きい請求項1に記載のディスク装置。

20. 前記搬送部が前記ディスクカートリッジを前記ディスク装置に対して装填を行う際、前記第1の駆動レバー、前記ラック部および前記第2の駆動レバーが順に前記ディスクカートリッジの回転体と接触するように前記第1のカム構造は前記第1の駆動レバーおよび前記第2の駆動レバーを駆動する請求項1に記載のディスク装置。

21. 前記搬送部が前記ディスクカートリッジを前記ディスク装置に対して装填を行う際、前記第1の駆動レバー、前記ラック部および前記第2の駆動レバーが順に前記ディスクカートリッジの回転体と接触するように前記第1のカム構造は前記第1の駆動レバーお

よび前記第 2 の駆動レバーを駆動し、前記第 2 のカム構造が前記ラック部を駆動する請求項 5 に記載のディスク装置。

22. 前記搬送部が前記ディスクカートリッジを前記ディスク装置から排出する際、前記ラック部は前記ギア部と少なくとも第 1 の位置および第 2 の位置において噛み合うことが可能であり、第 1 の位置および第 2 の位置のいずれにおいて前記ラック部が前記ギア部と噛み合った場合でも、前記シャッタを閉塞することが可能である請求項 21 に記載のディスク装置。

23. 前記ディスクカートリッジのシャッタが開放した後、前記第 1 の駆動レバーおよび前記第 2 の駆動レバーは前記ディスクカートリッジと接触しないように駆動される請求項 1 または 5 に記載のディスク装置。

24. 前記ディスクカートリッジのシャッタが開放した後、前記ラック部は前記ディスクカートリッジと接触しないように駆動される請求項 23 に記載のディスク装置。

25. 前記搬送部は、前記ディスクカートリッジのシャッタが開放または閉塞した後、所定の距離を移動する請求項 1 に記載のディスク装置。

26. 前記搬送部は、前記ディスクカートリッジと異なる外形を有する他のディスクカートリッジを載置することが可能な凹部を有する請求項1に記載のディスク装置。

27. 前記ディスクカートリッジは前記回転体の回転を防止するためのロック部材を有し、前記第1の駆動レバーおよび前記第2の駆動レバーが前記ロック部材と接触しないように前記第1のカム構造が前記第1の駆動レバーおよび前記第2の駆動レバーを駆動する請求項1に記載のディスク装置。

図2

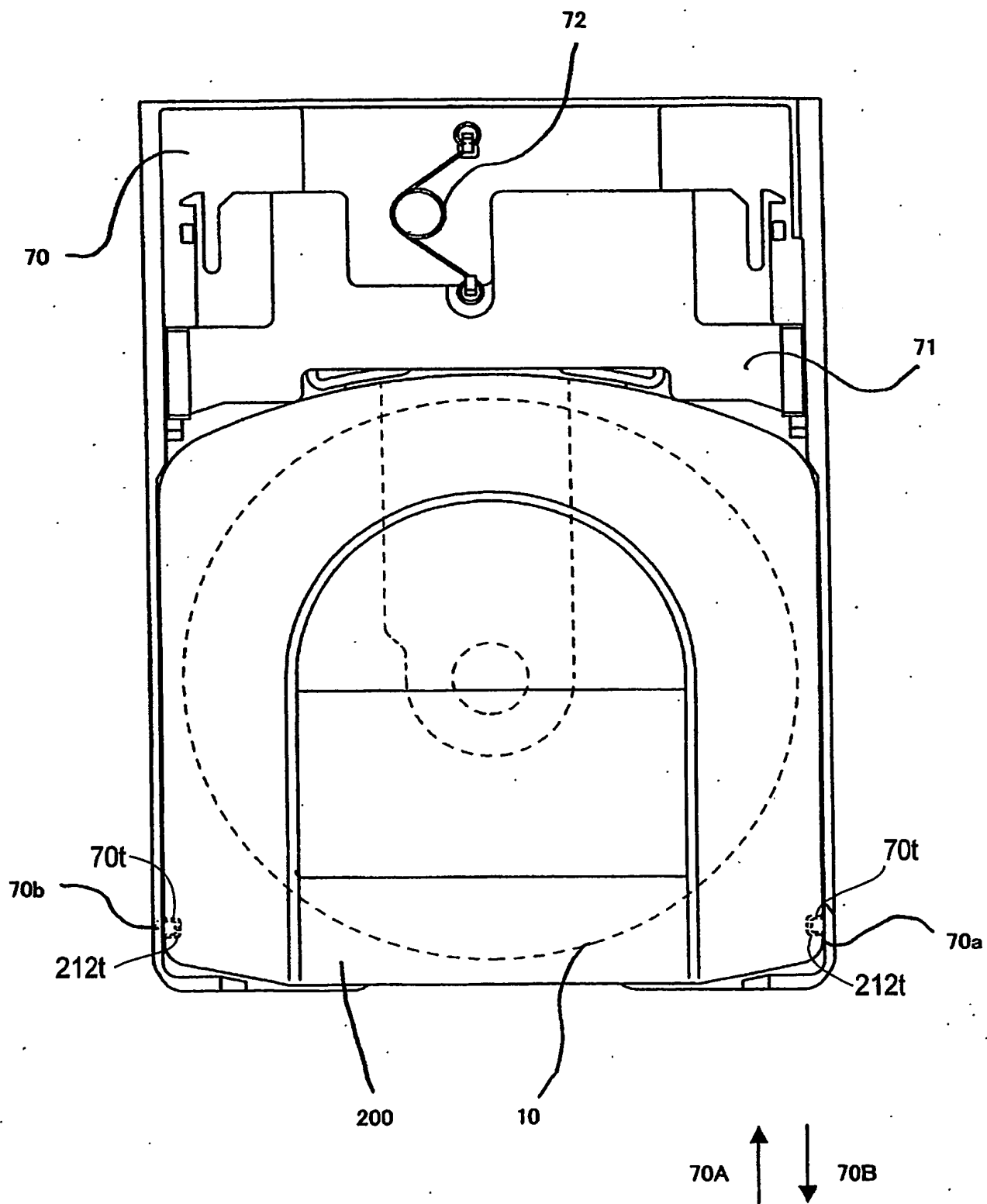


図3

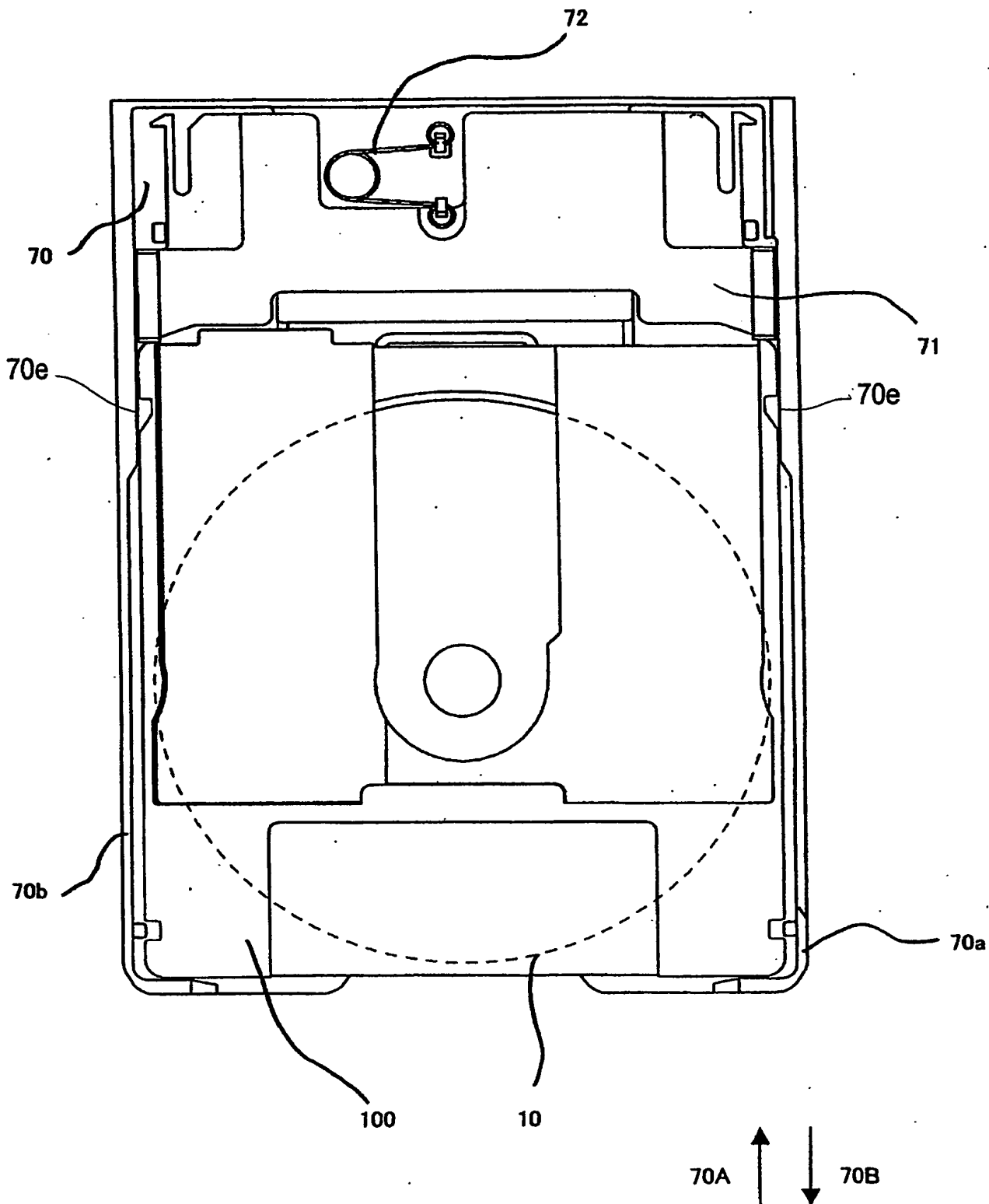


図4

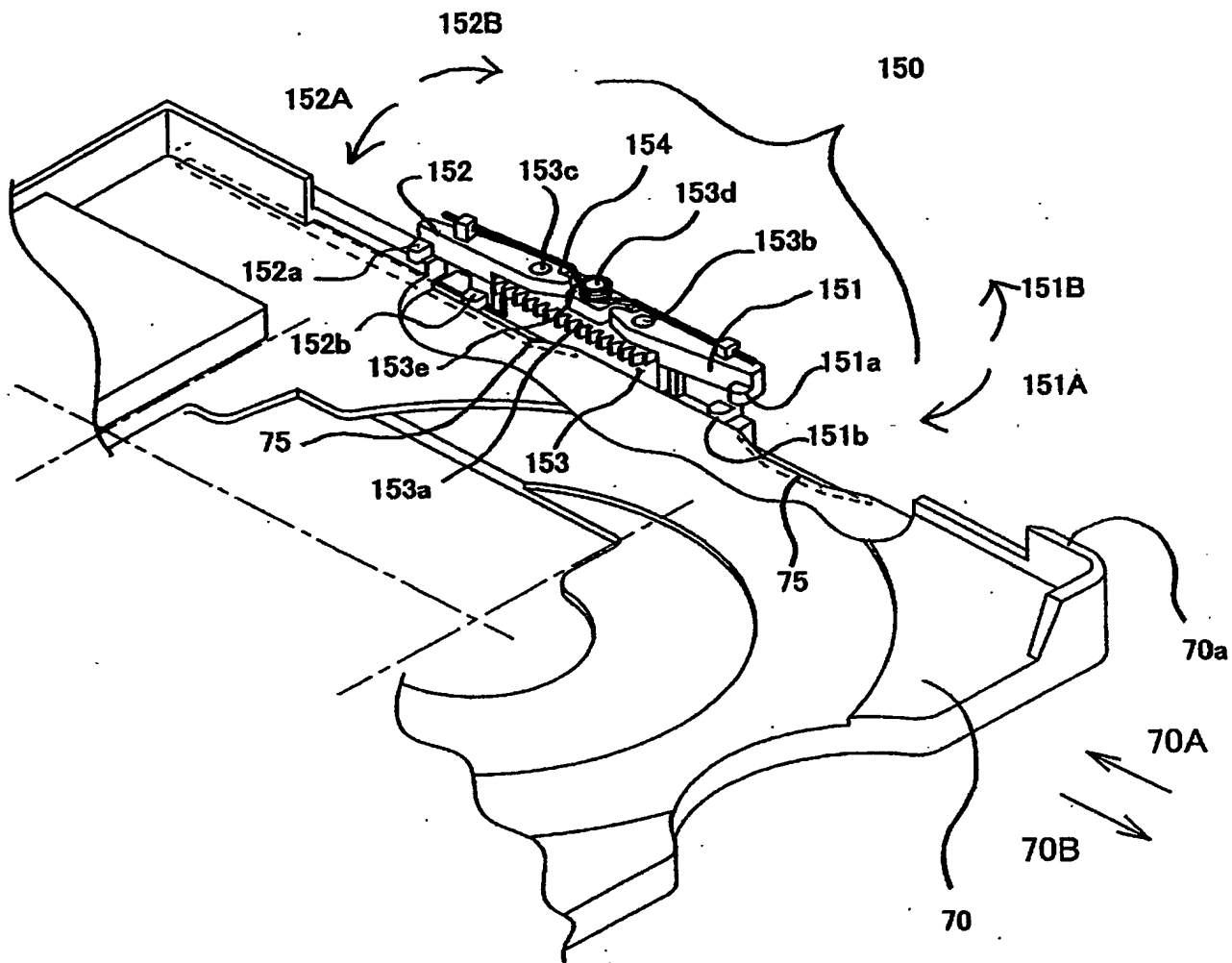


図5

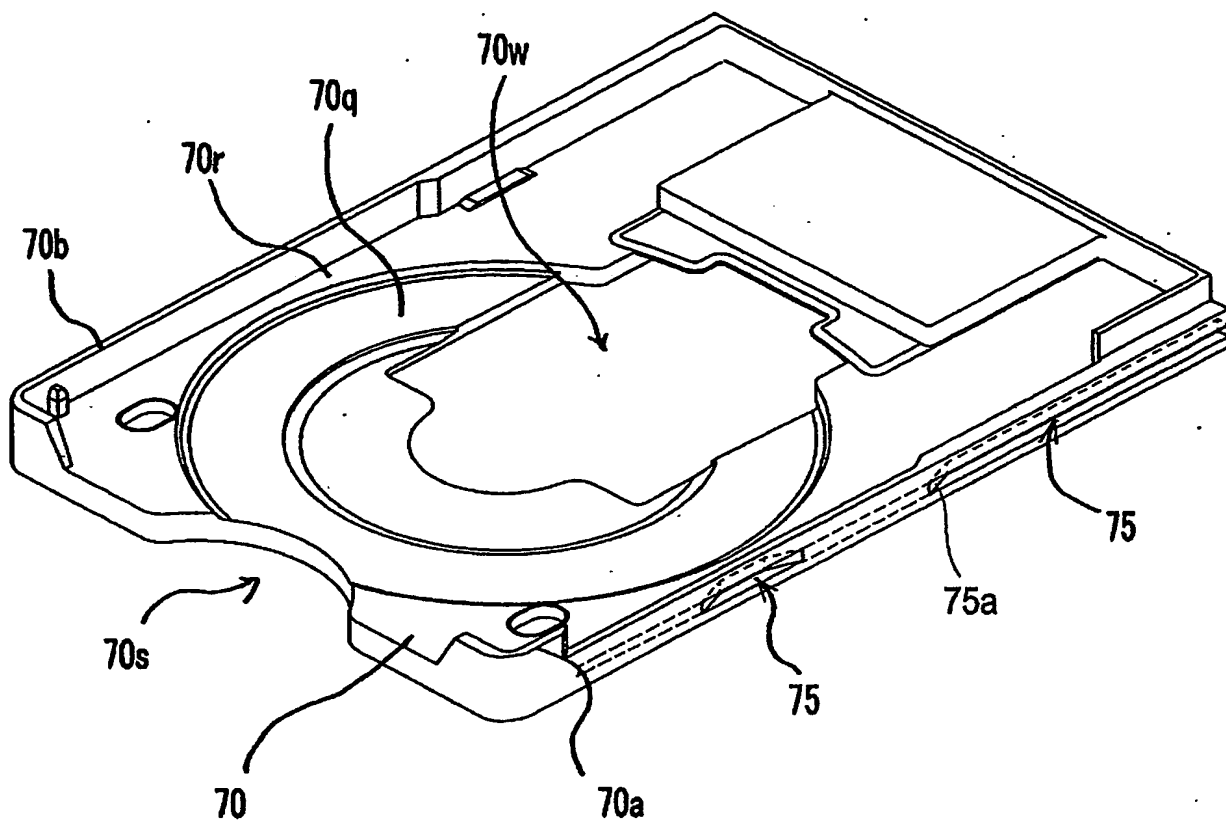


図6A

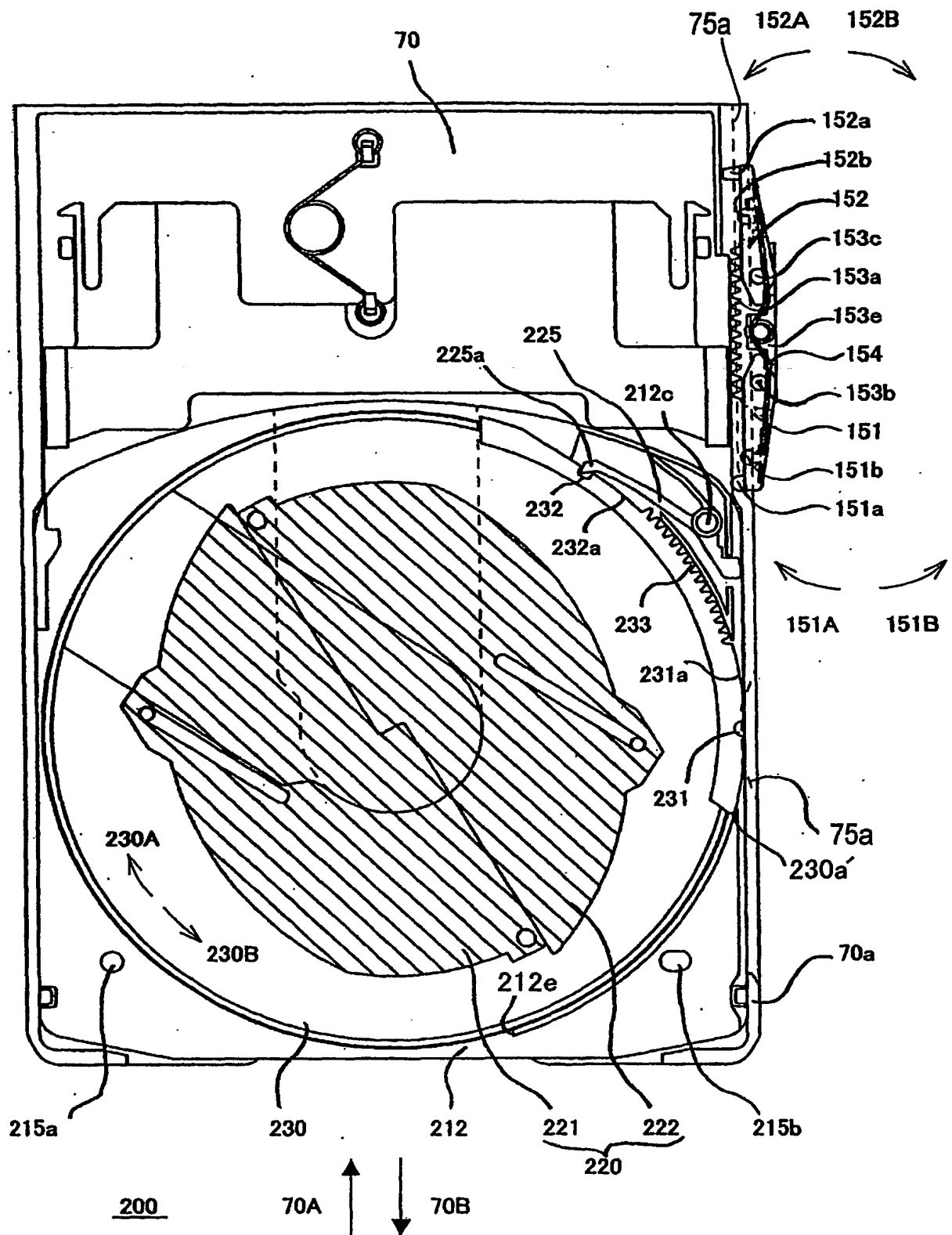


図6B

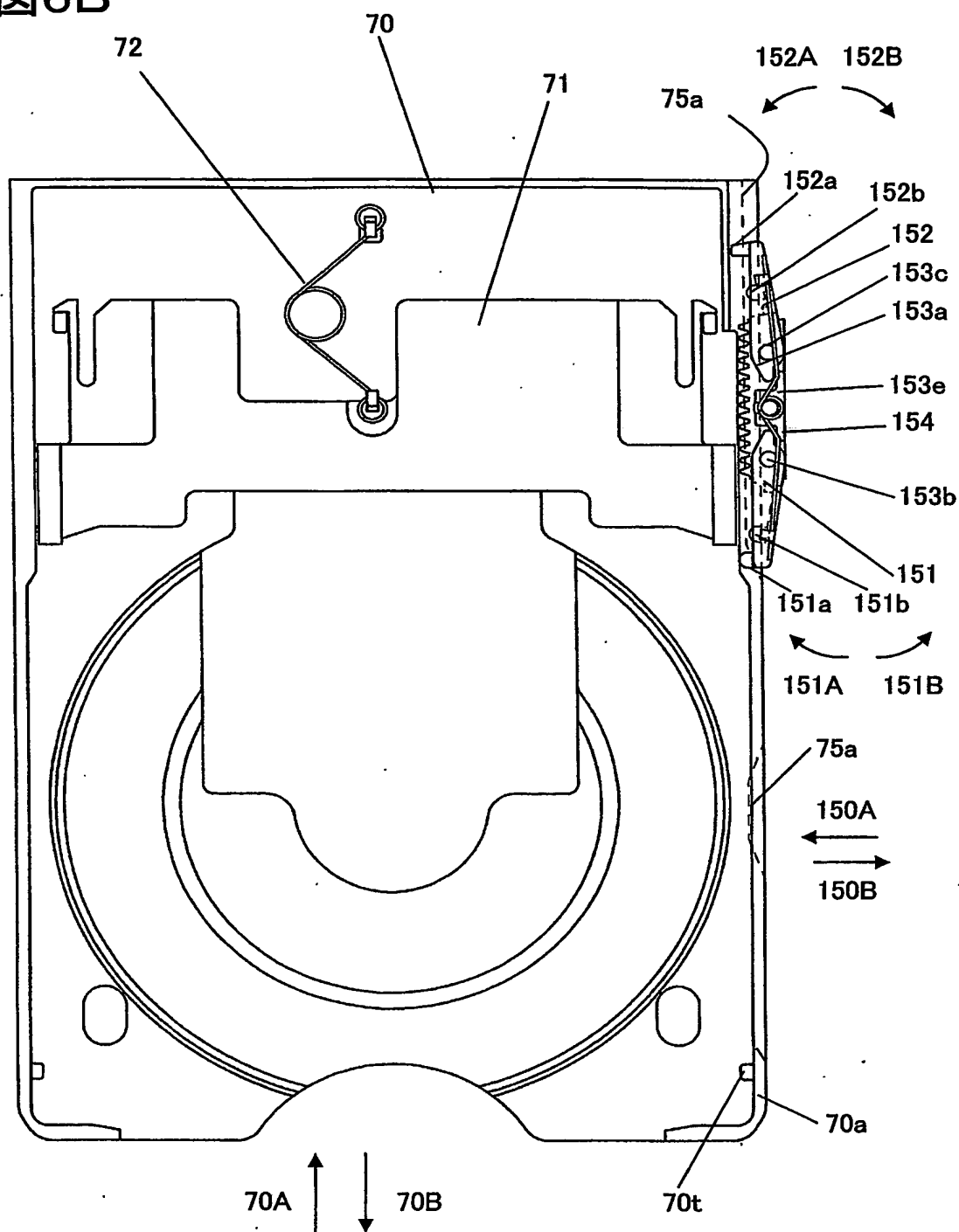


図8A

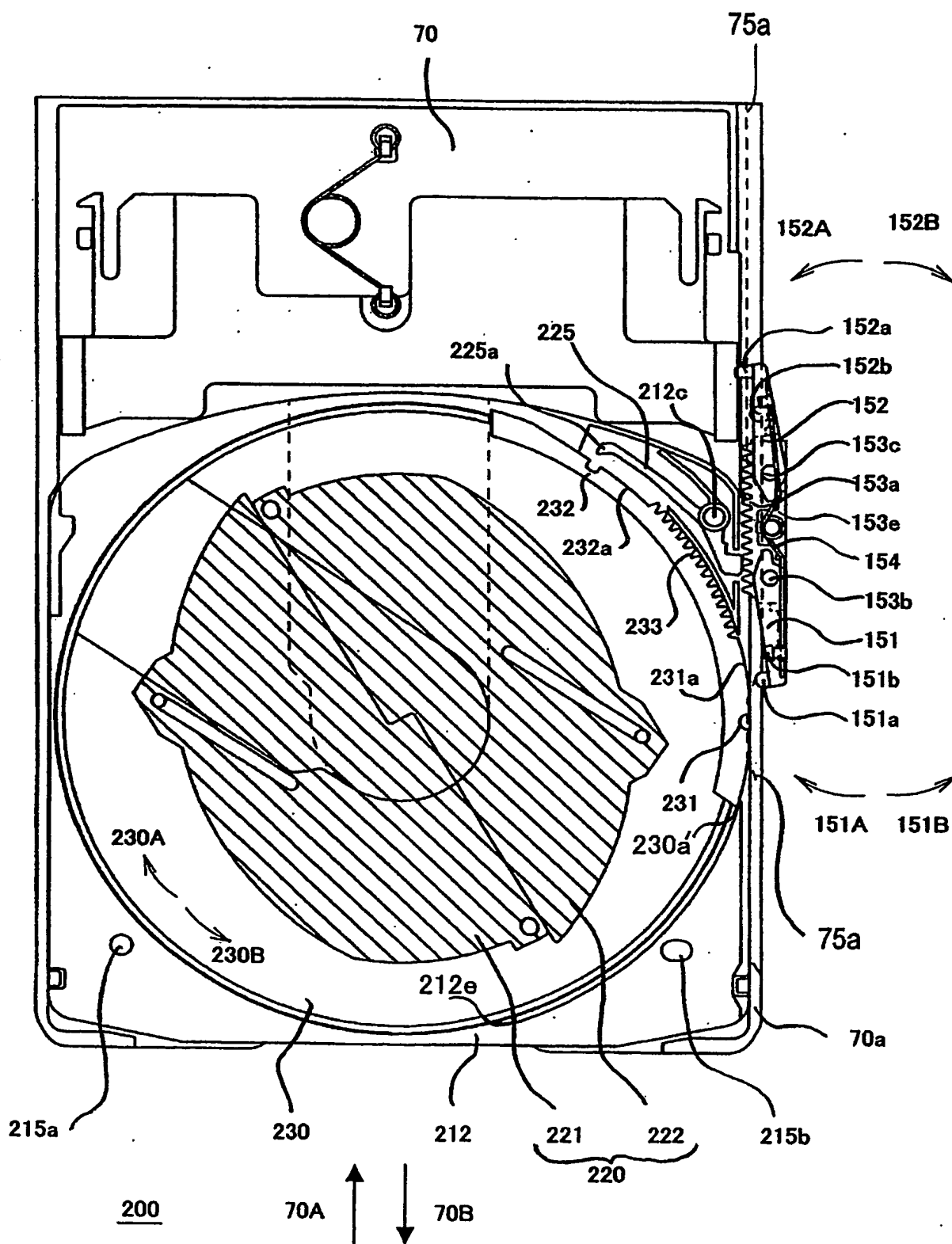


図8B

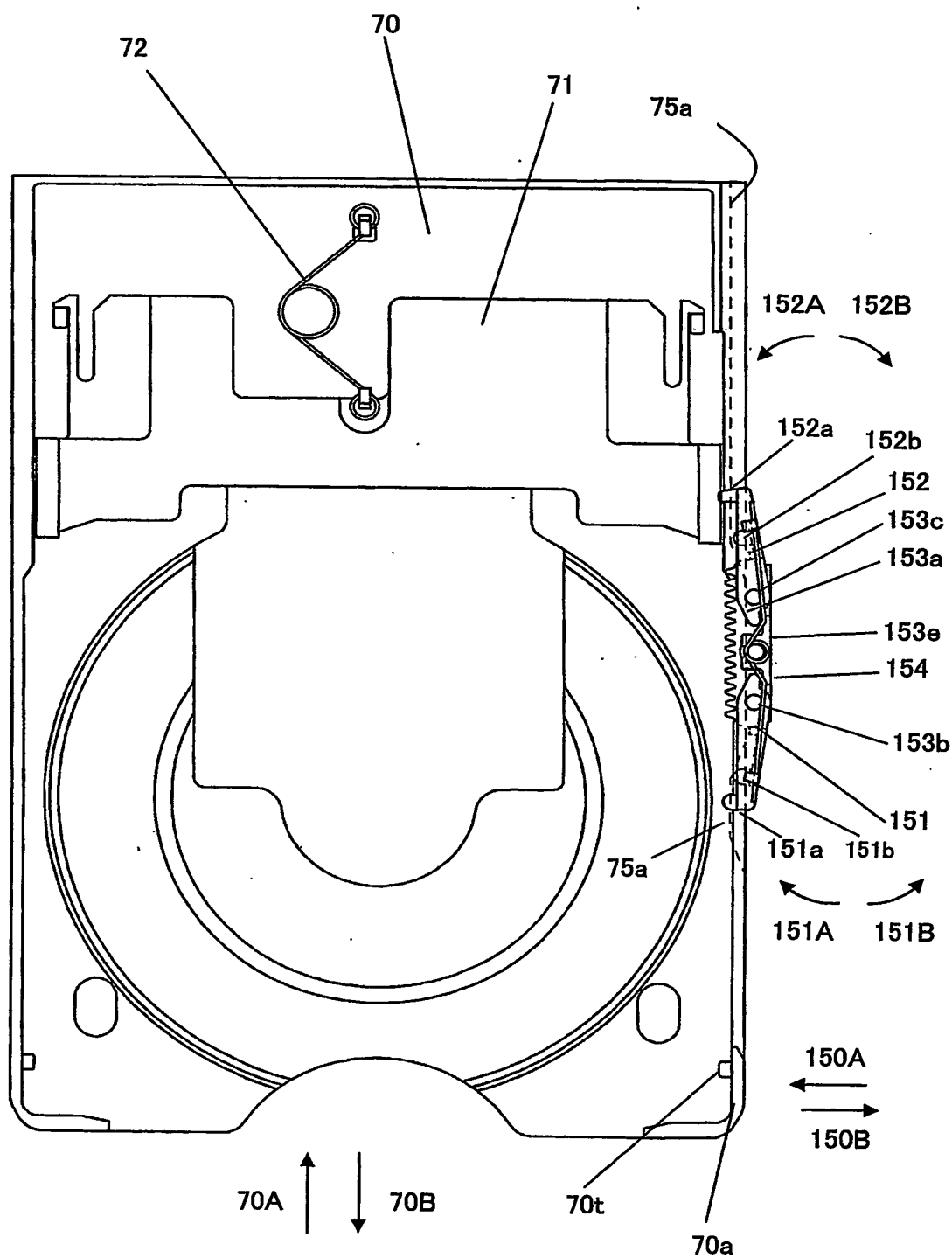


図9A

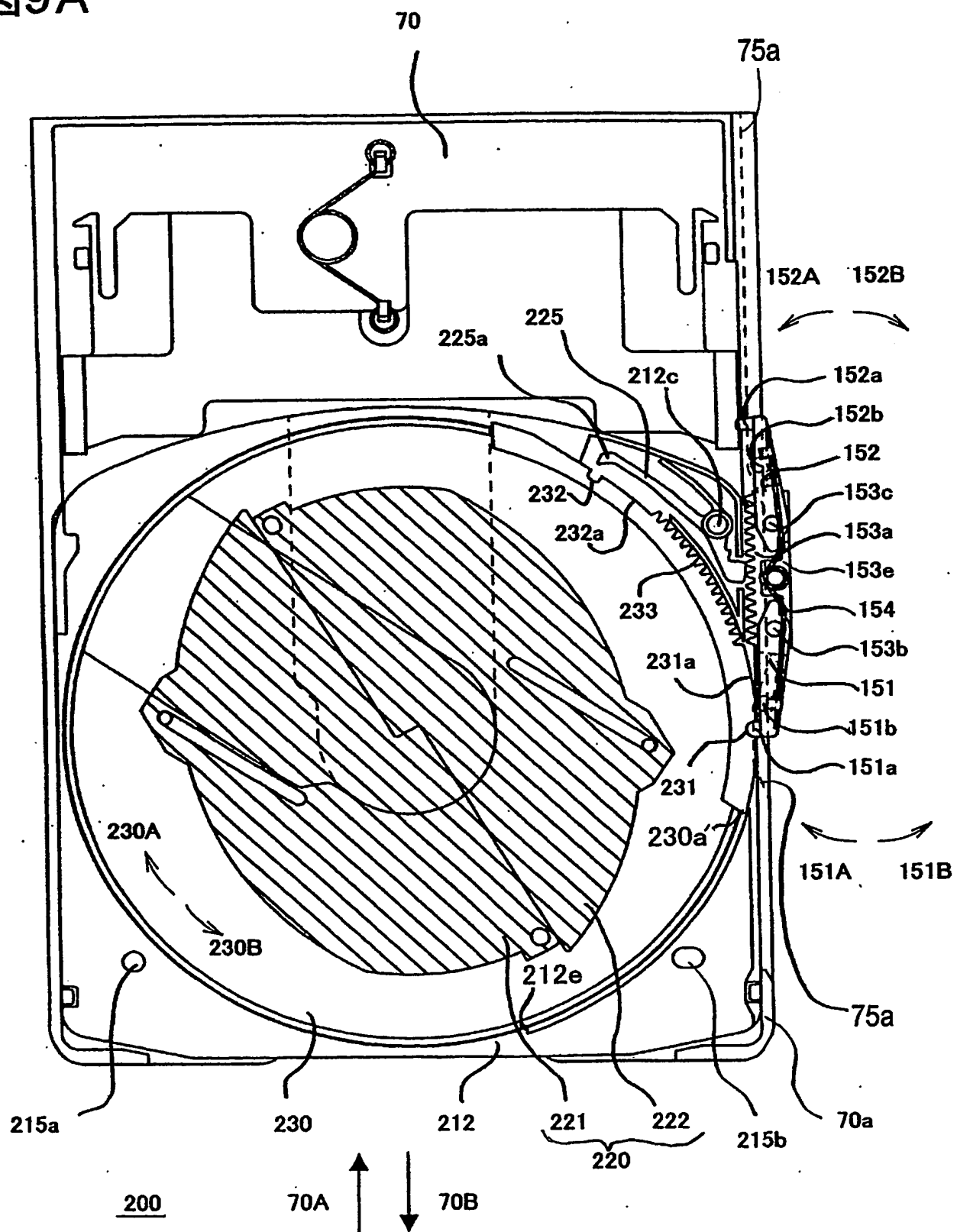


図9B

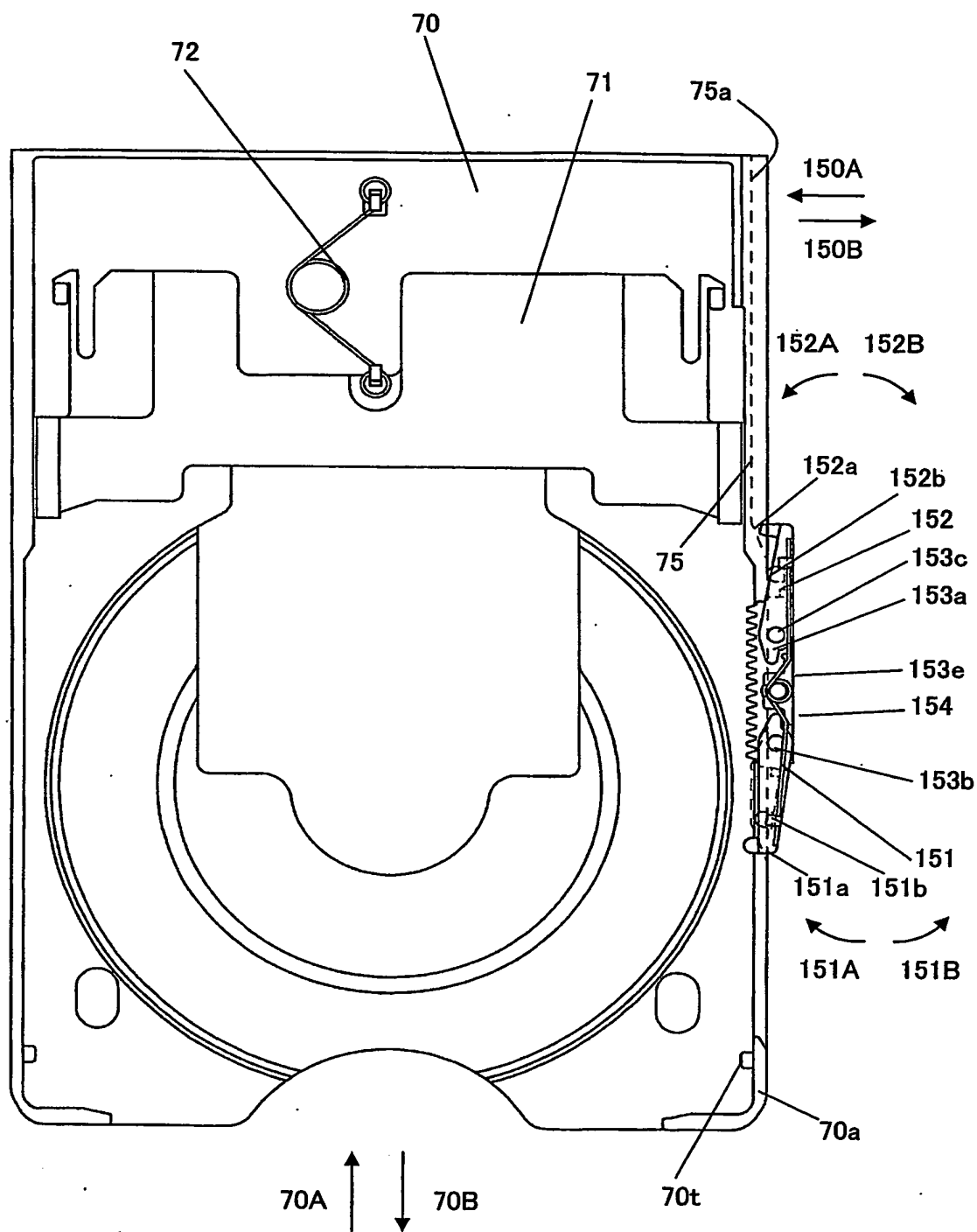


図11B

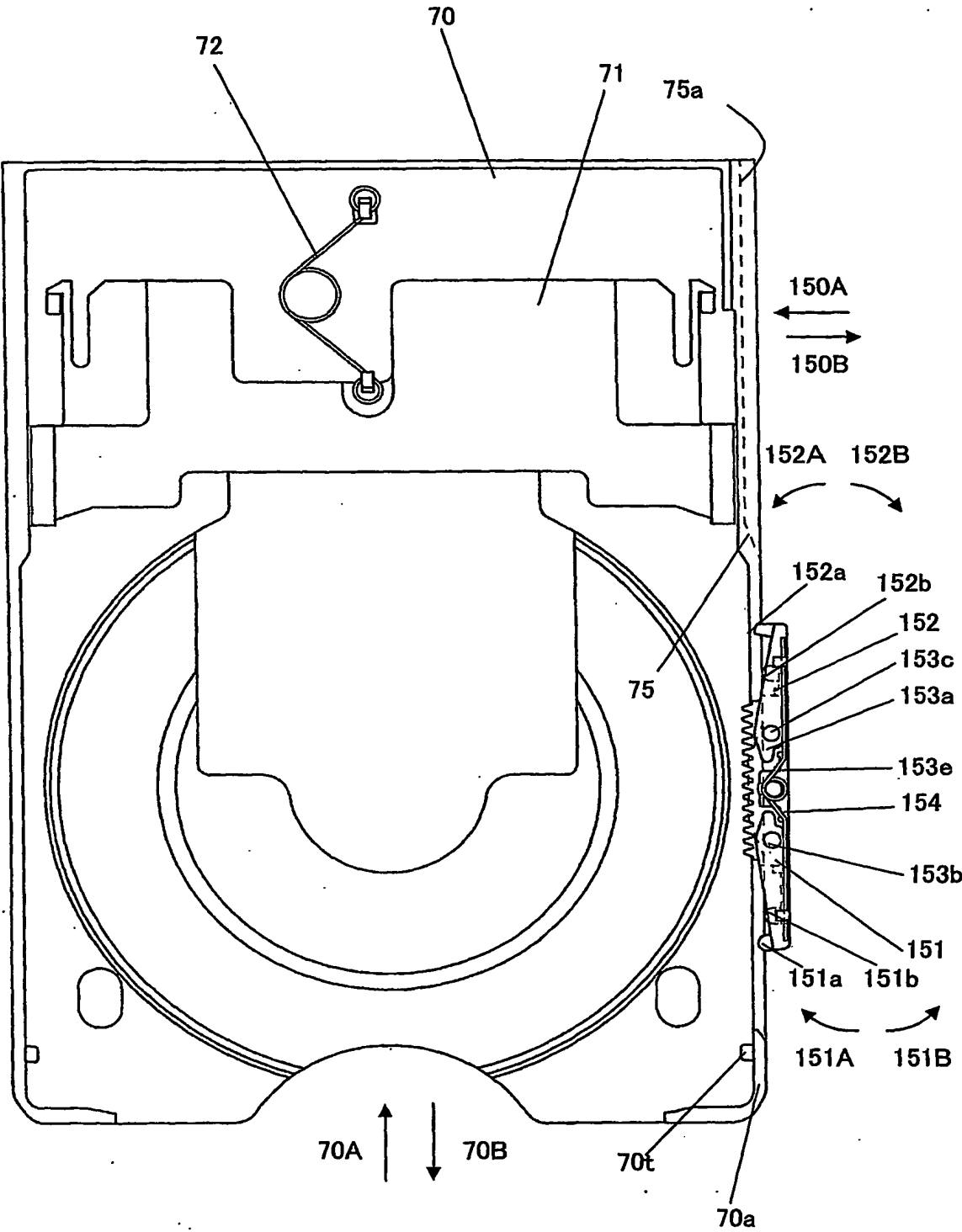


図12A

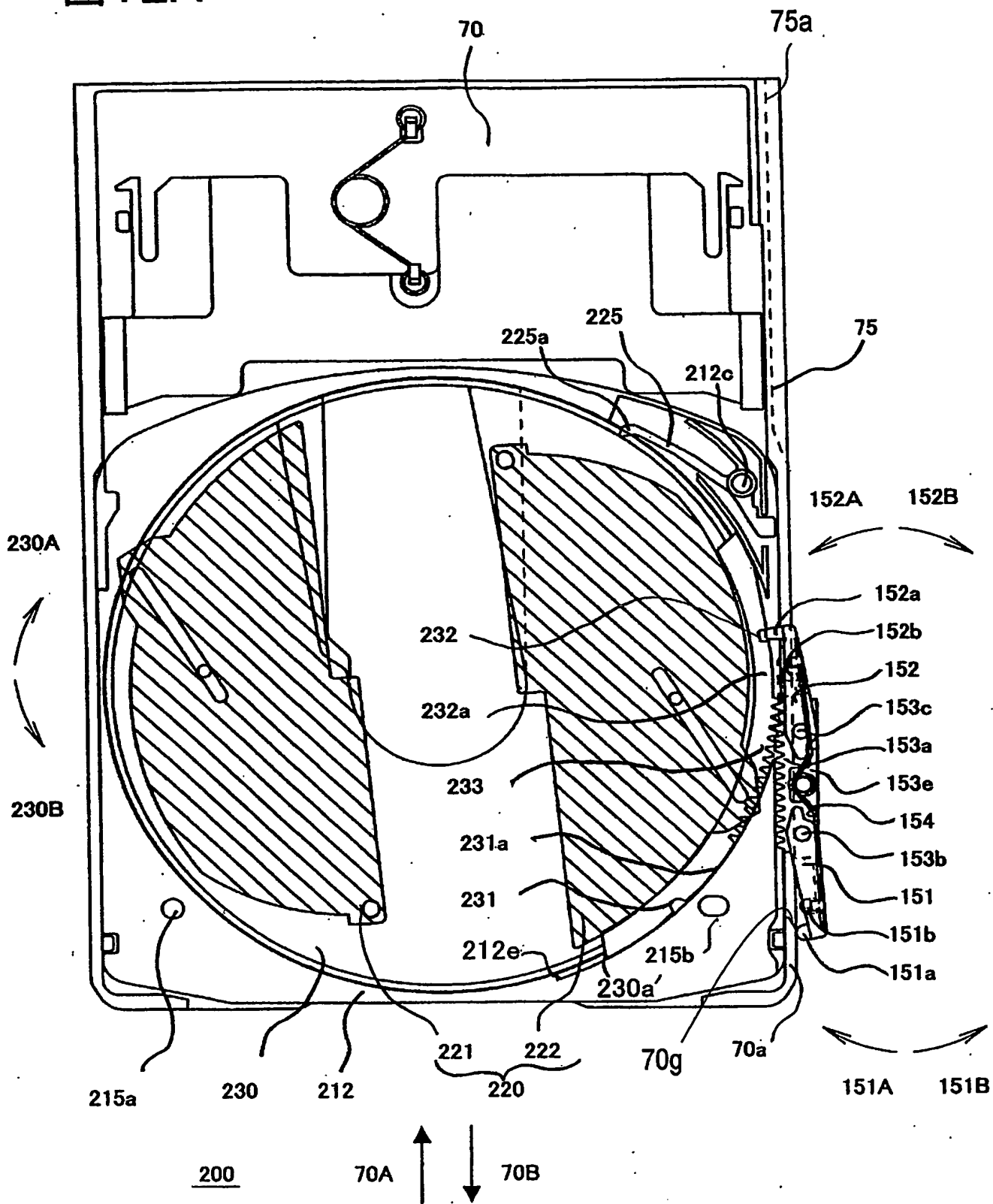


図12B

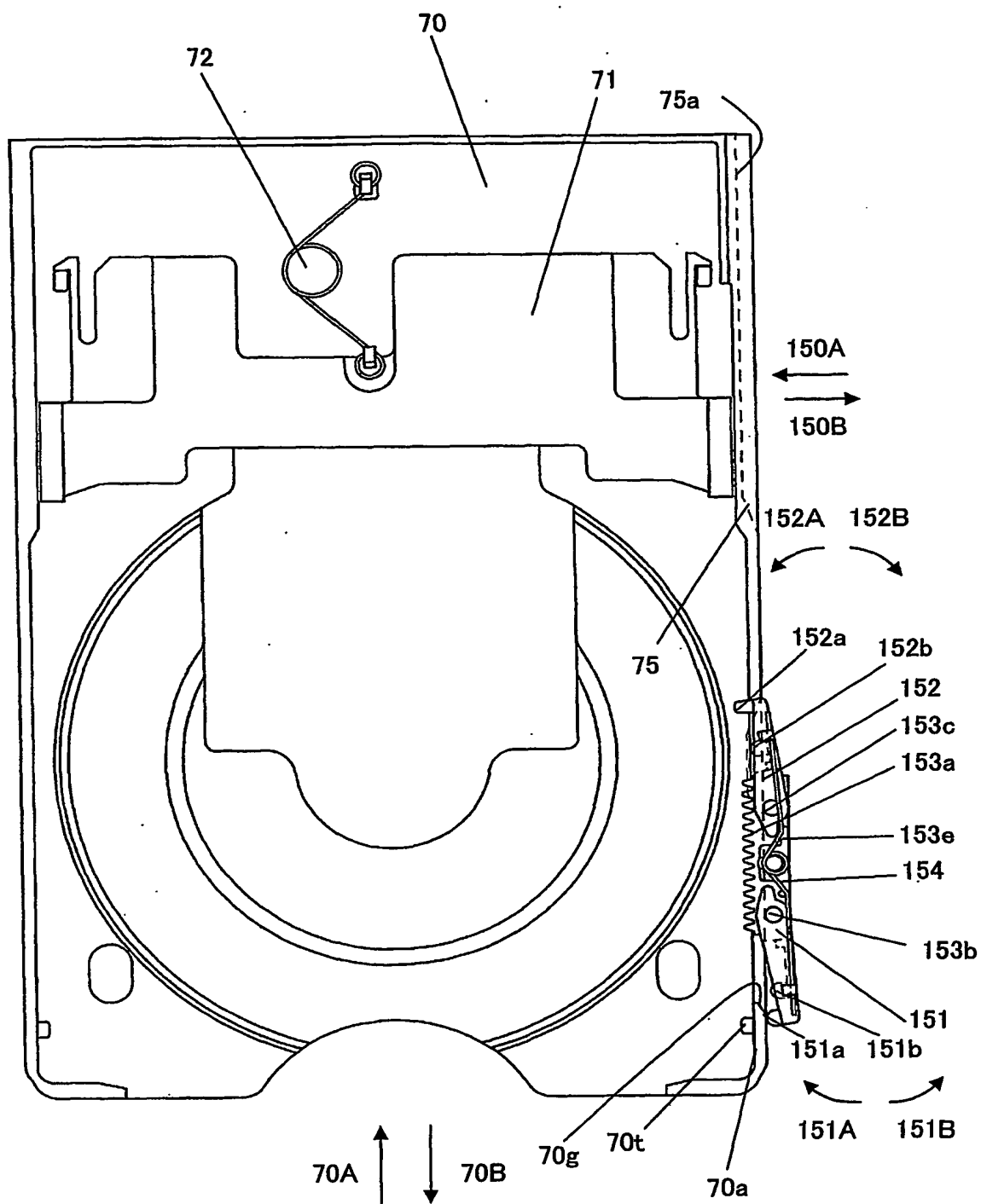


図13

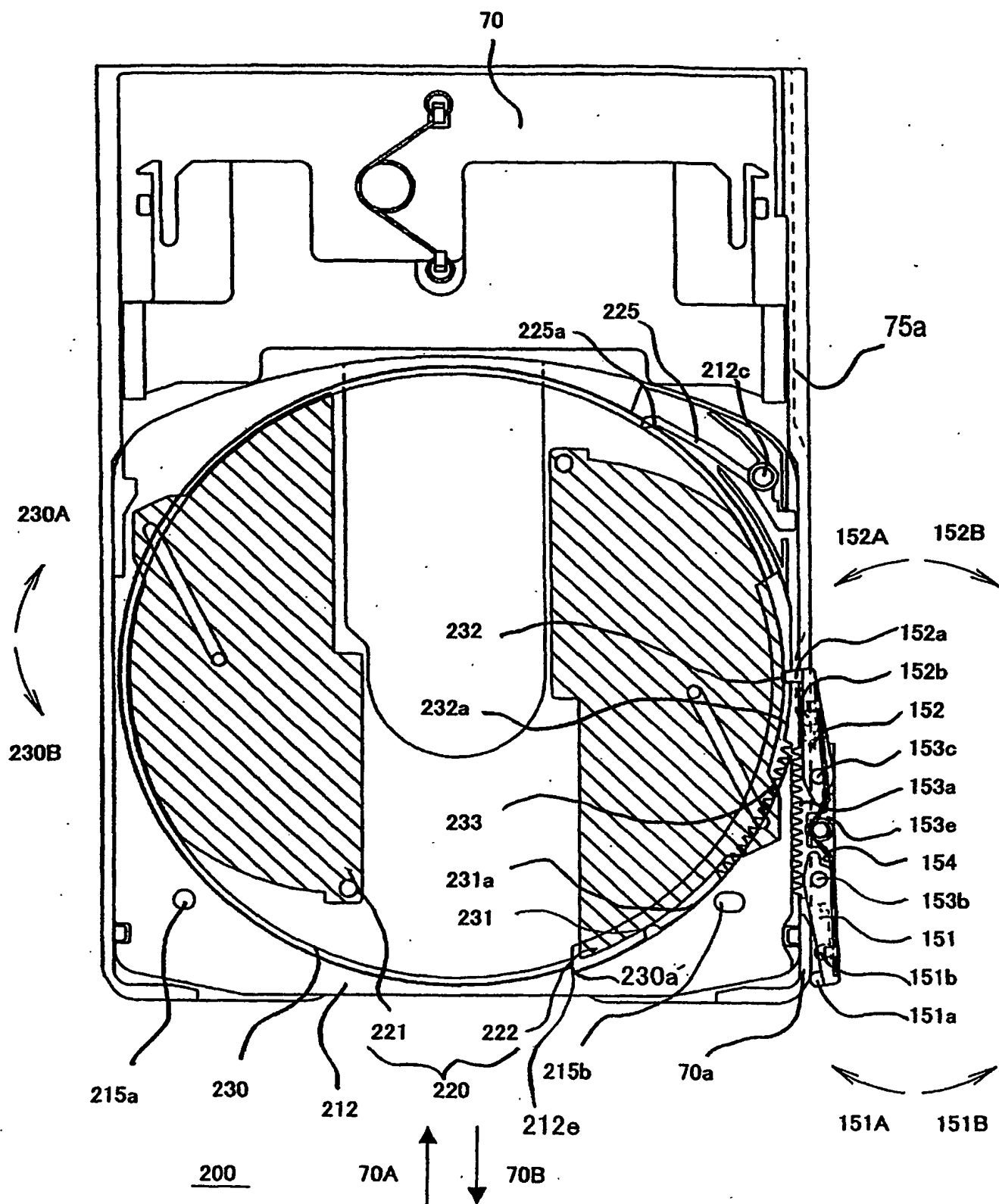


図14A

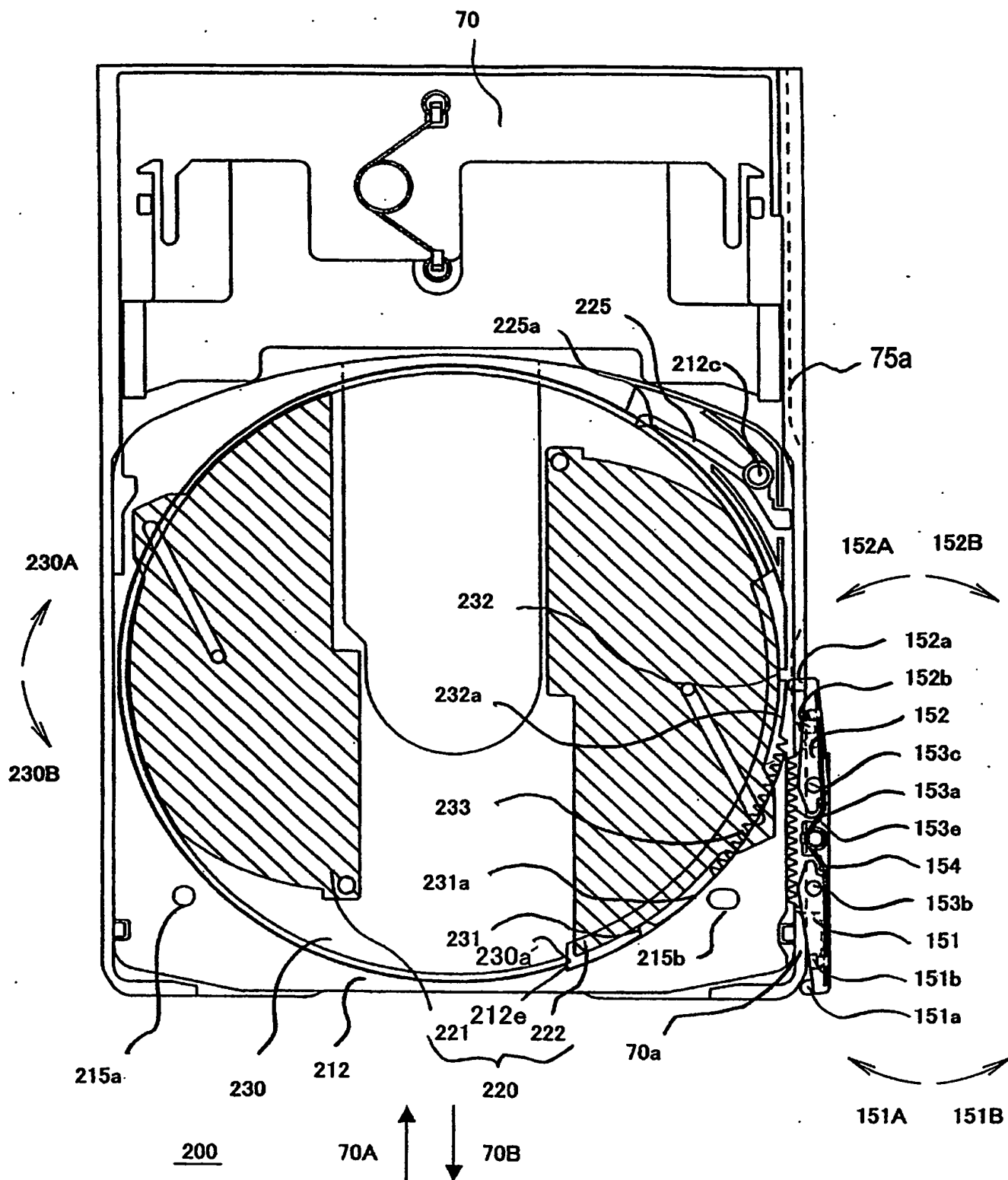


図15

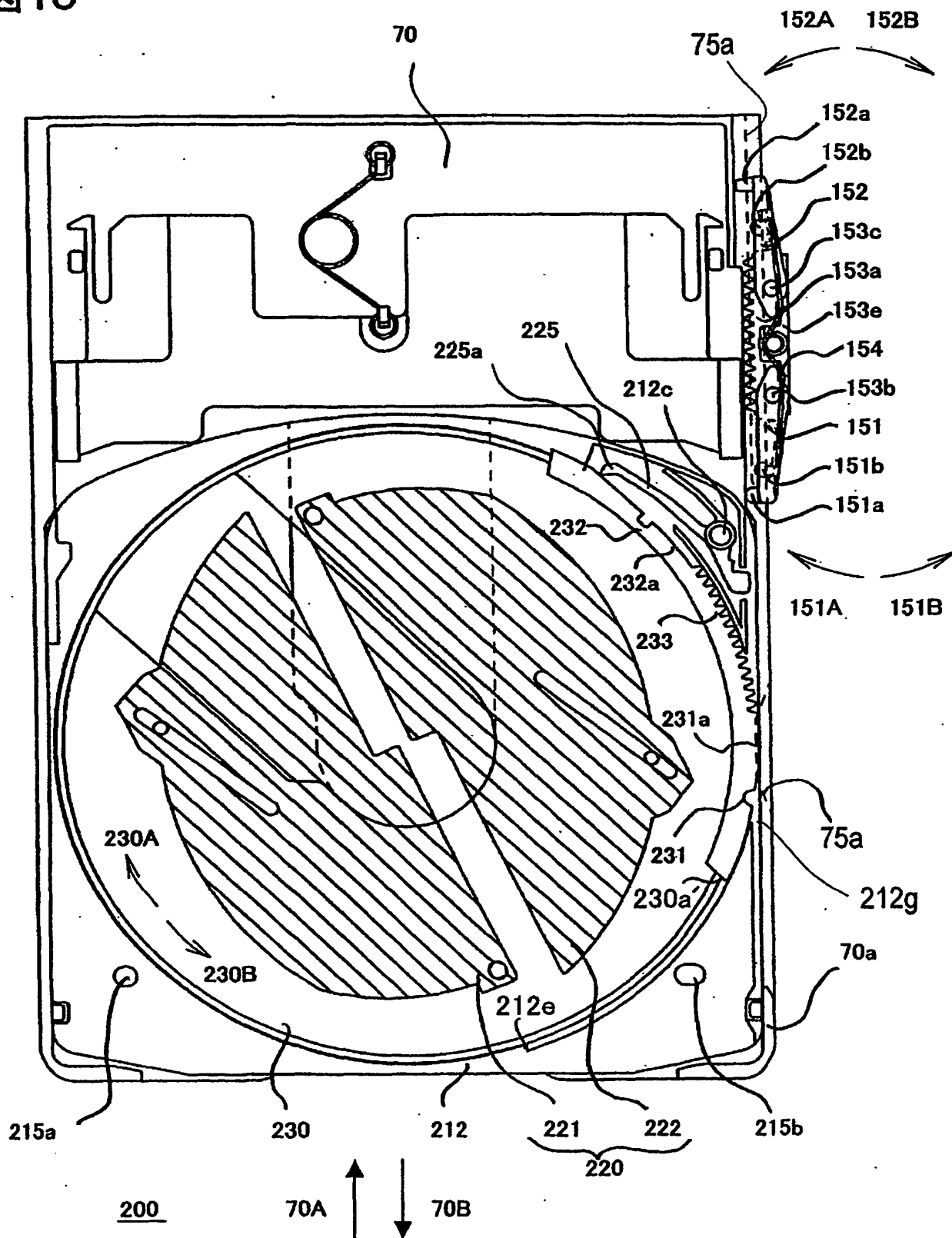


図16

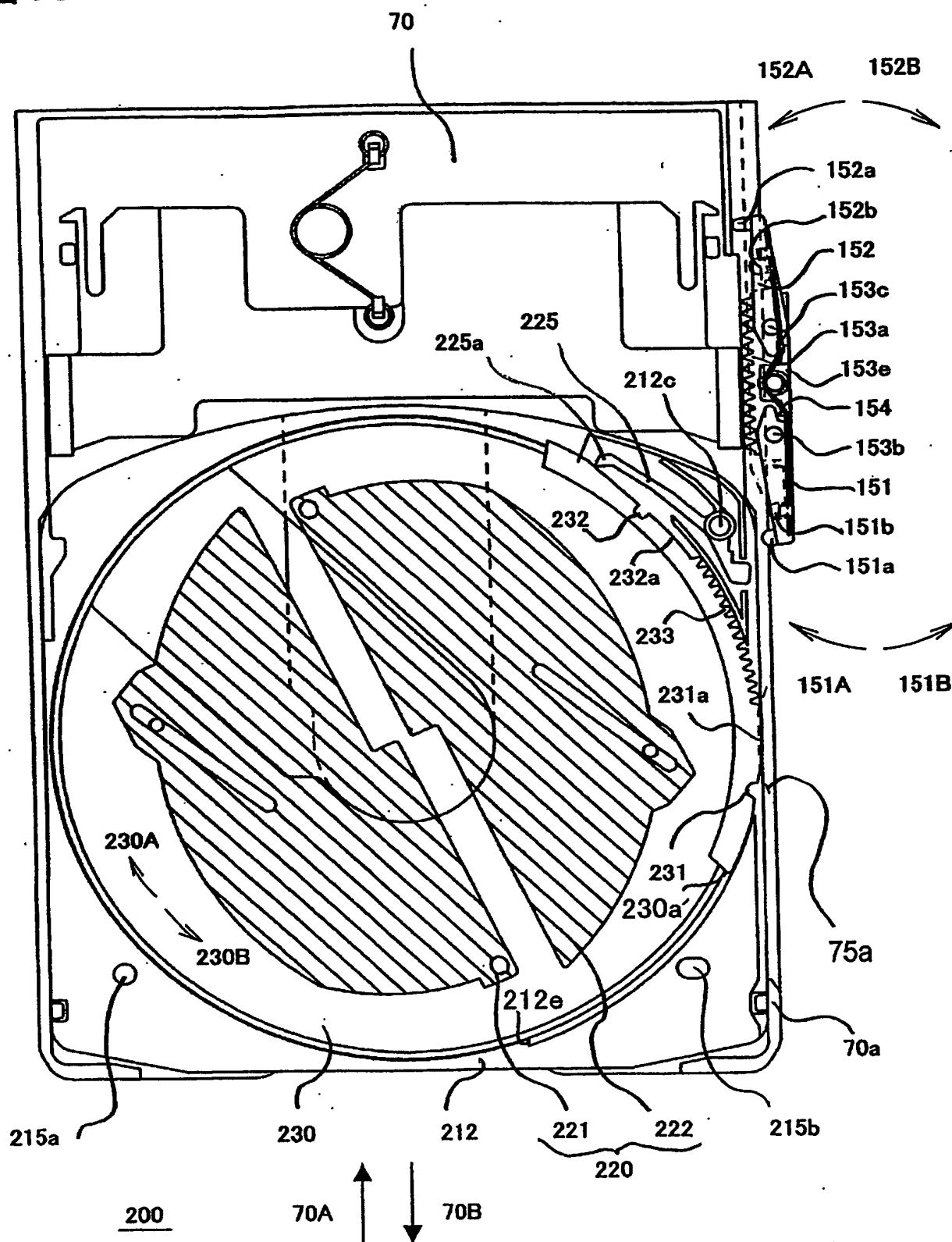


図18

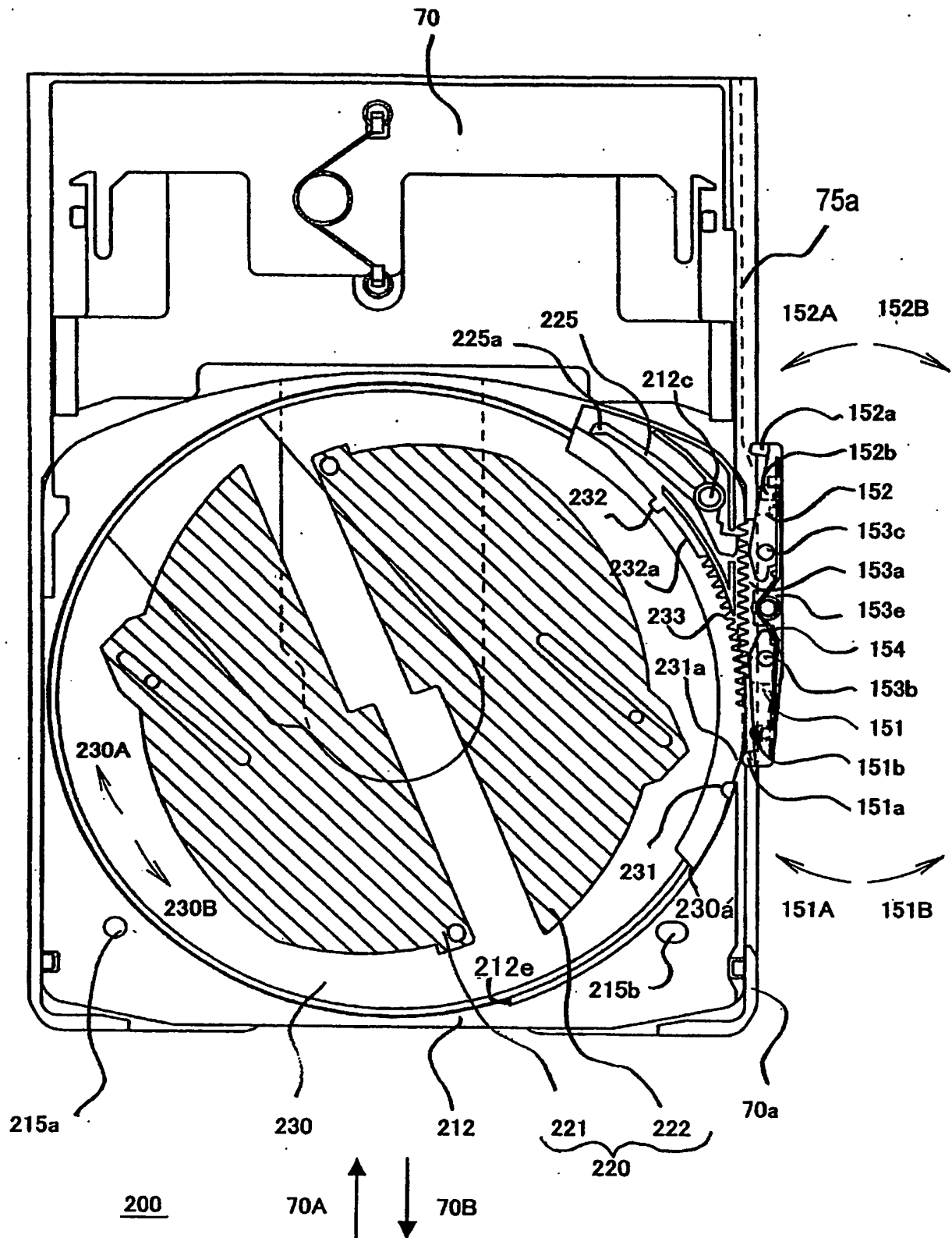


図19

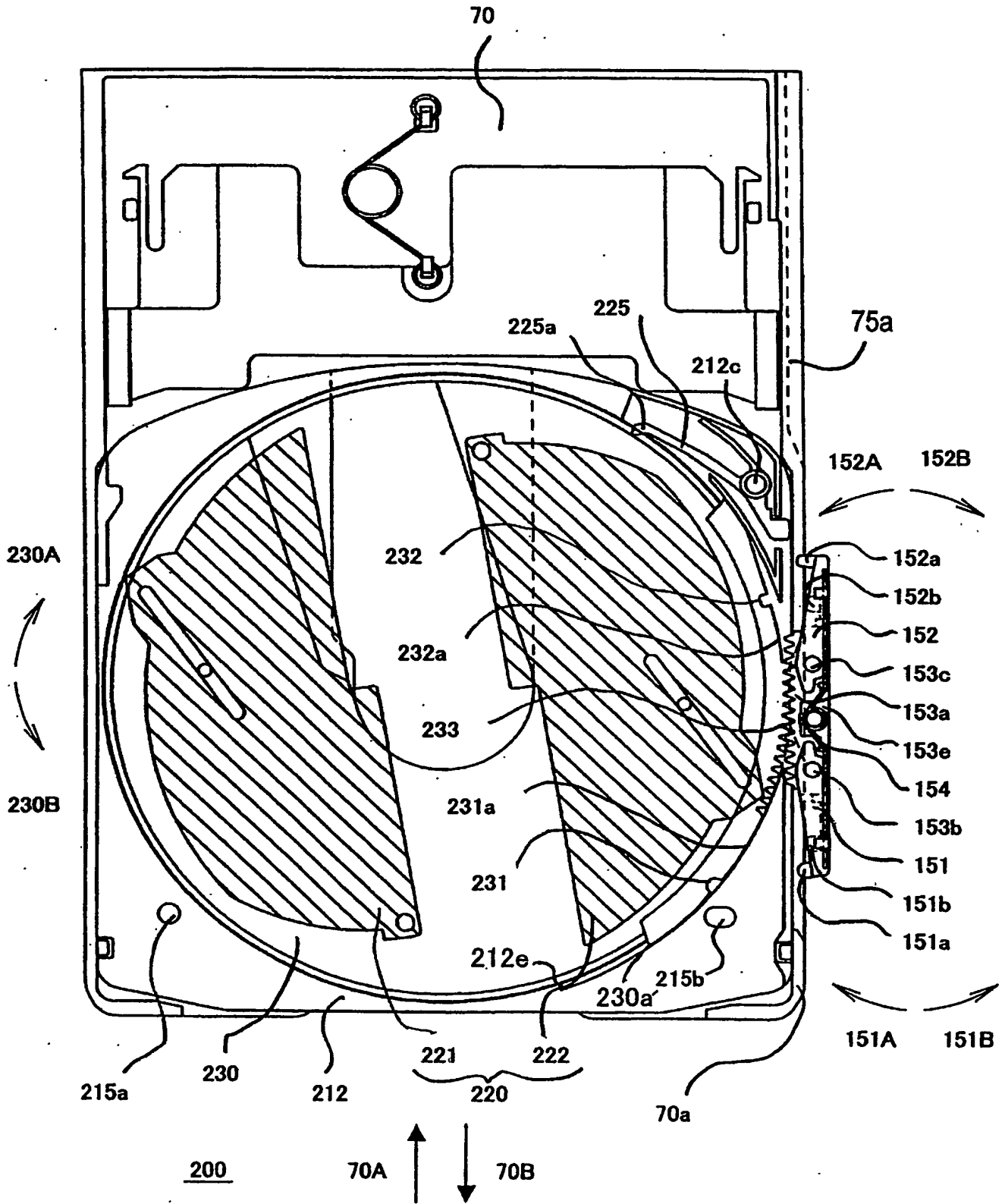


图21

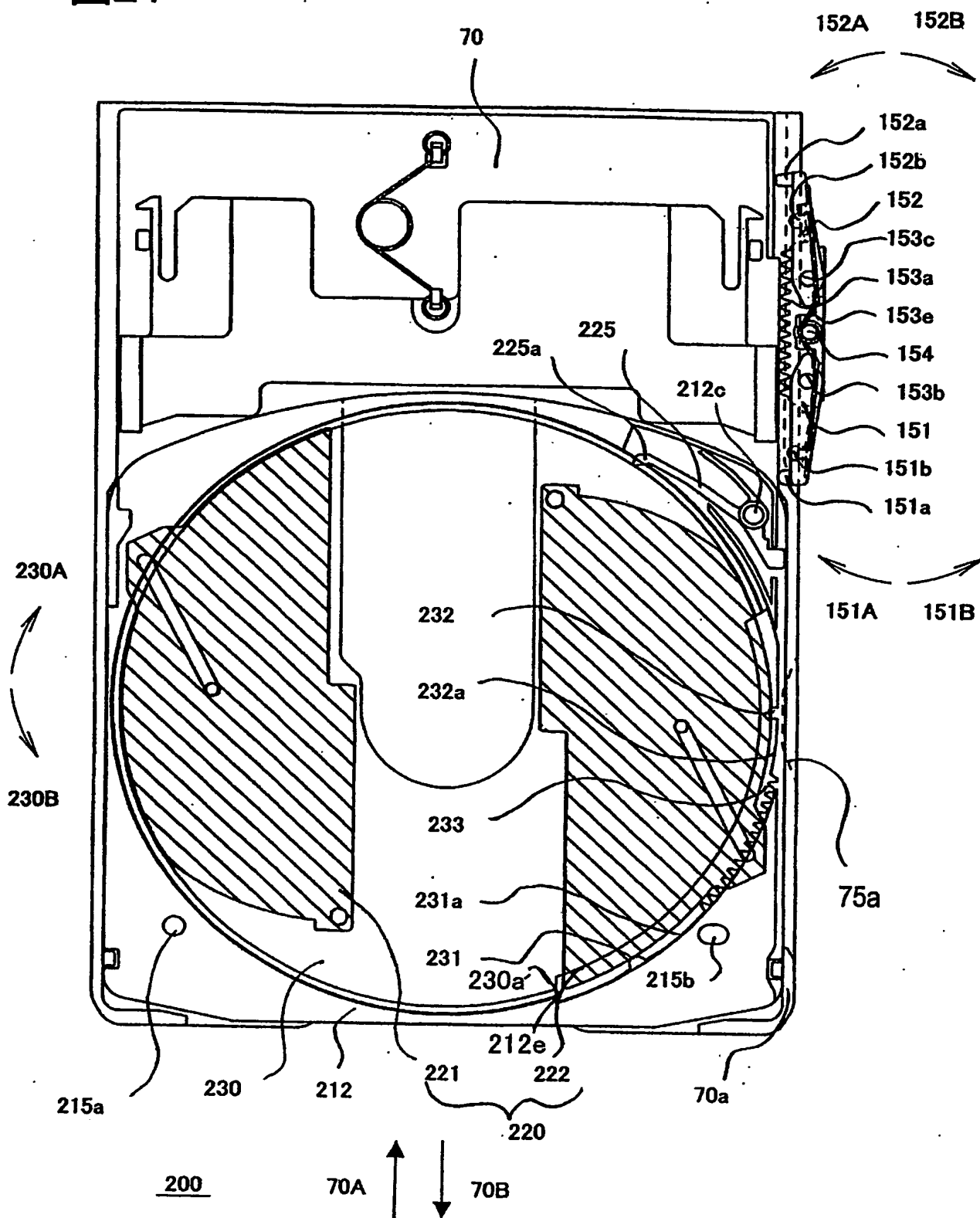


図24

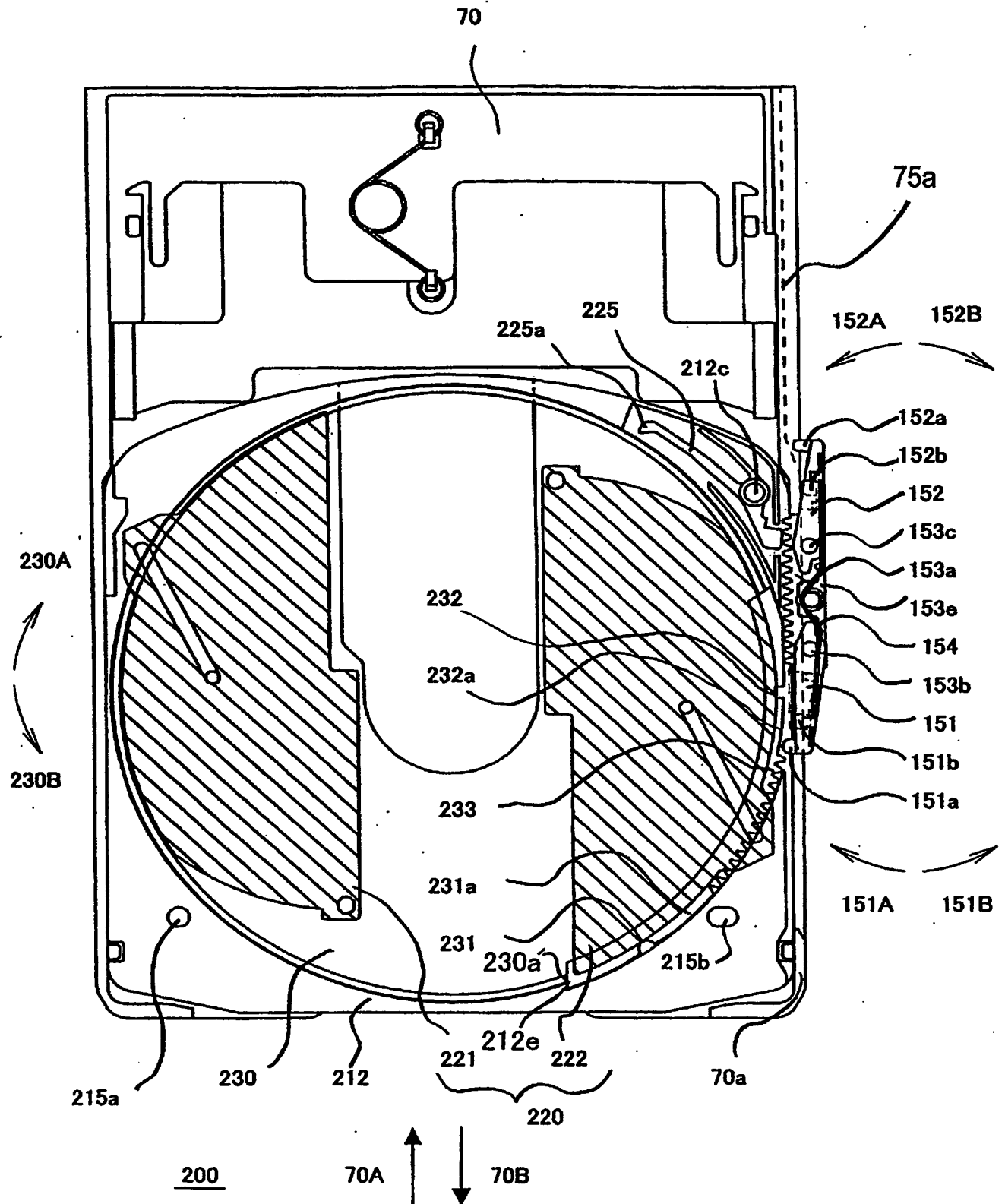


図25

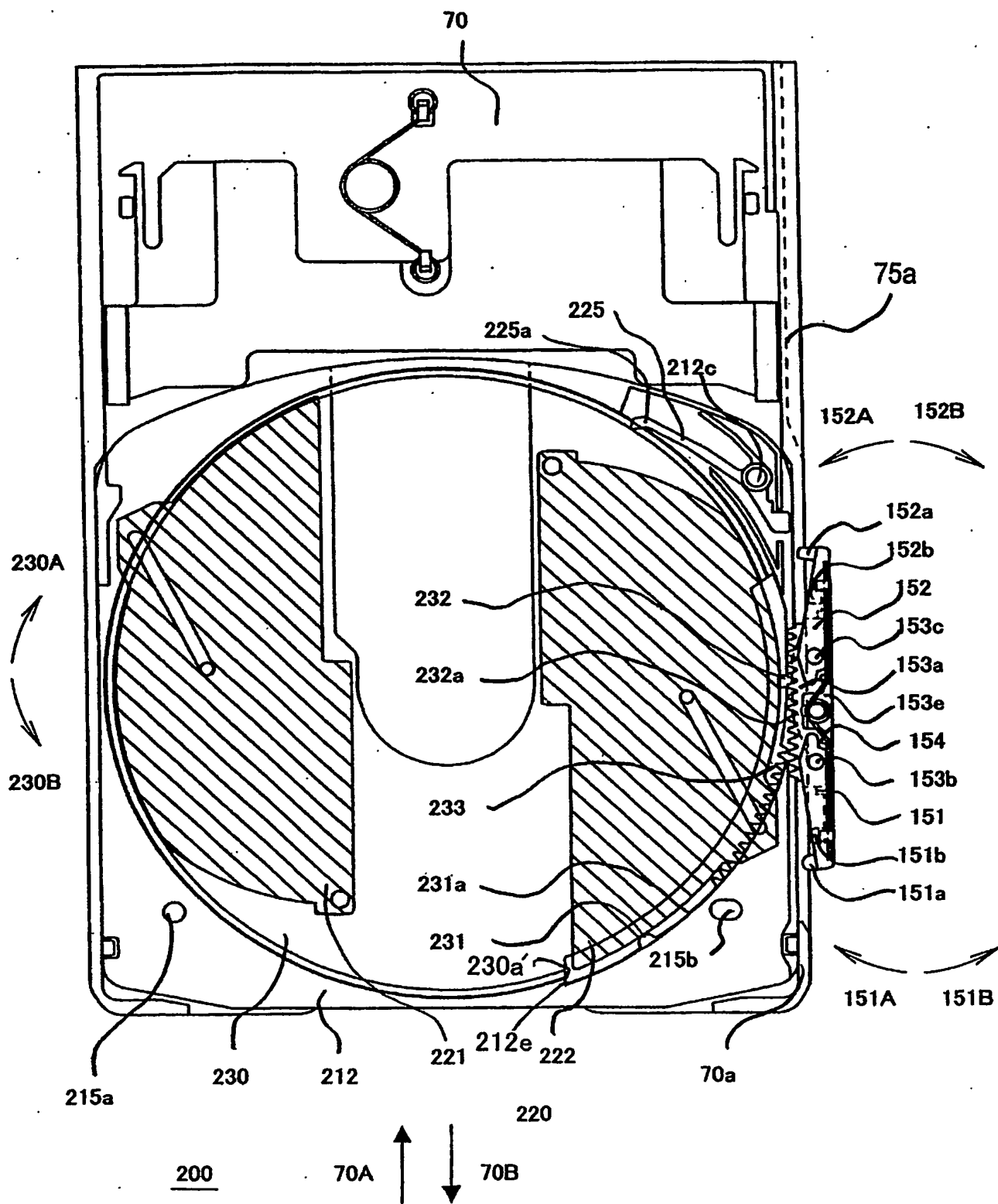


図27

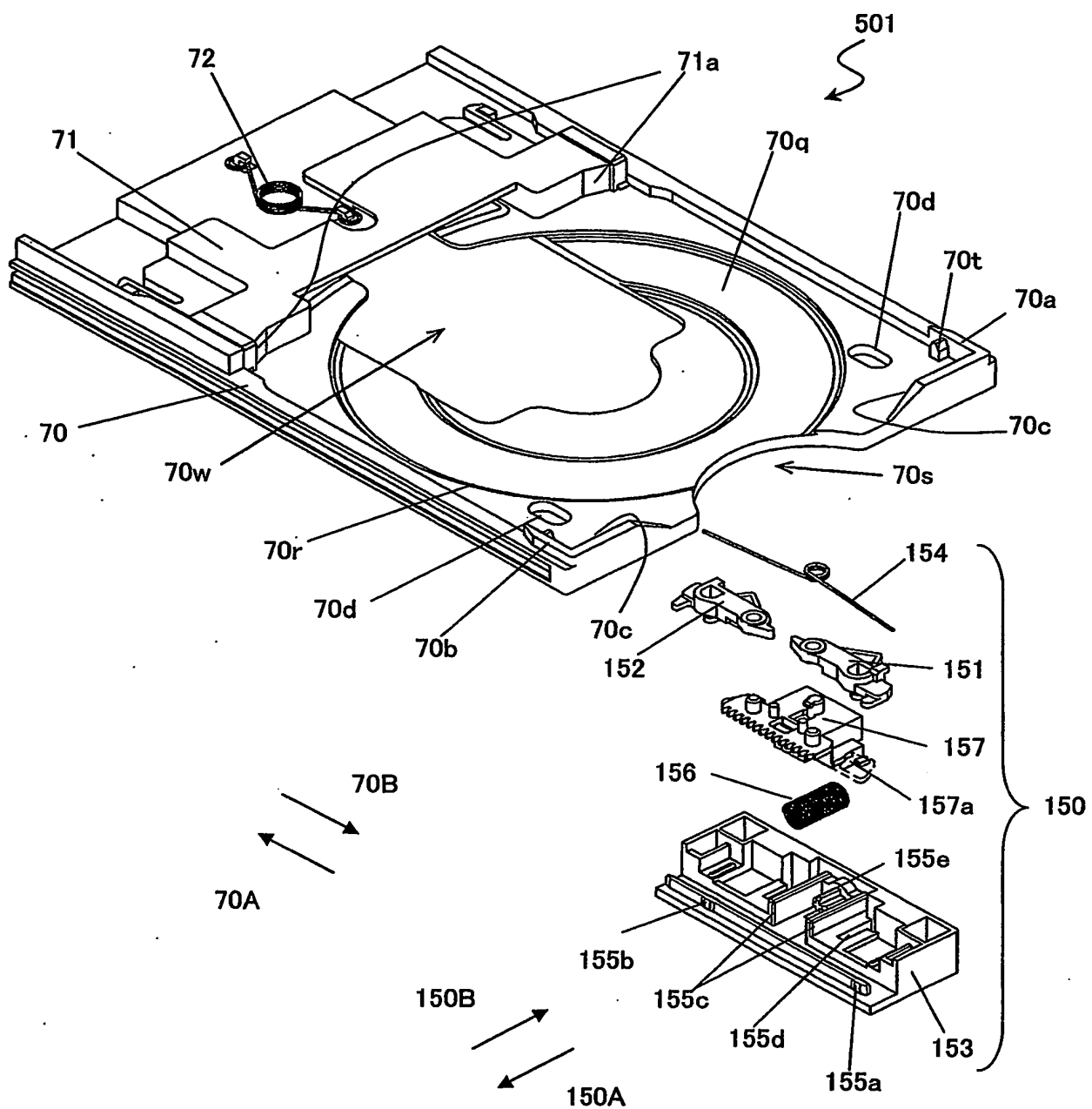


図28

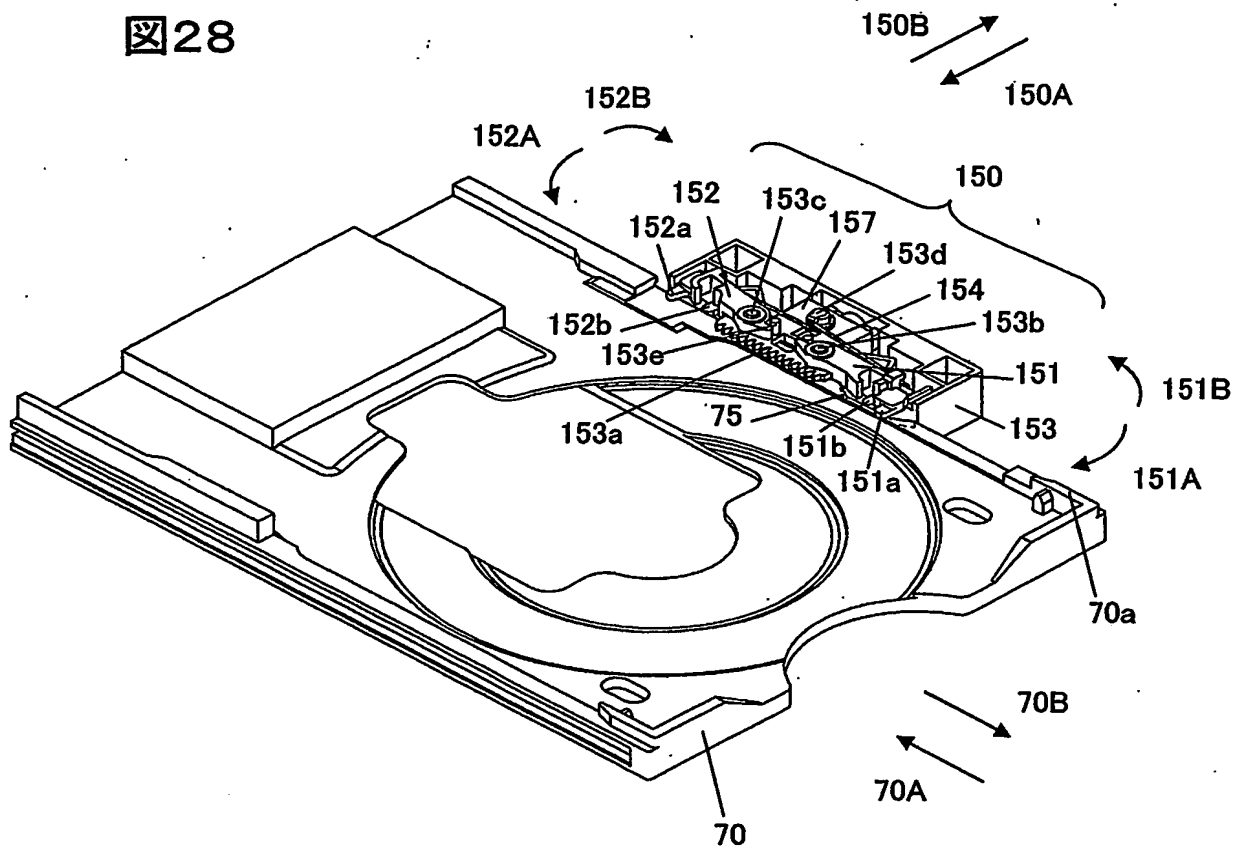
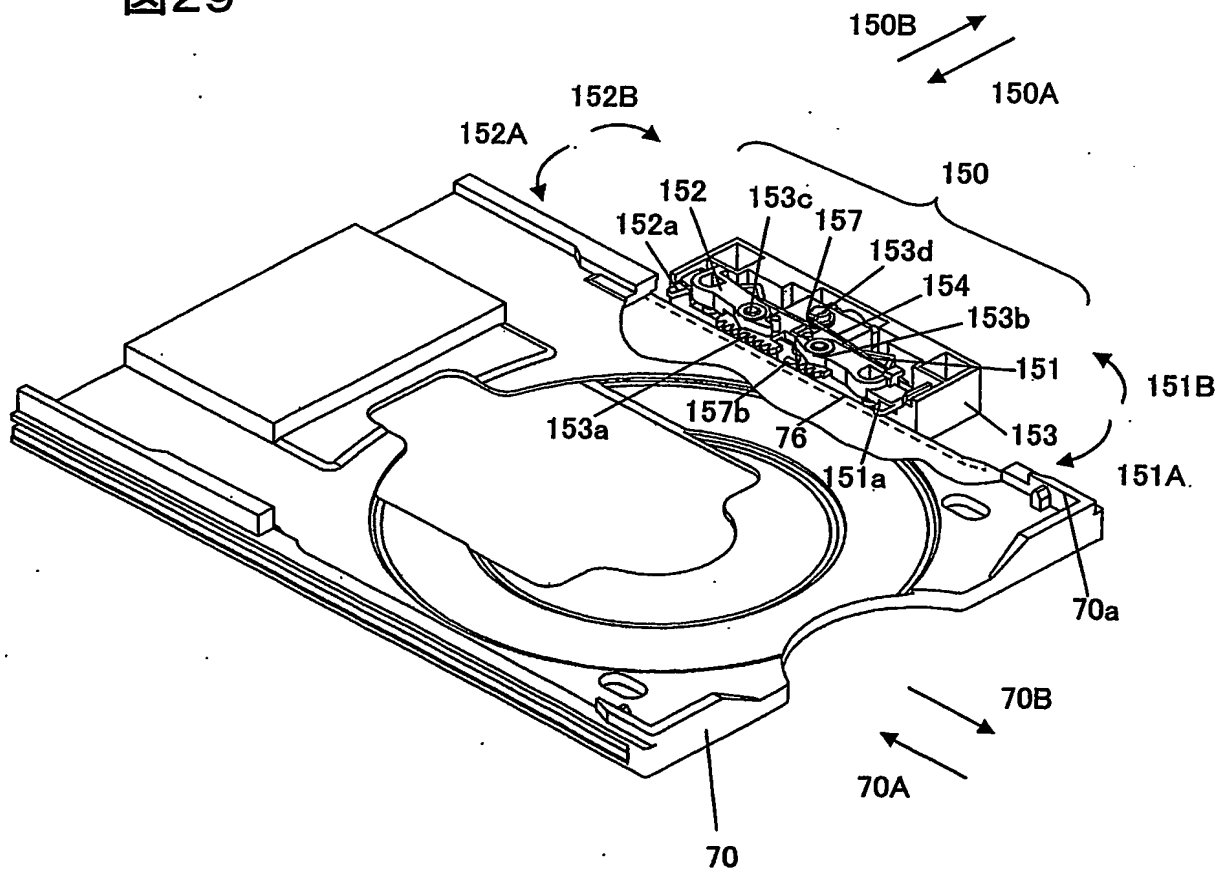


図29



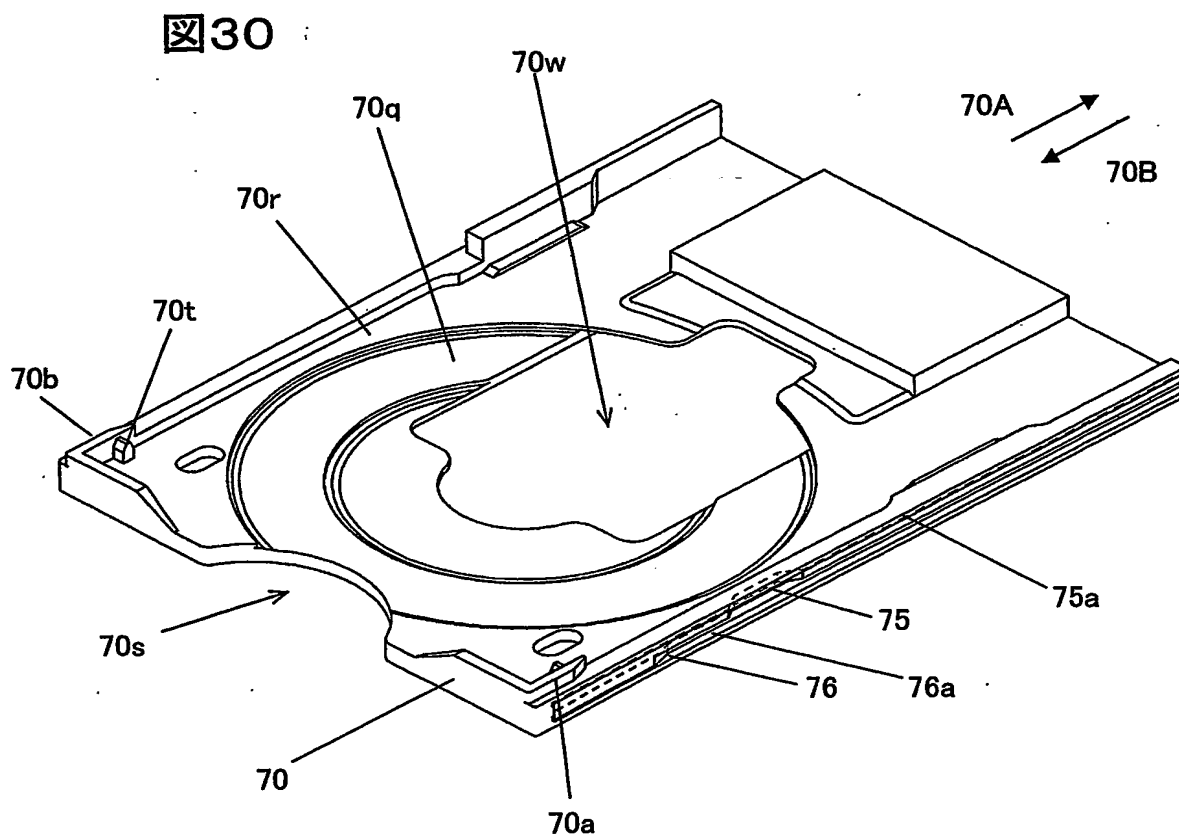


図31A

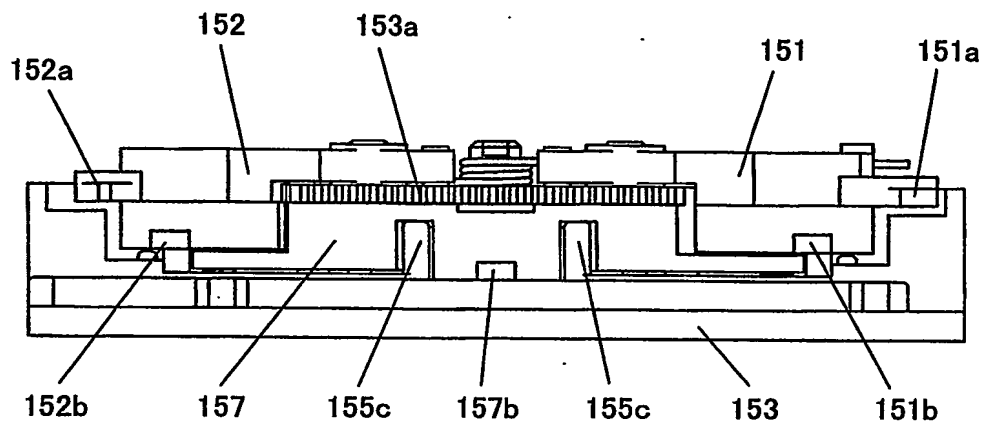


图 31B

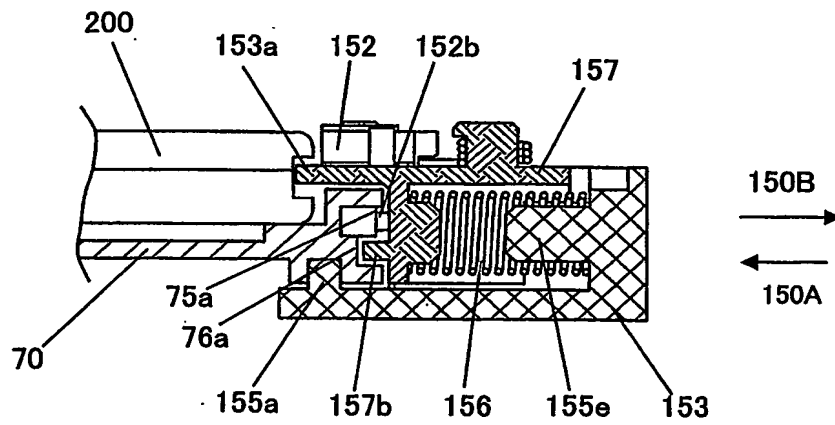


図32A

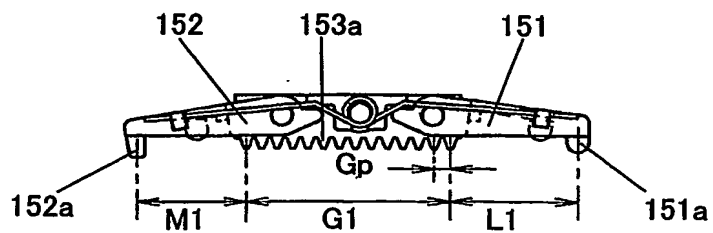


図32B

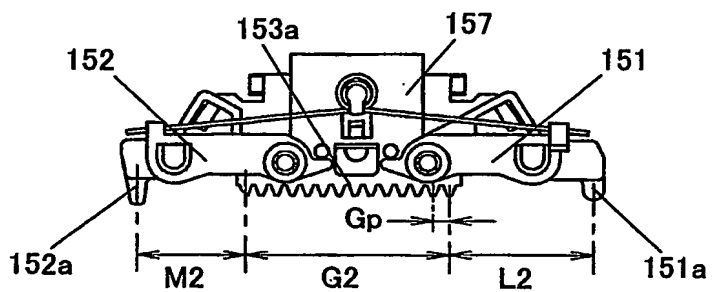


図32C

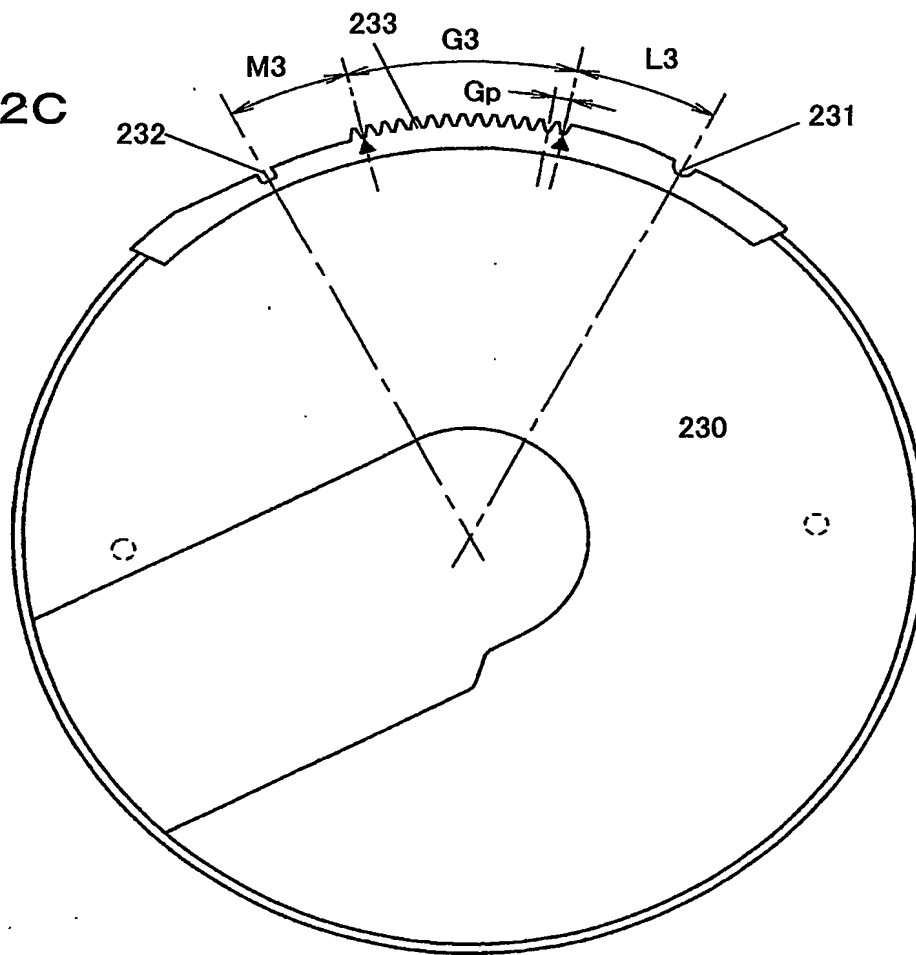


図33A

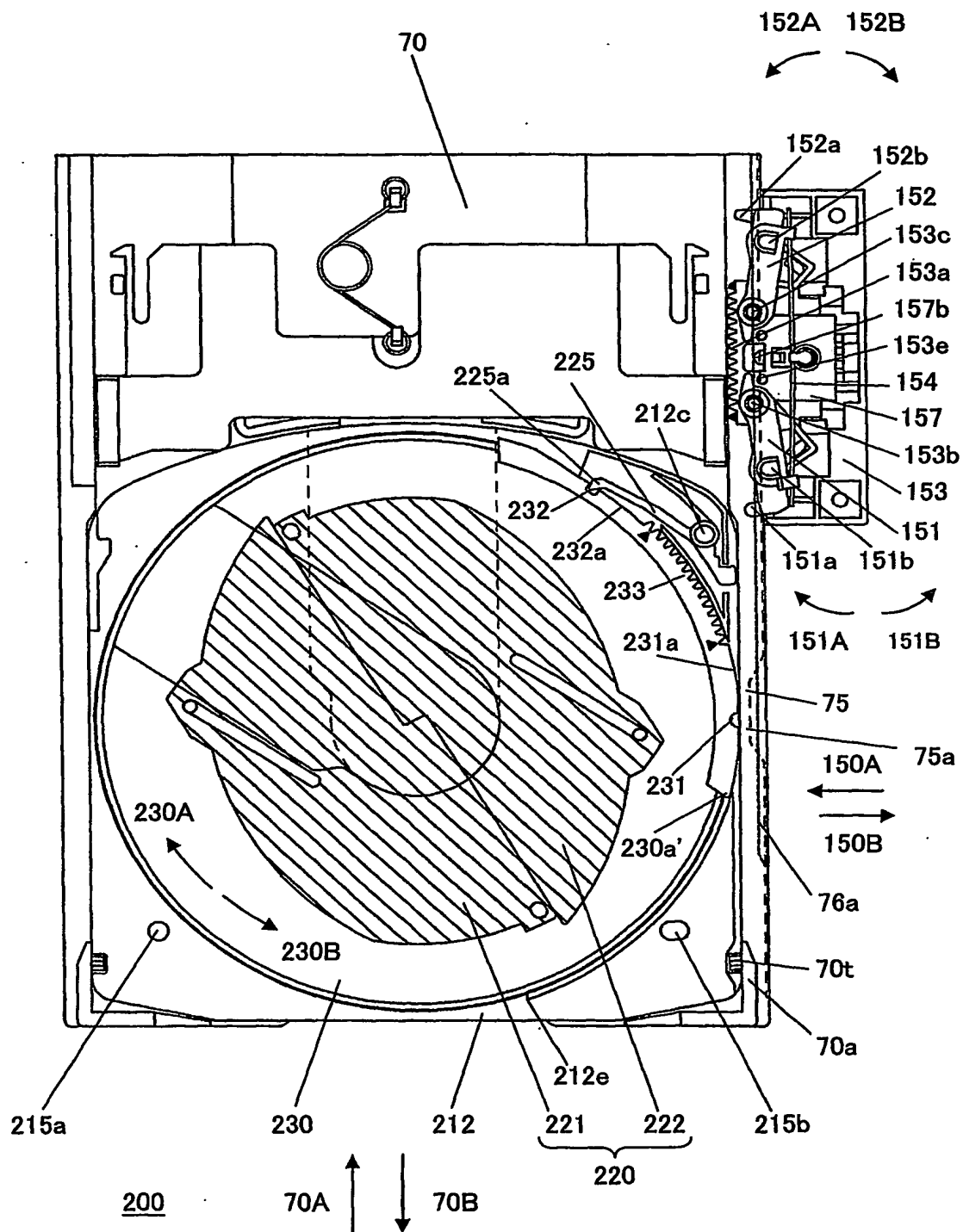


図33B

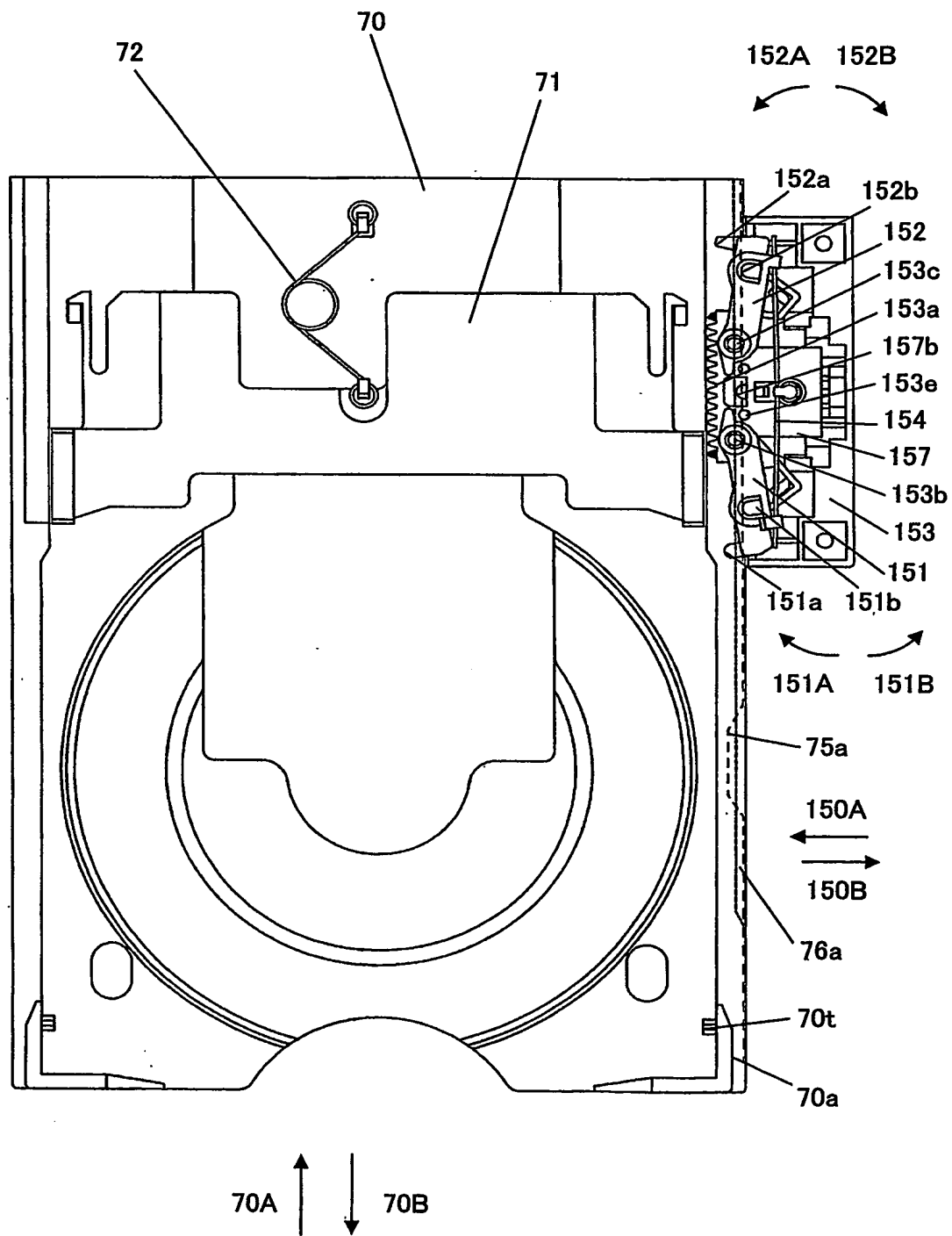


図34

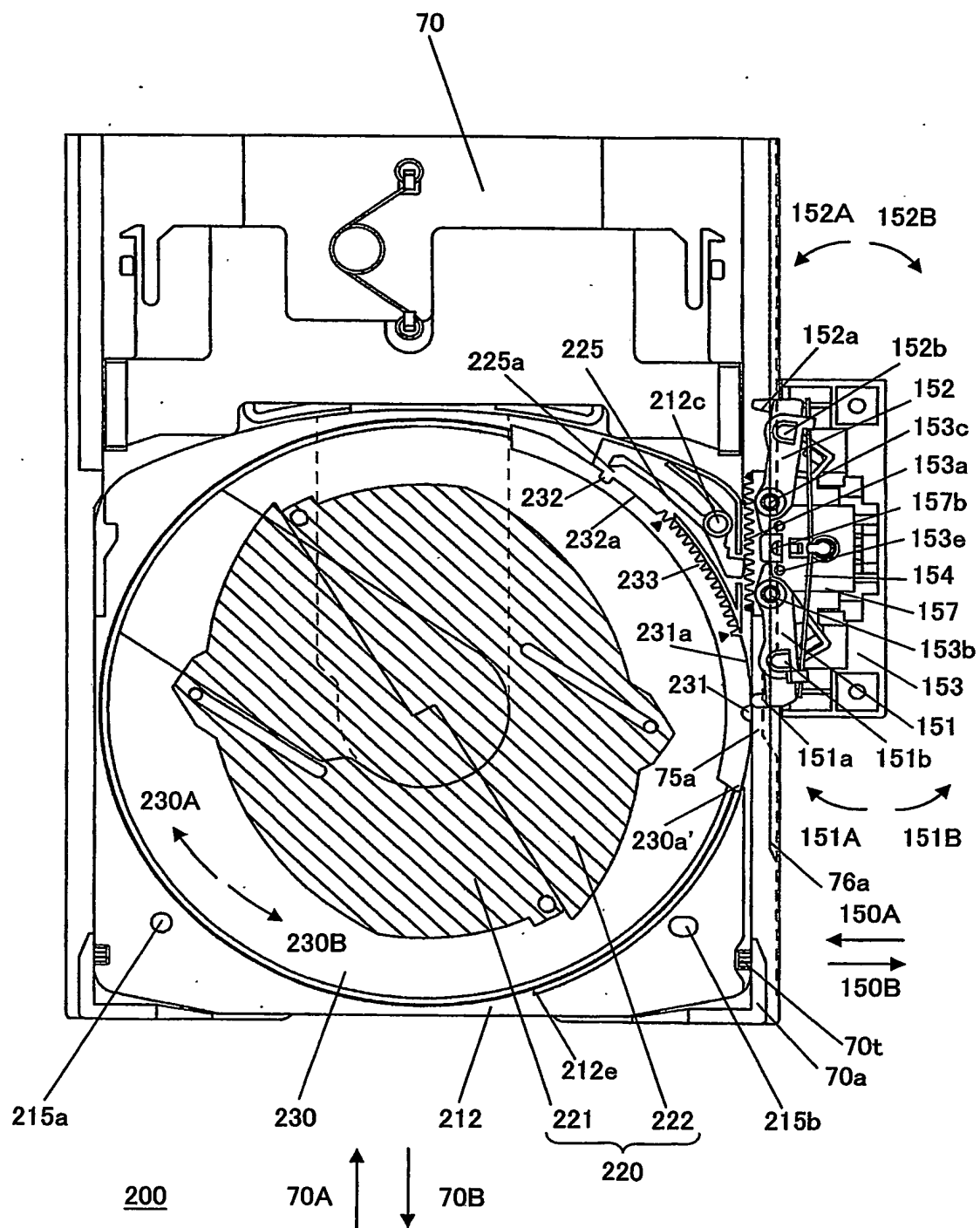


図35A

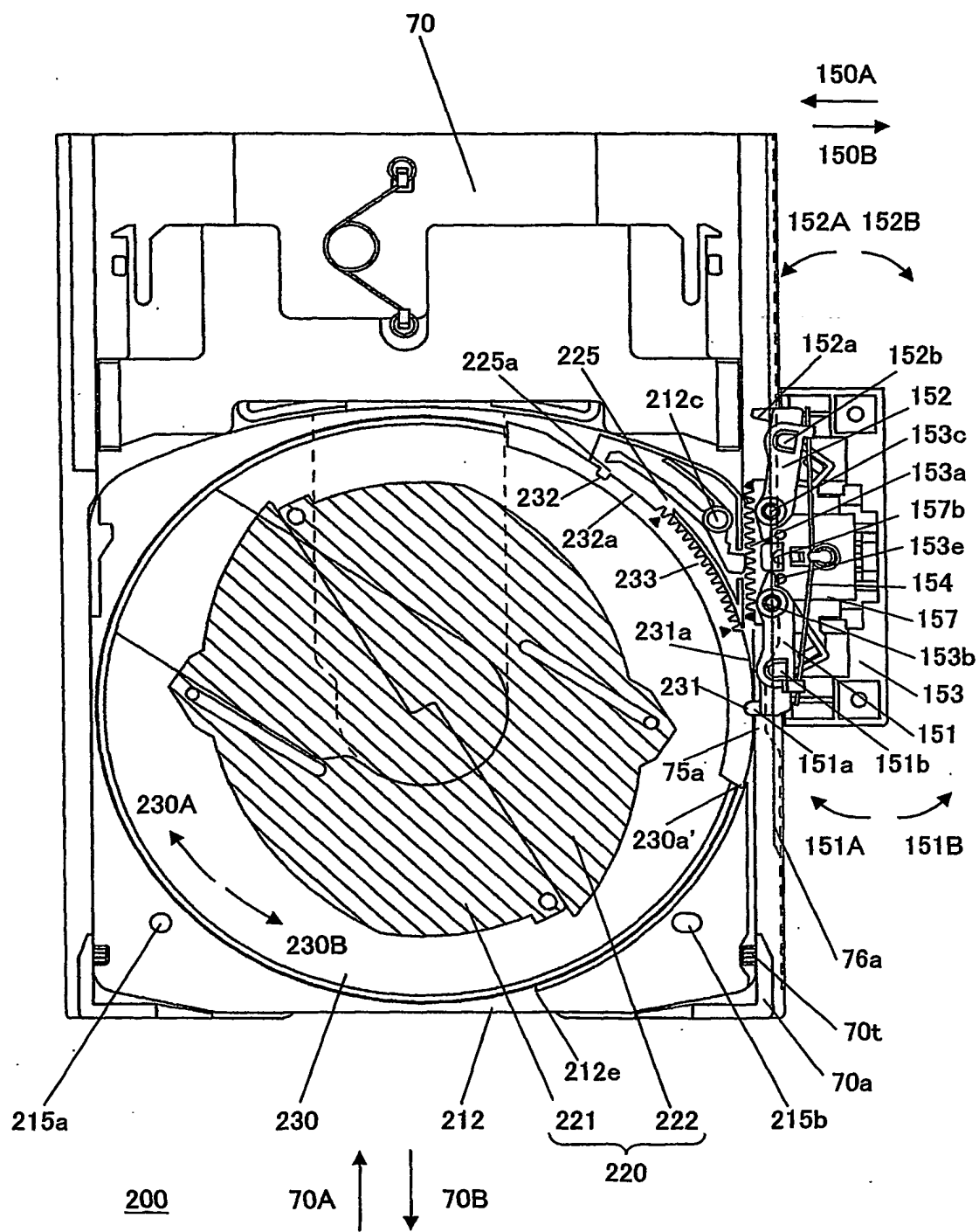


図35B

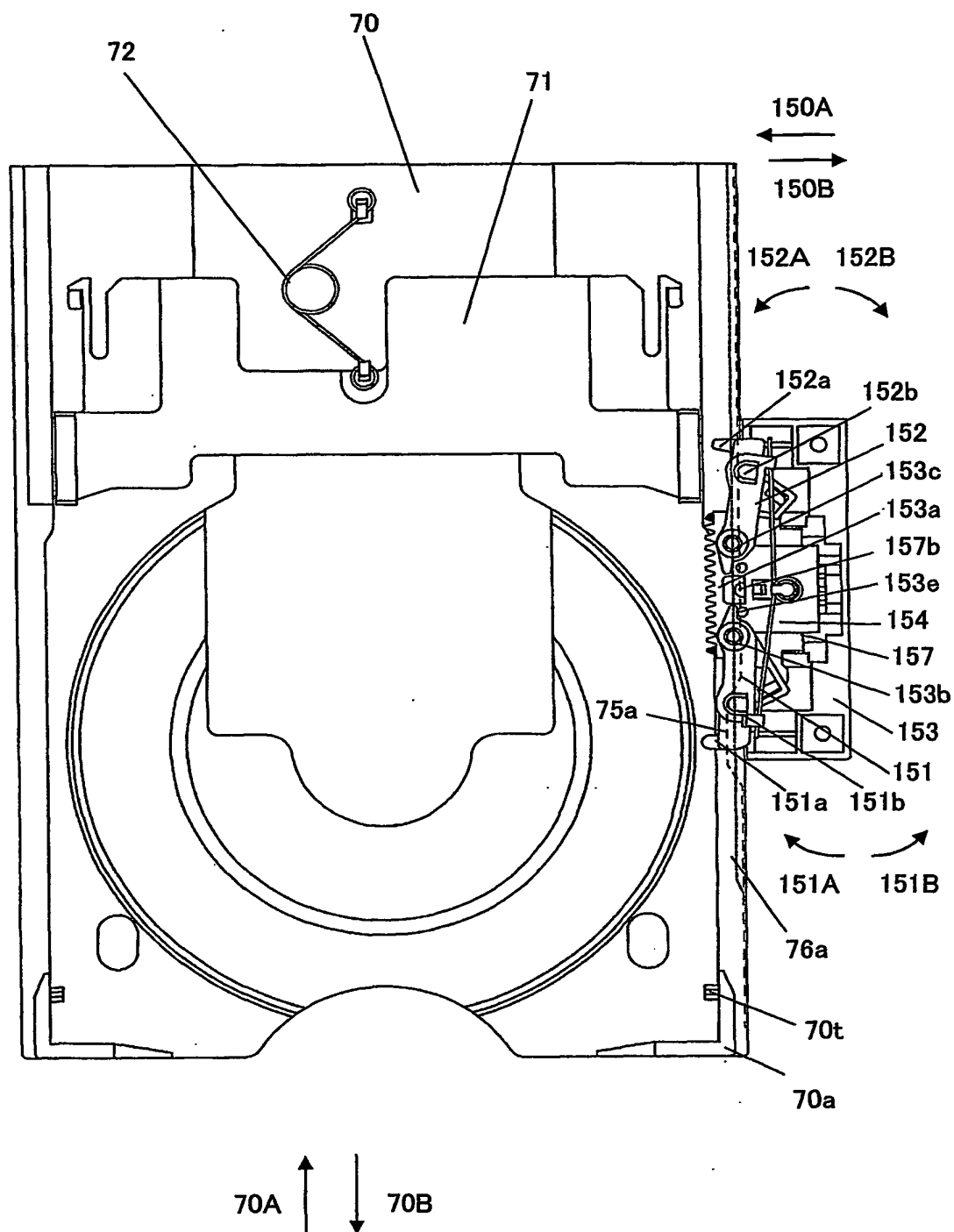
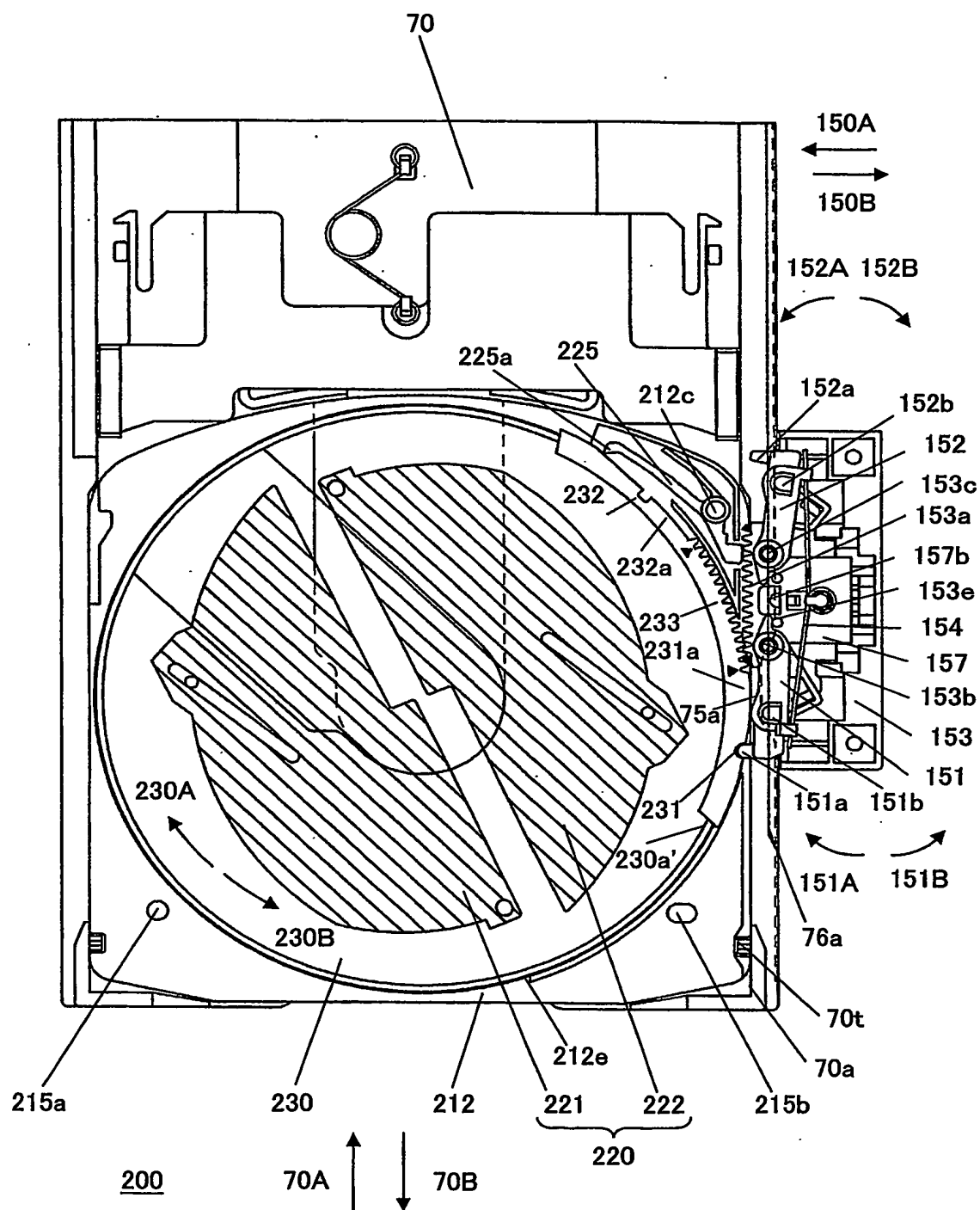


図36A



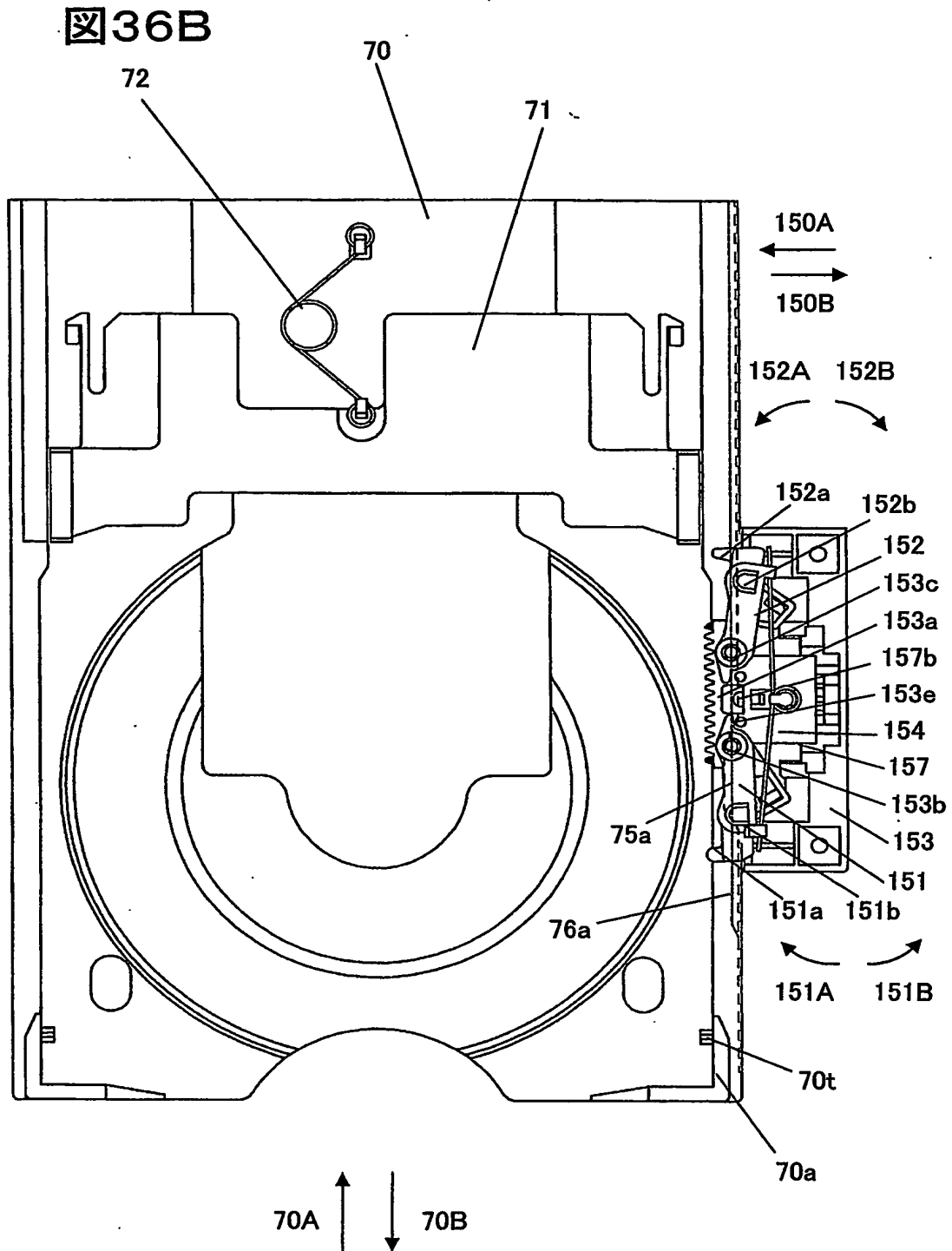
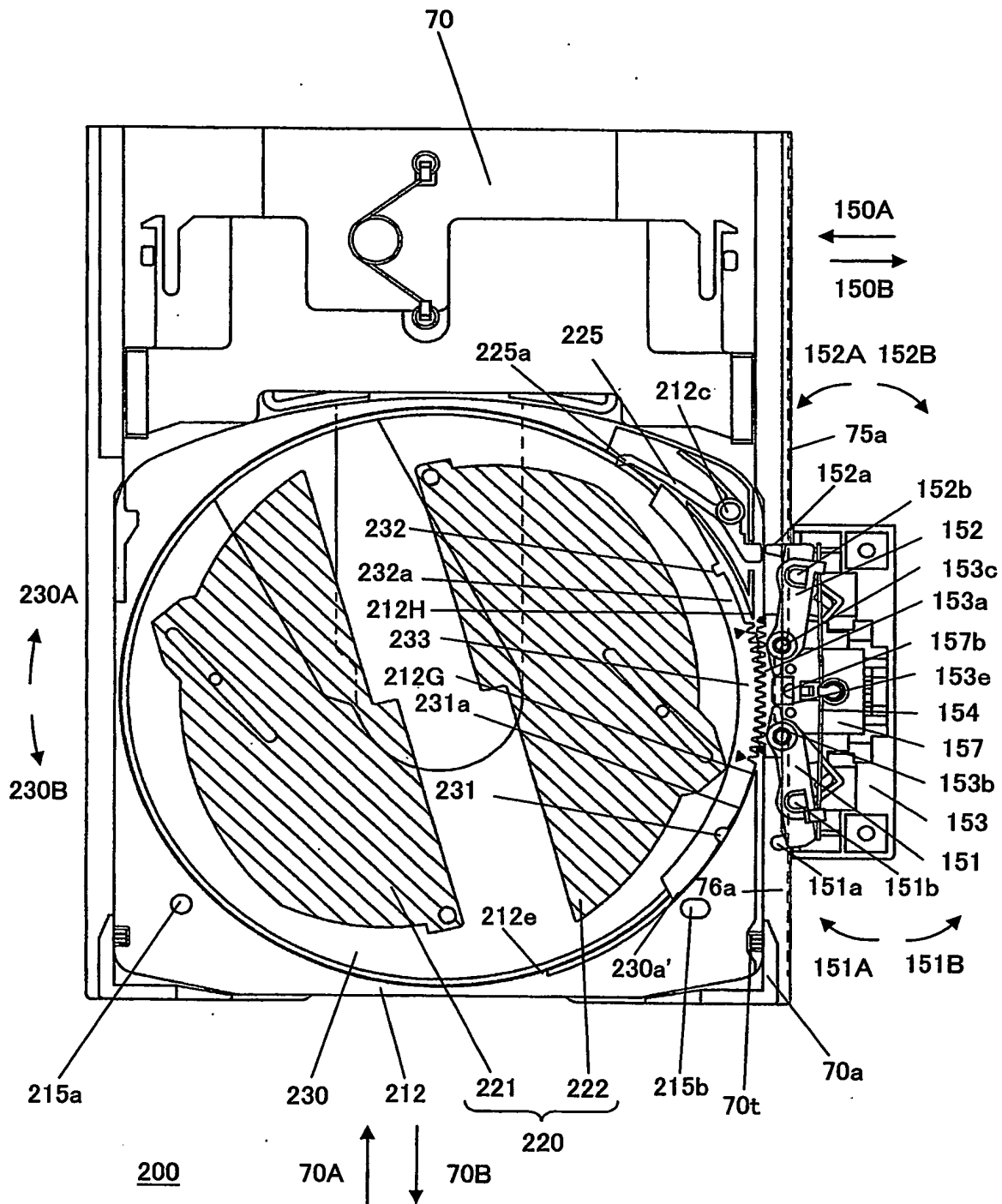


図37A



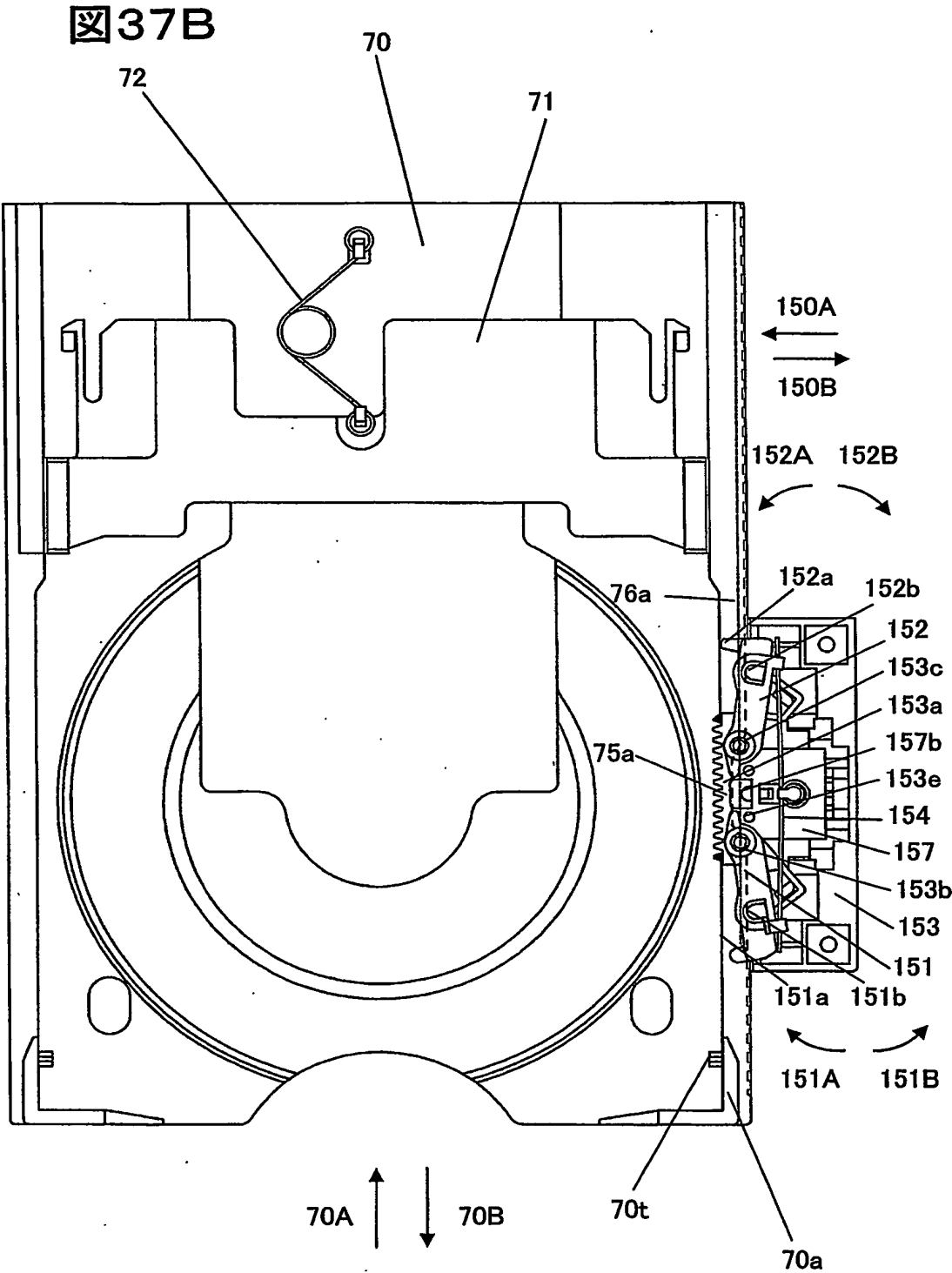


図38A

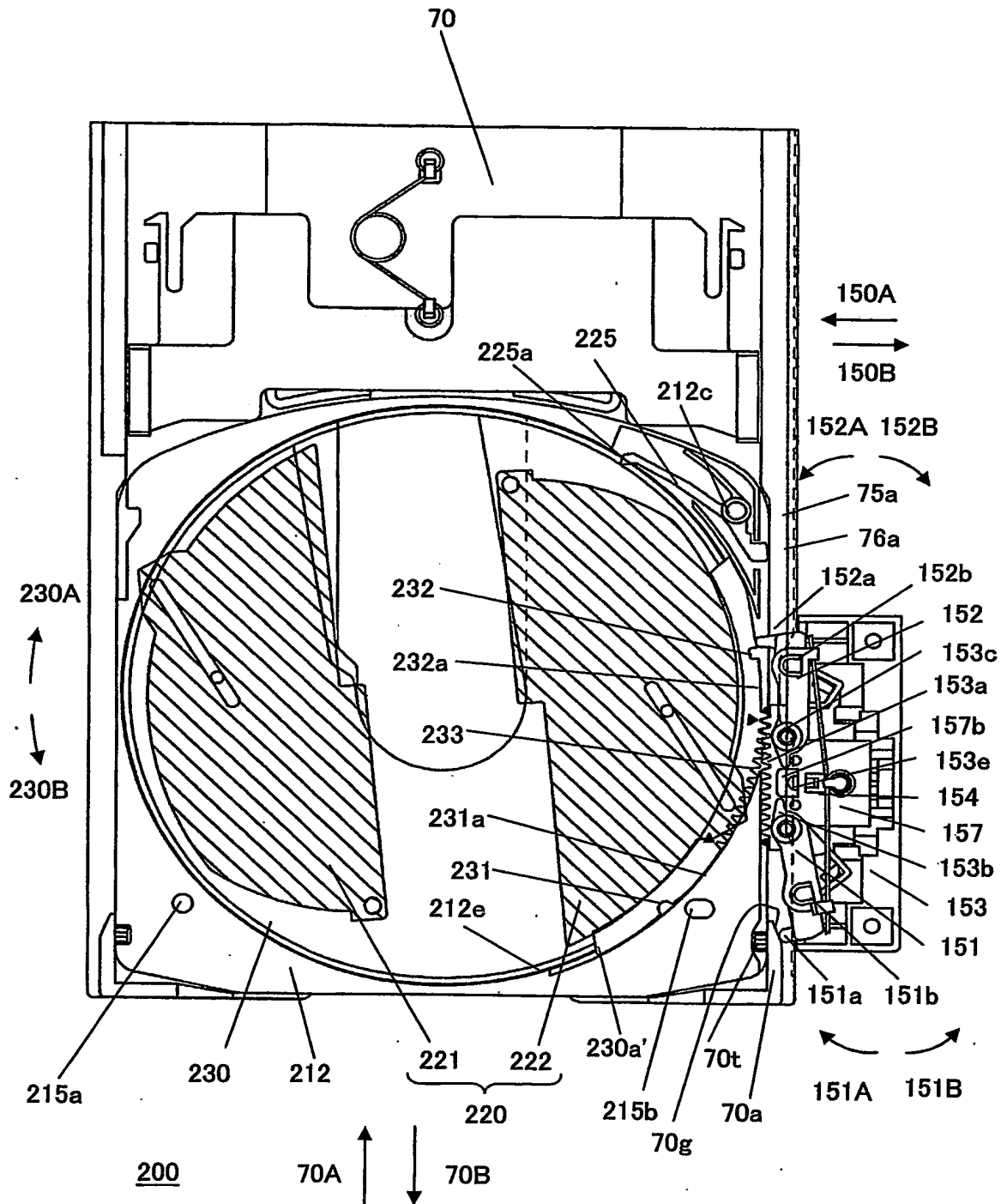


図38B

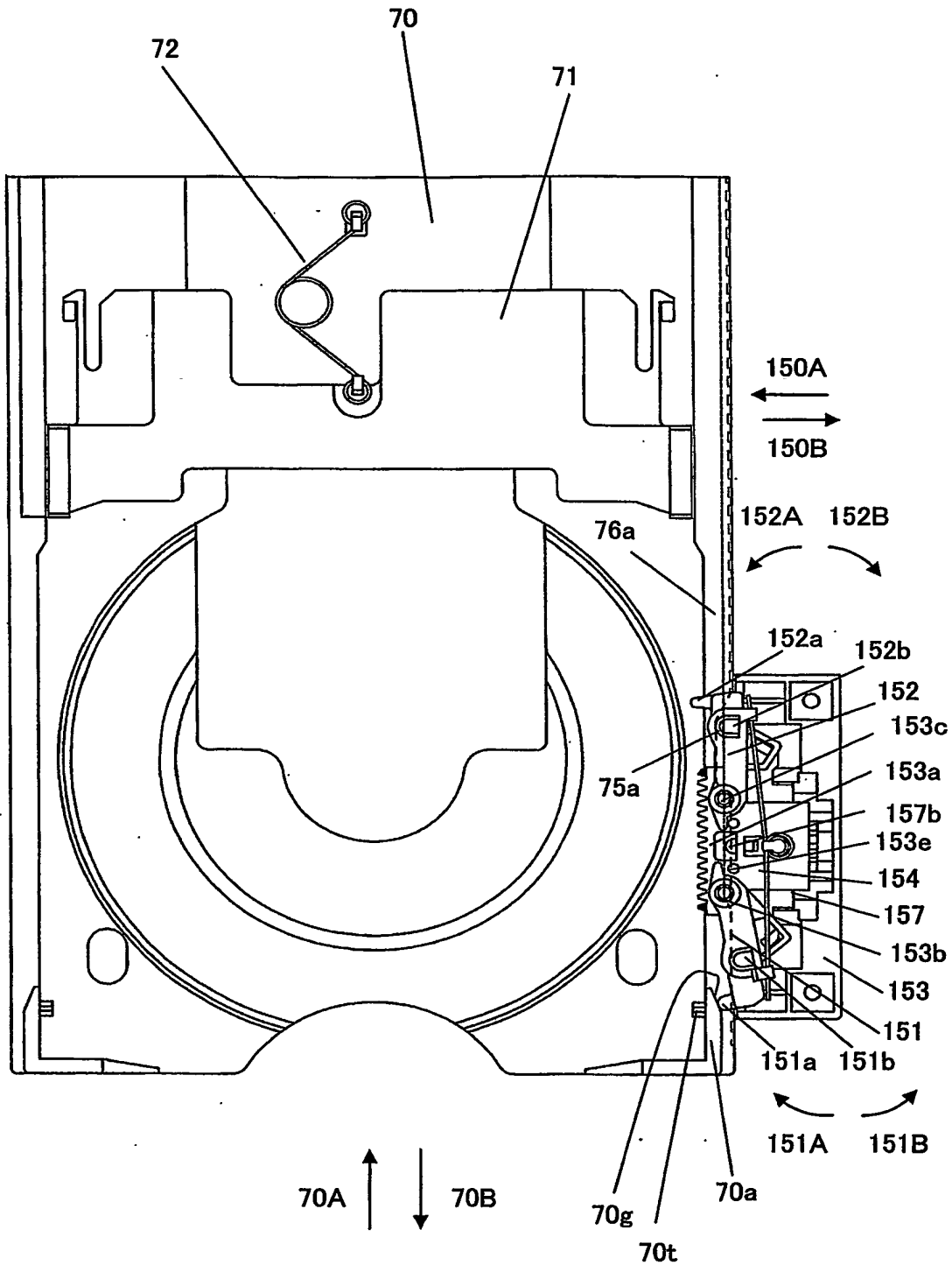


図39

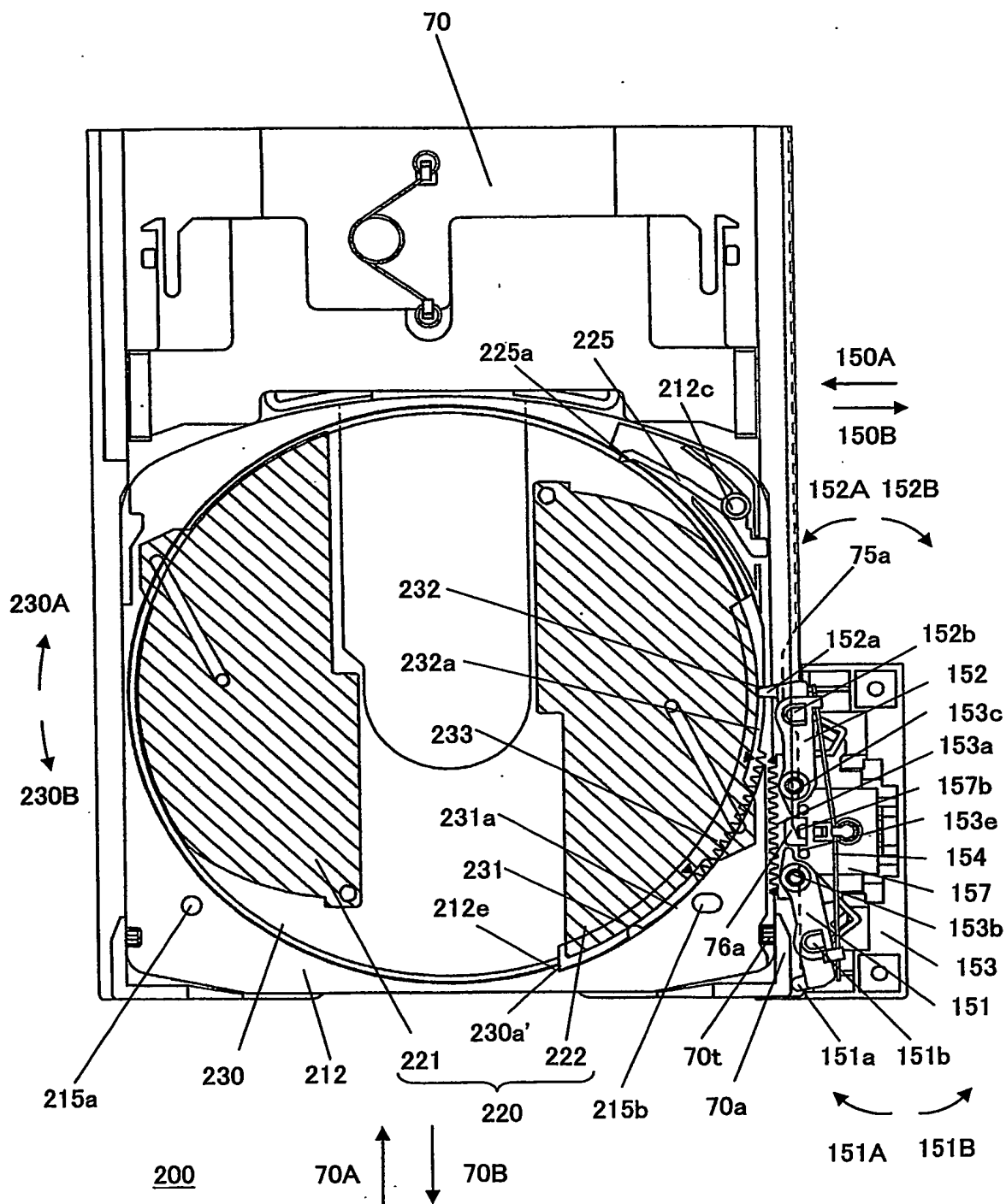
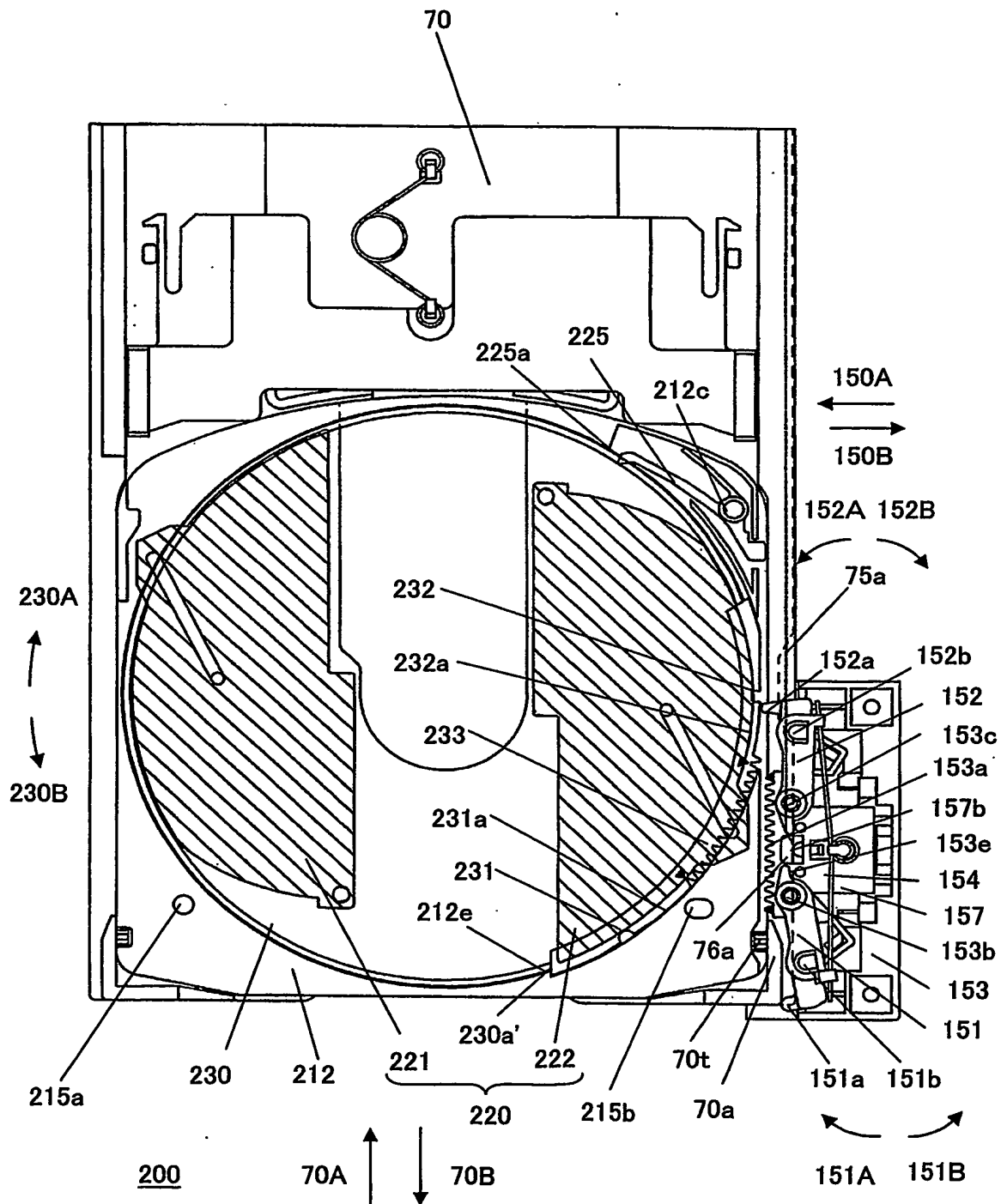


図40A



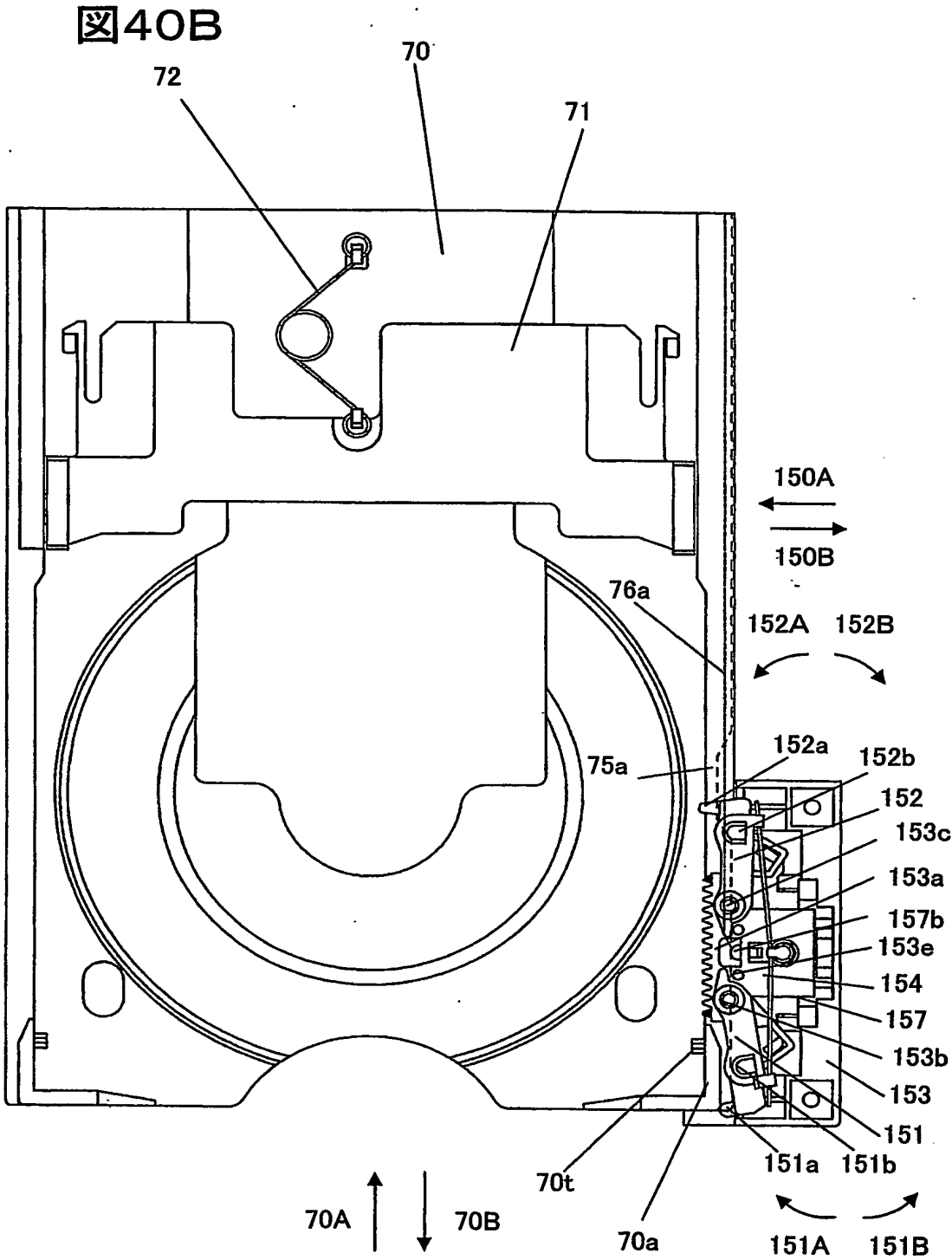


図41

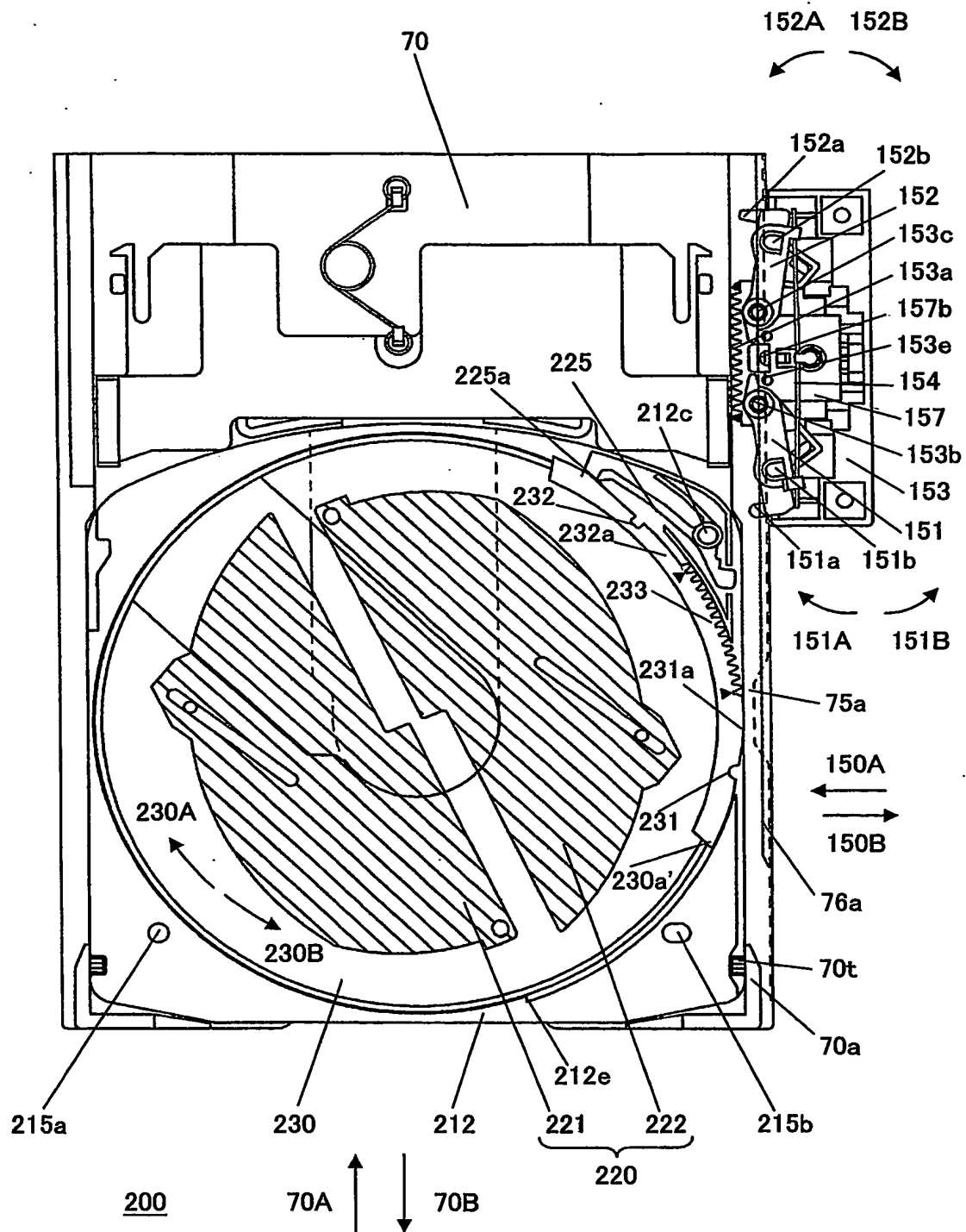


図43

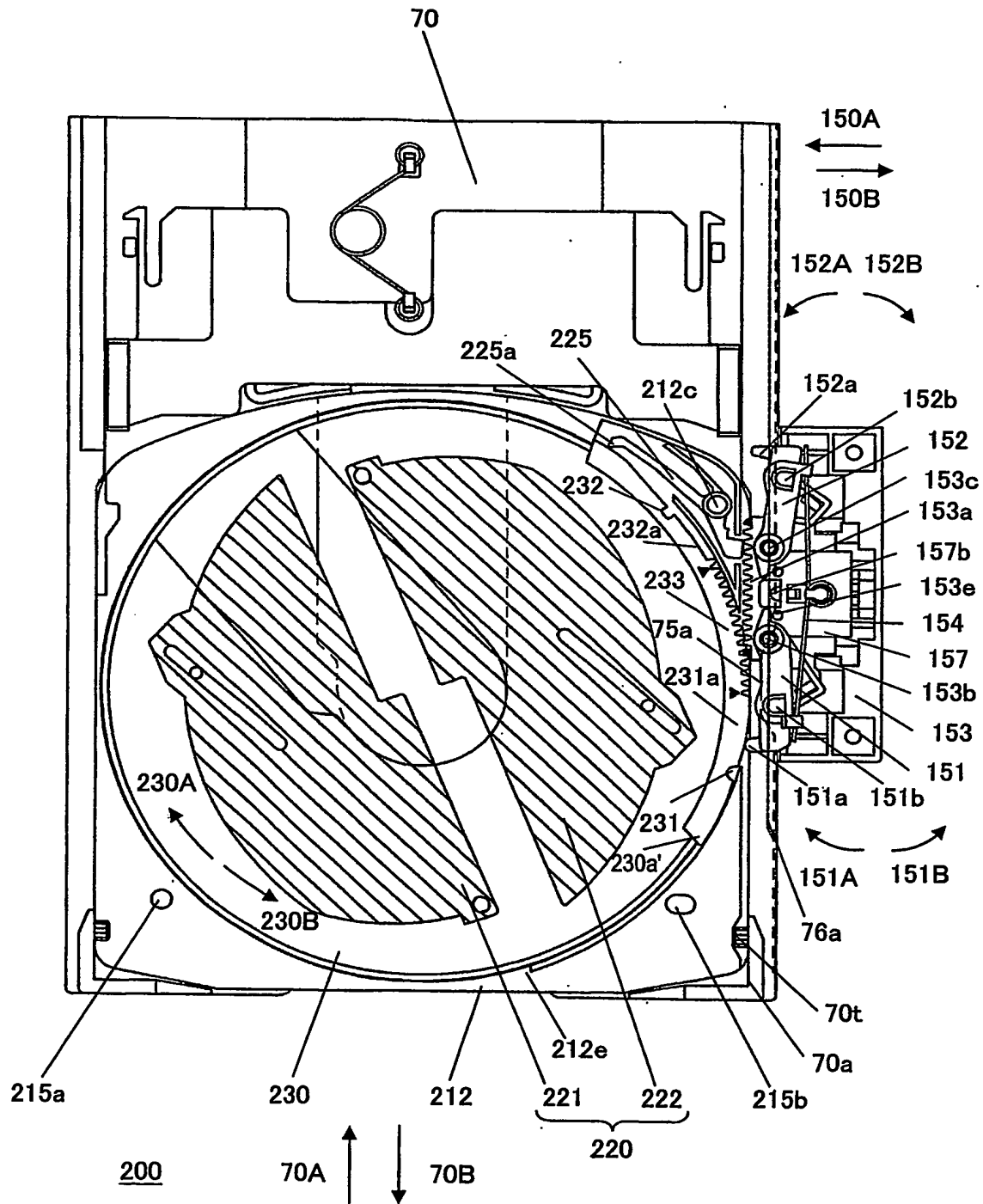


図44

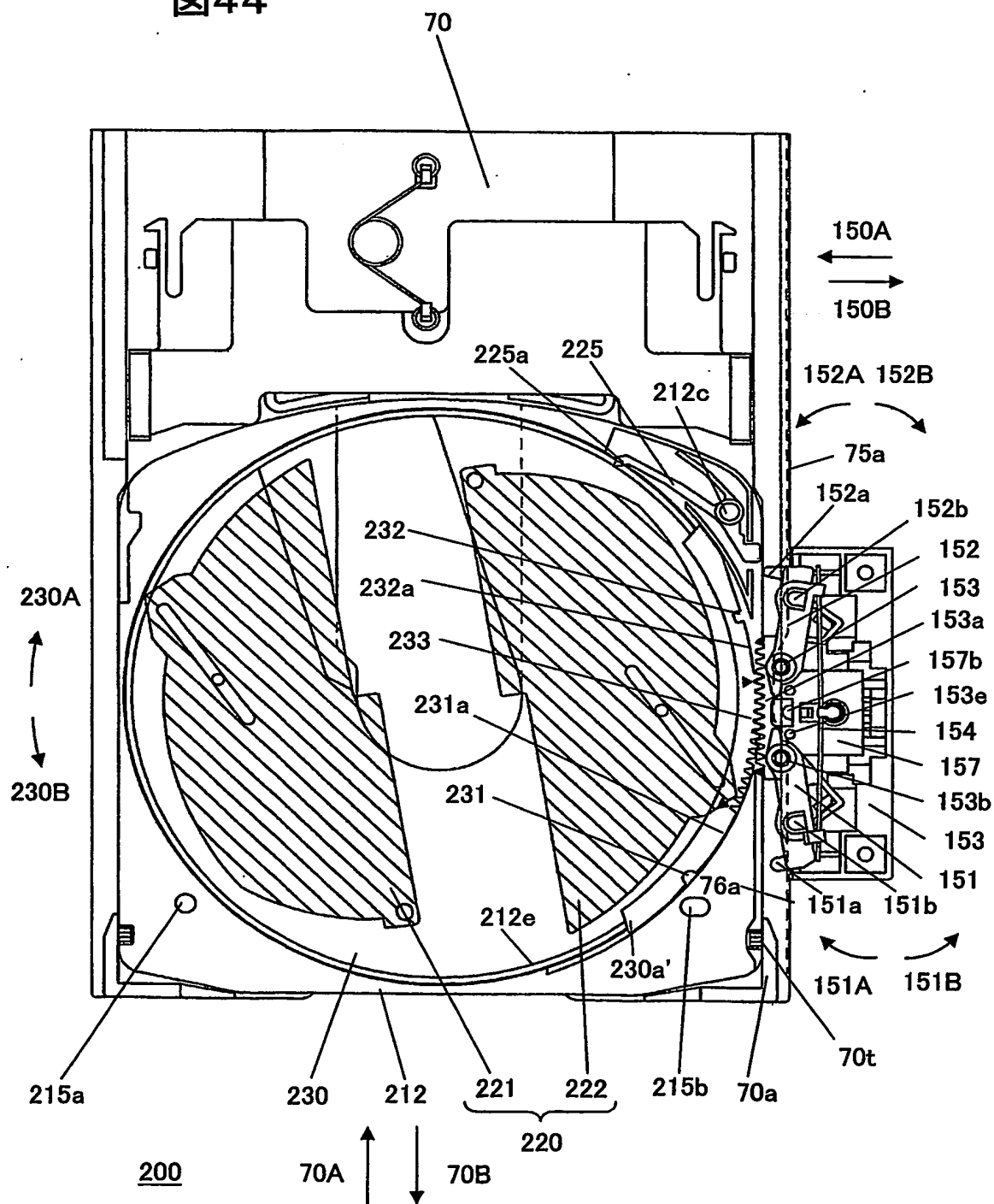


図45

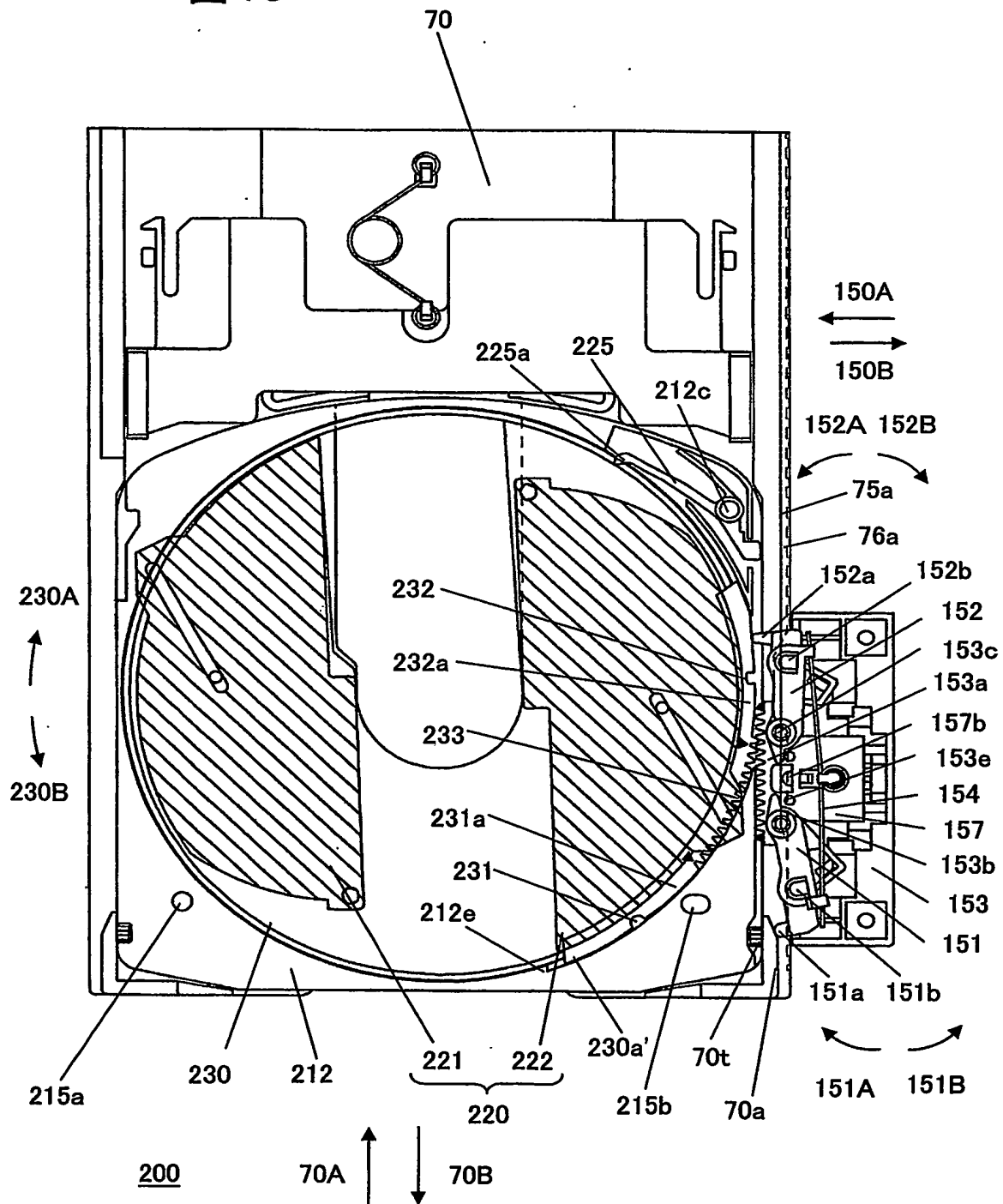


图 46

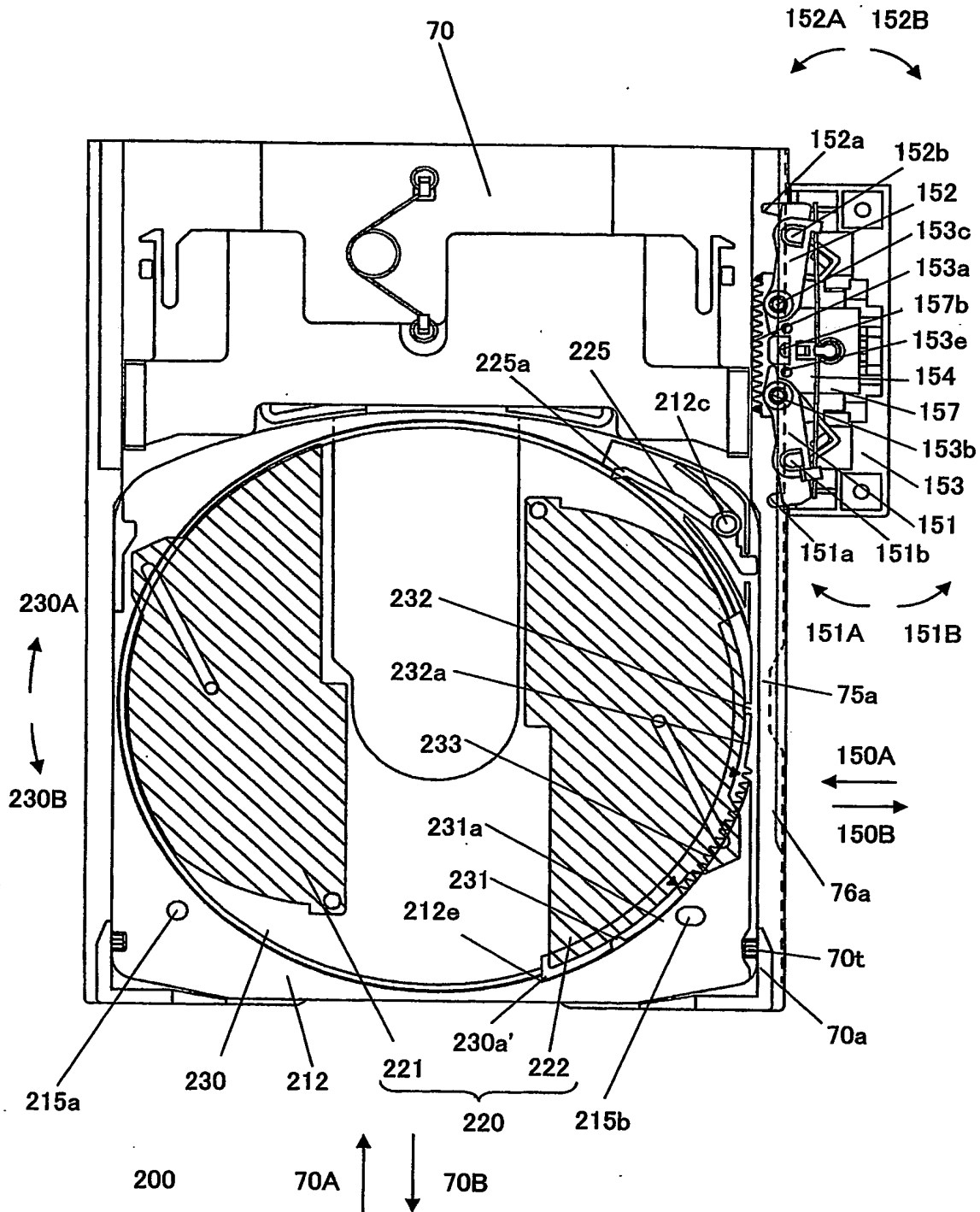


図47

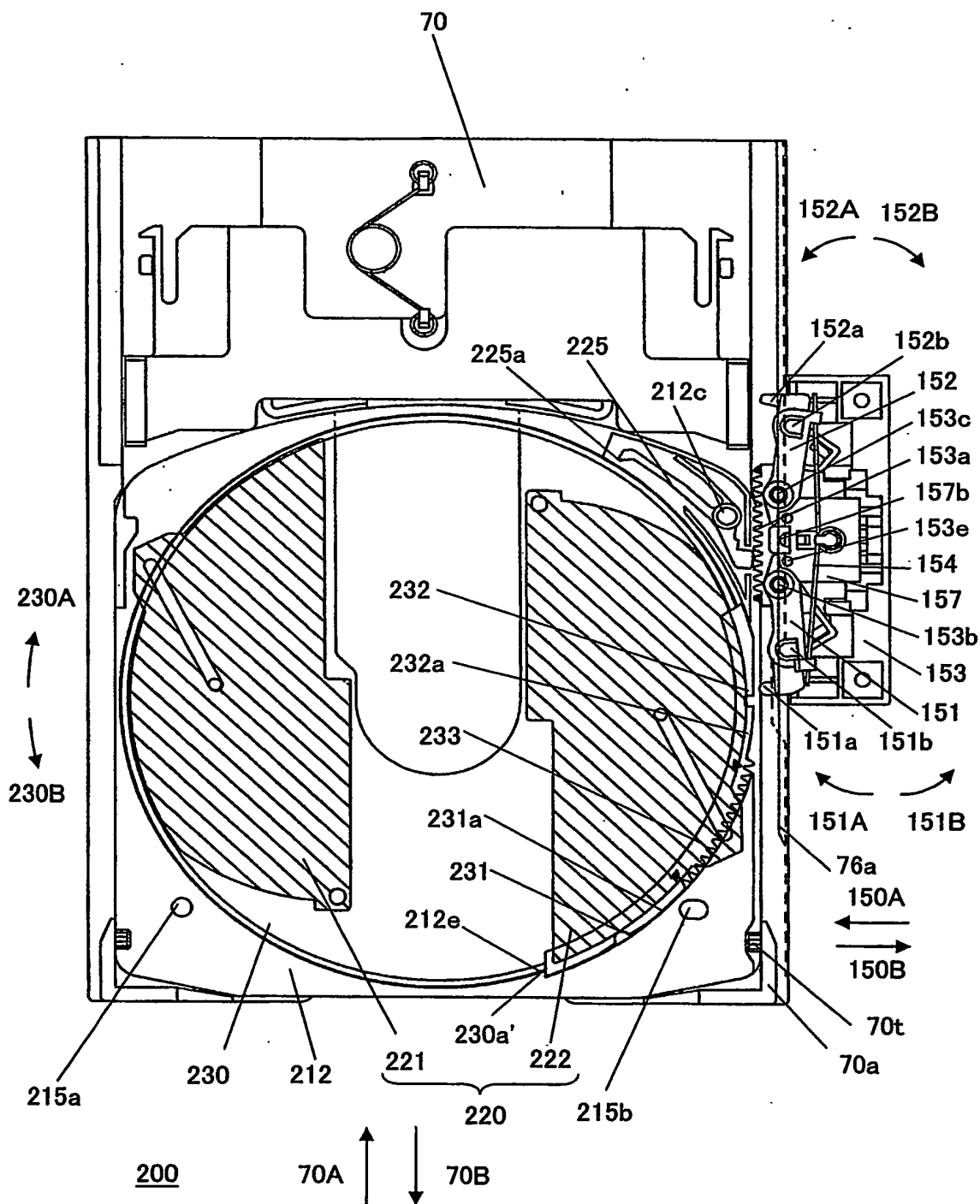


图 48

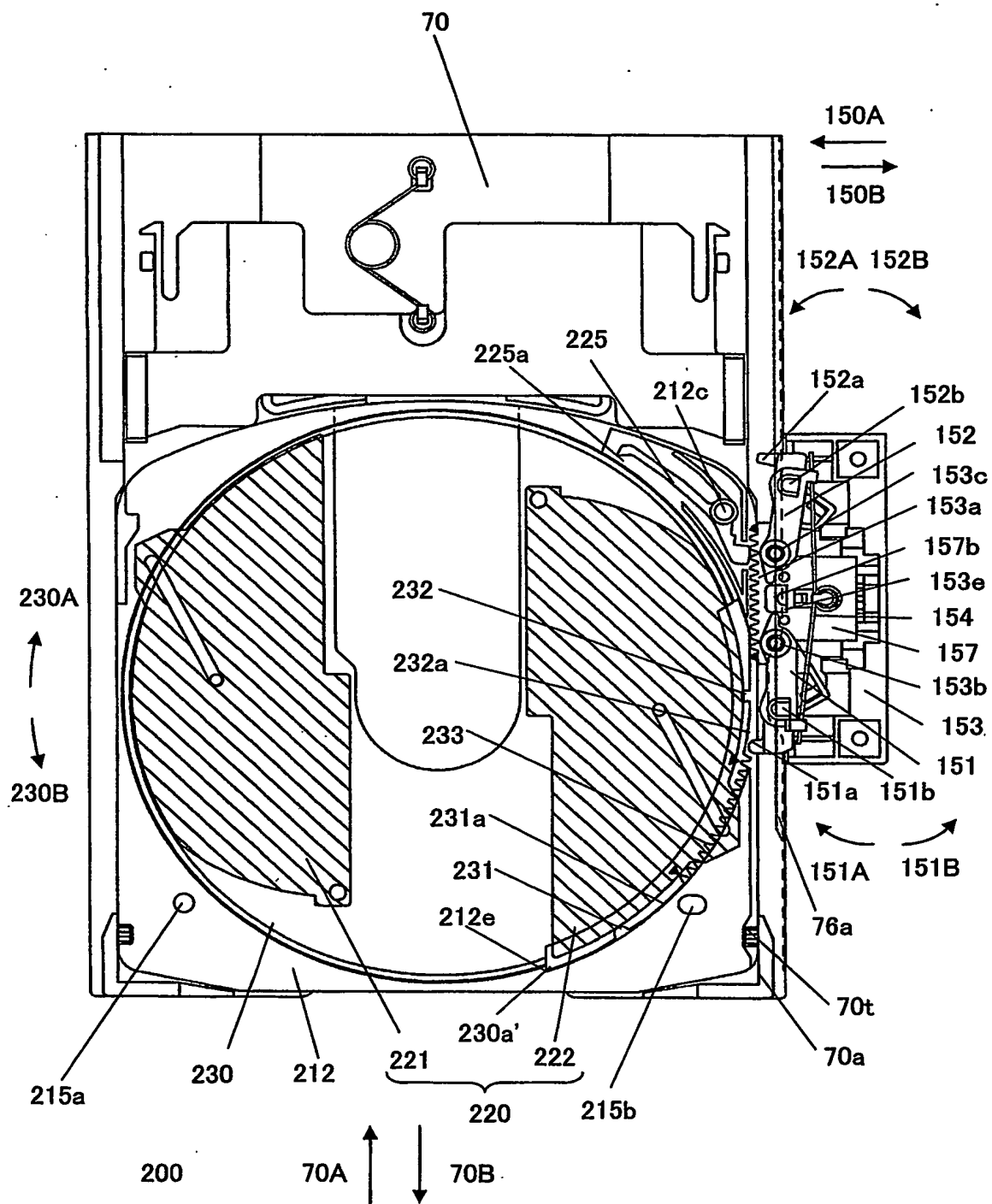


図49

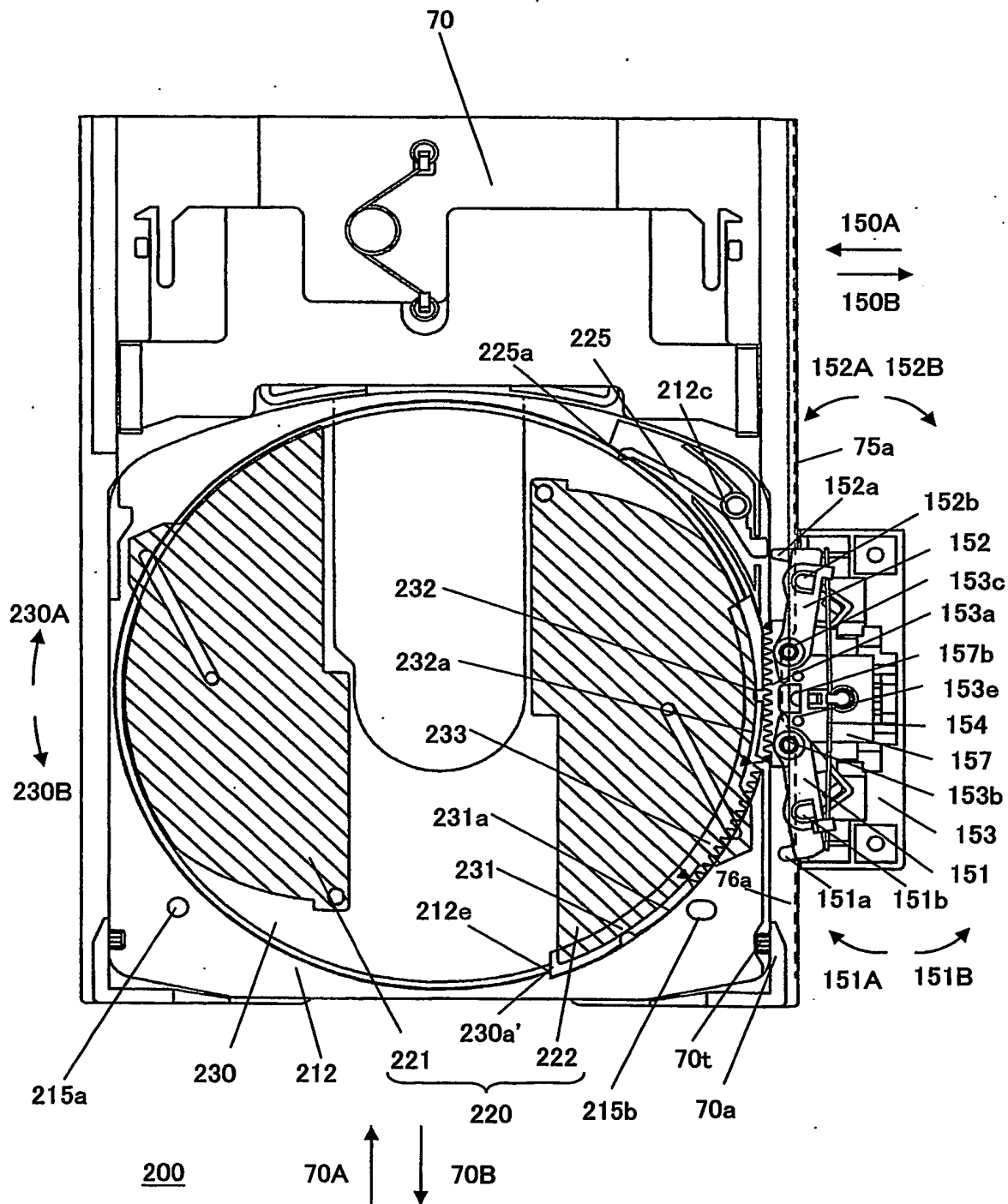


図50

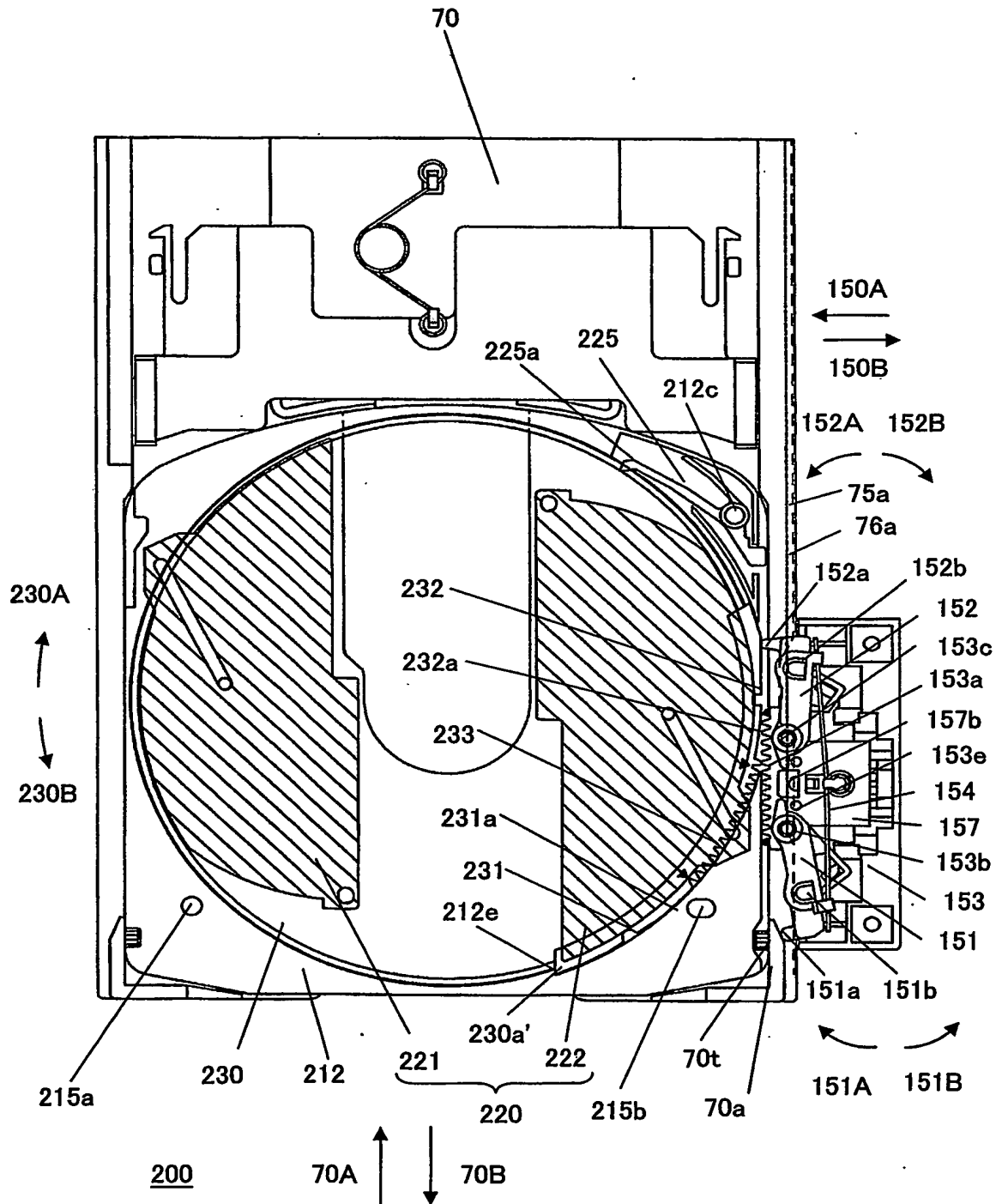


图51

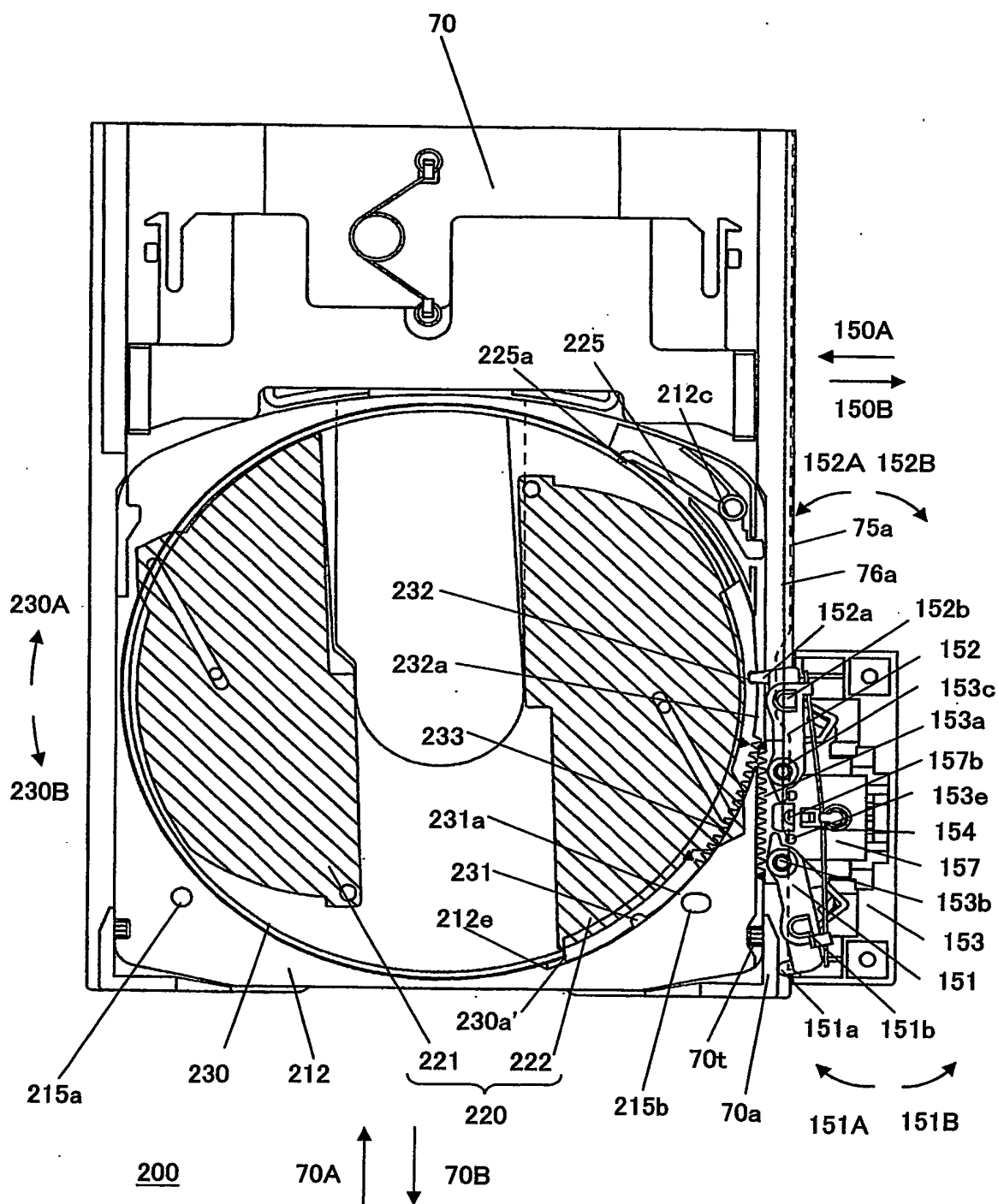


图52

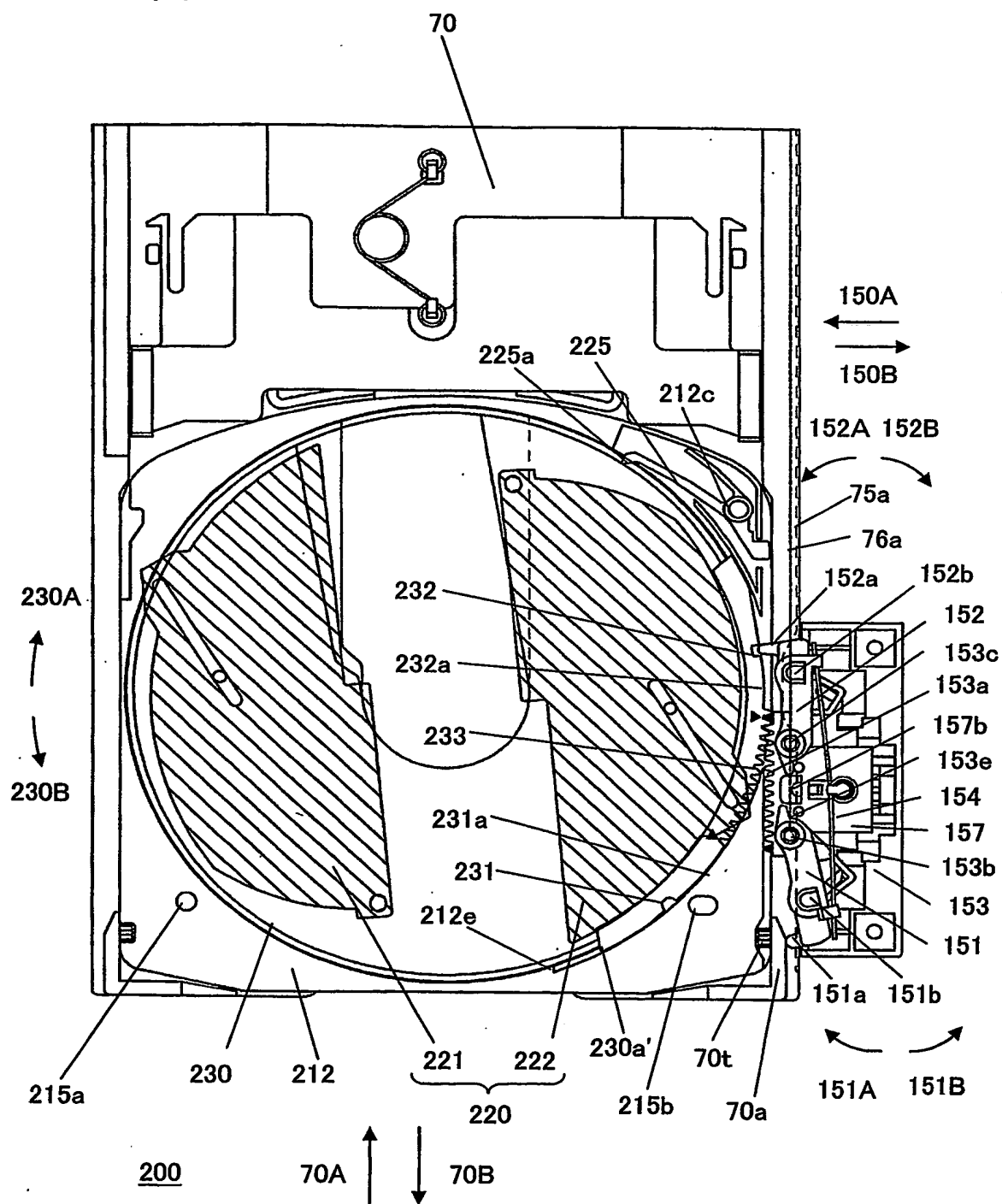


図53

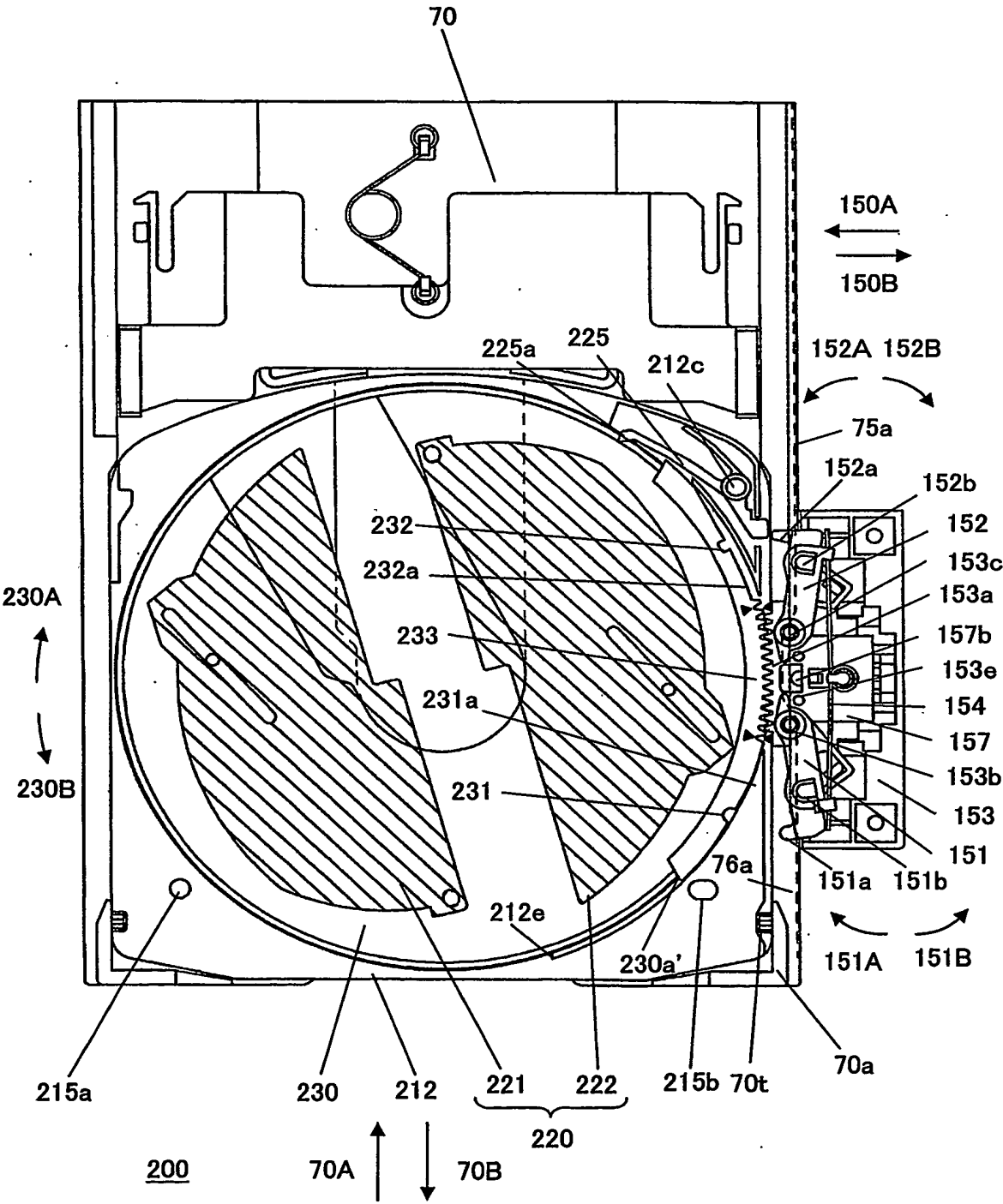


图54

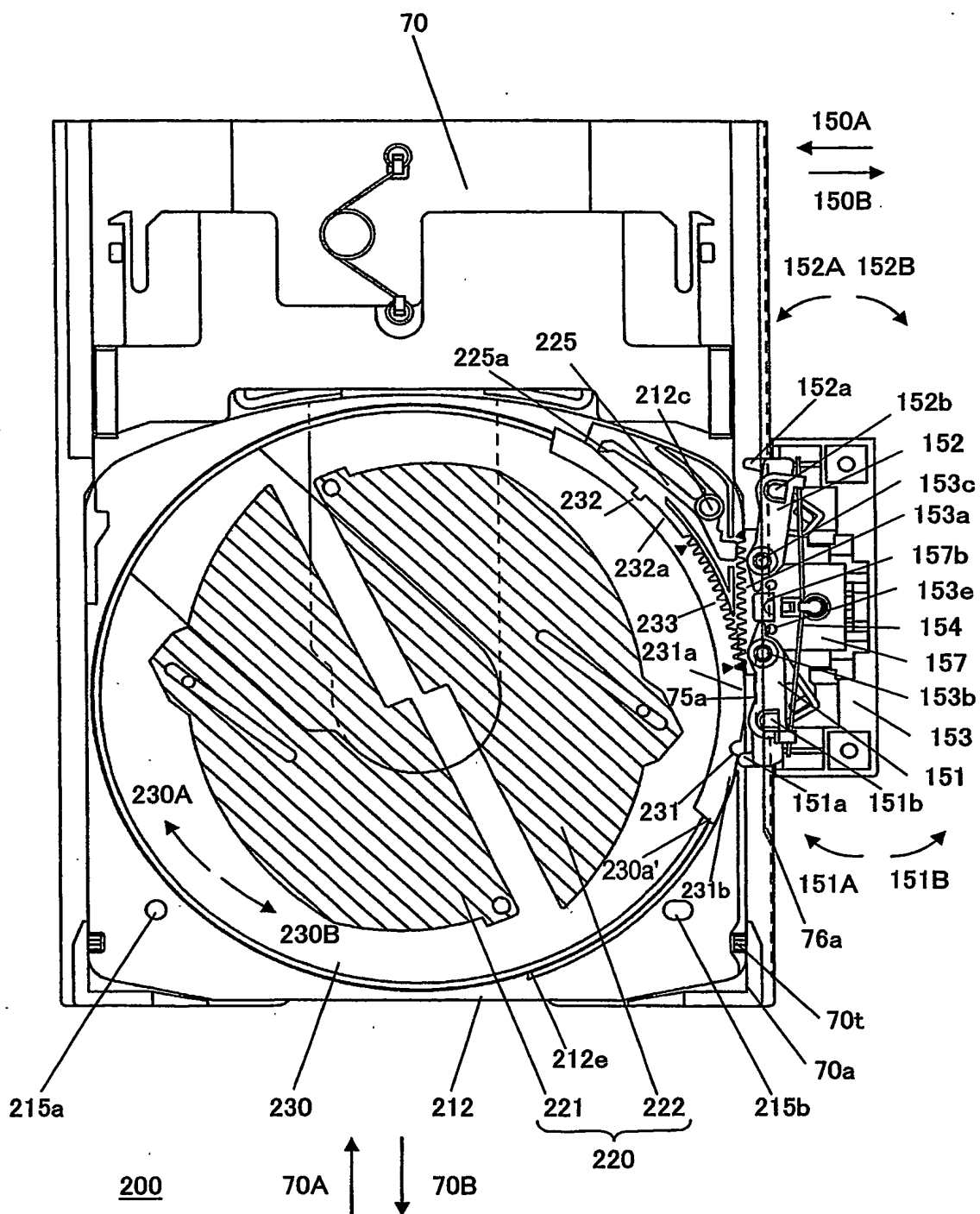


図55

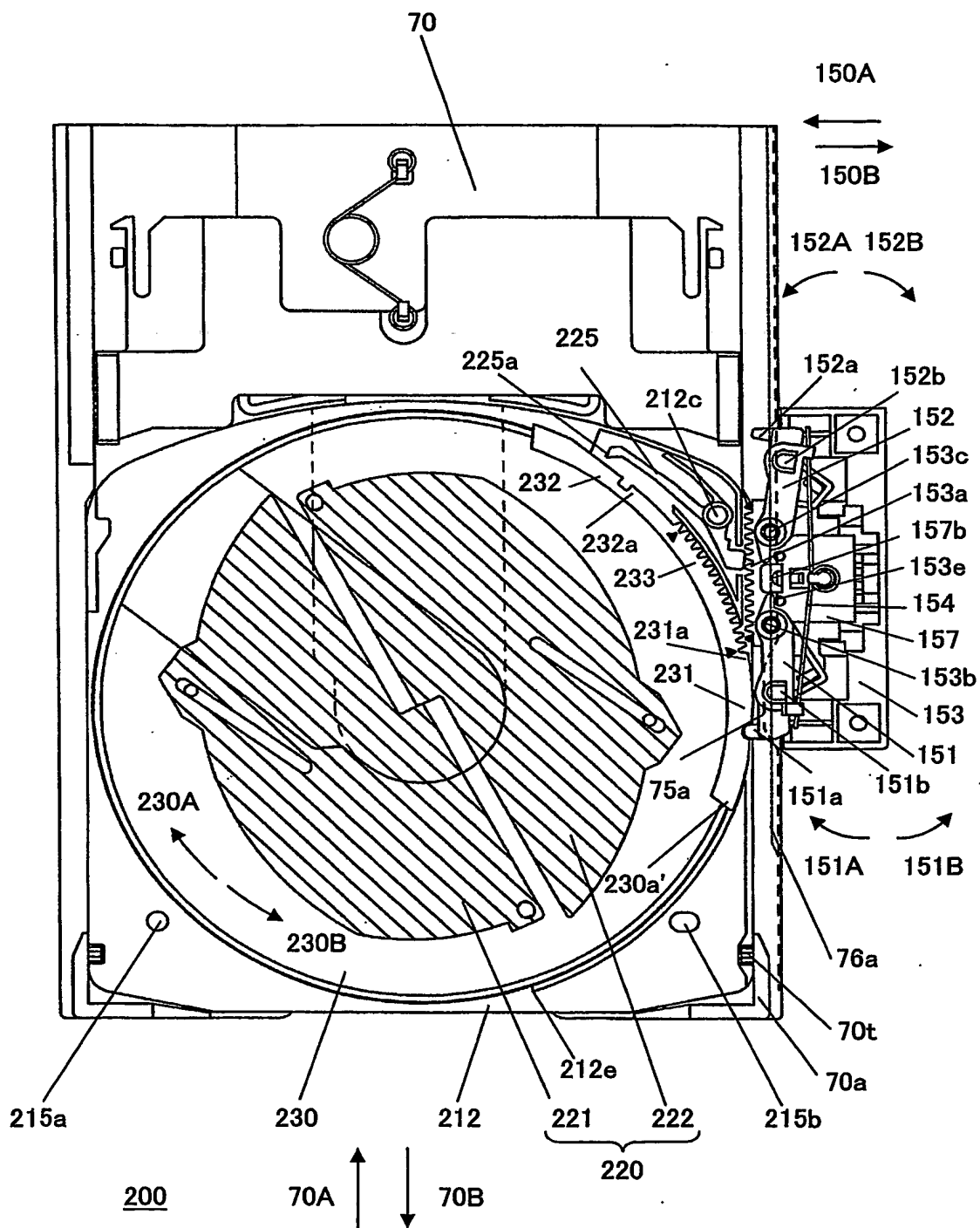


図56

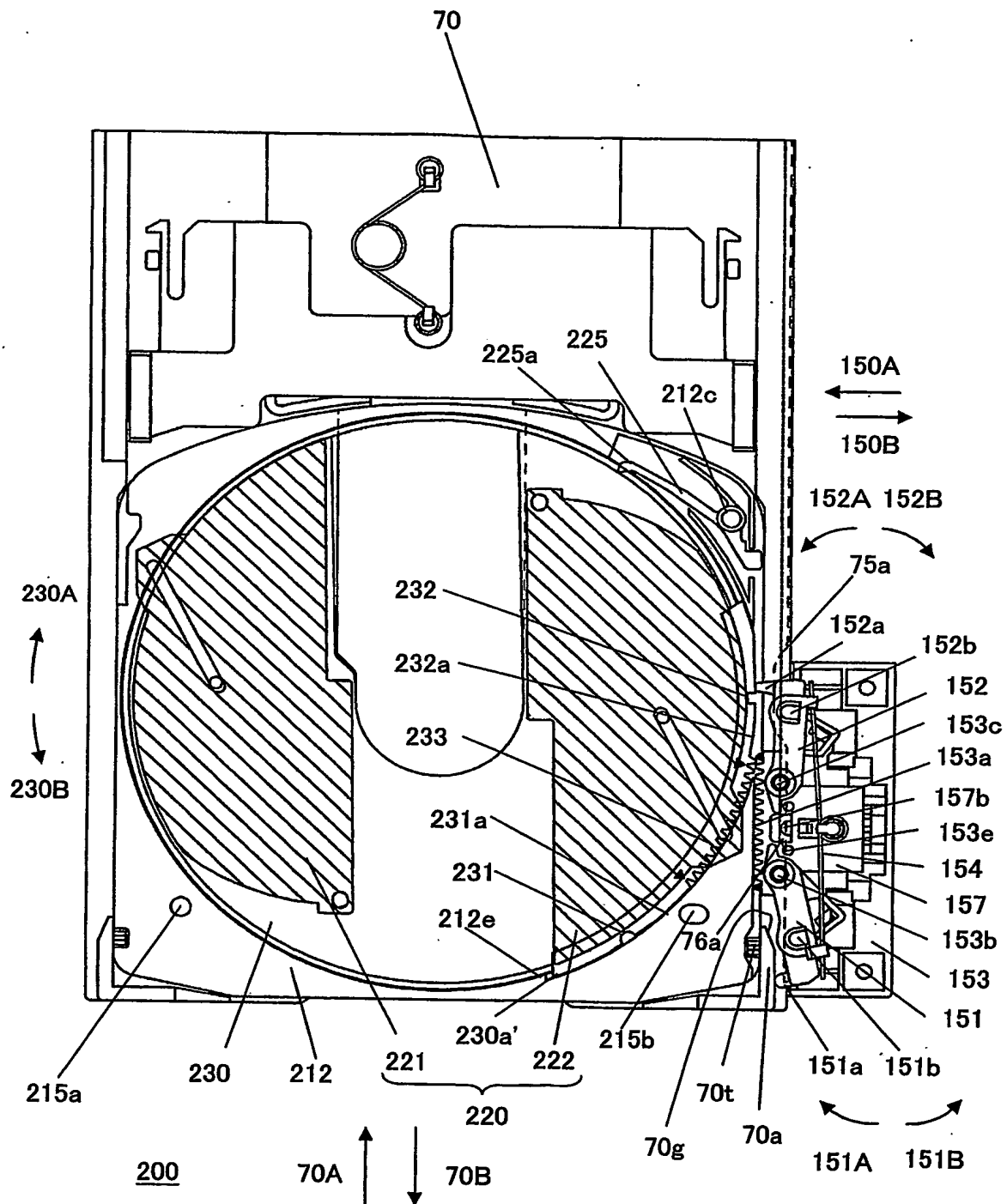


図57

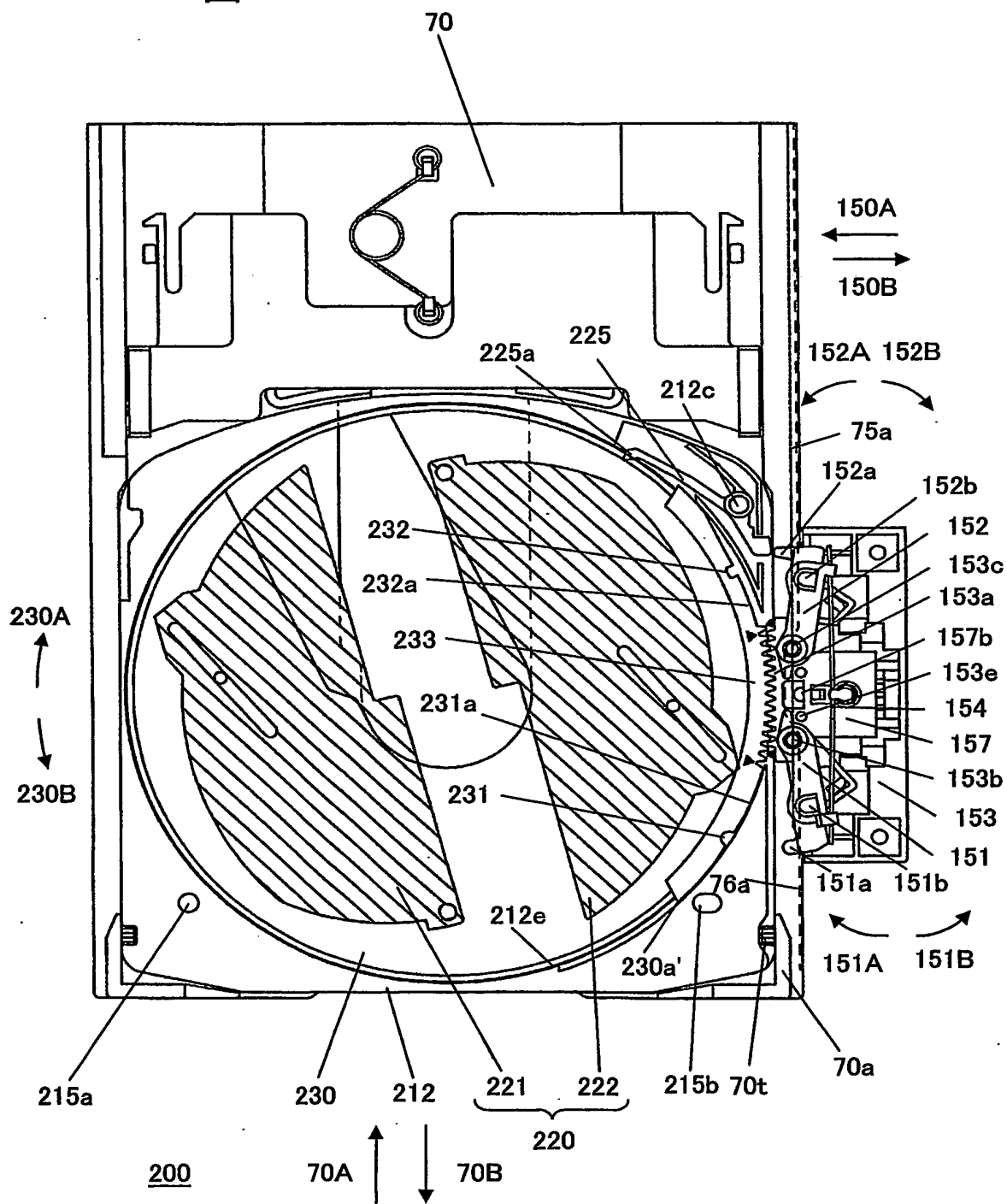


図59

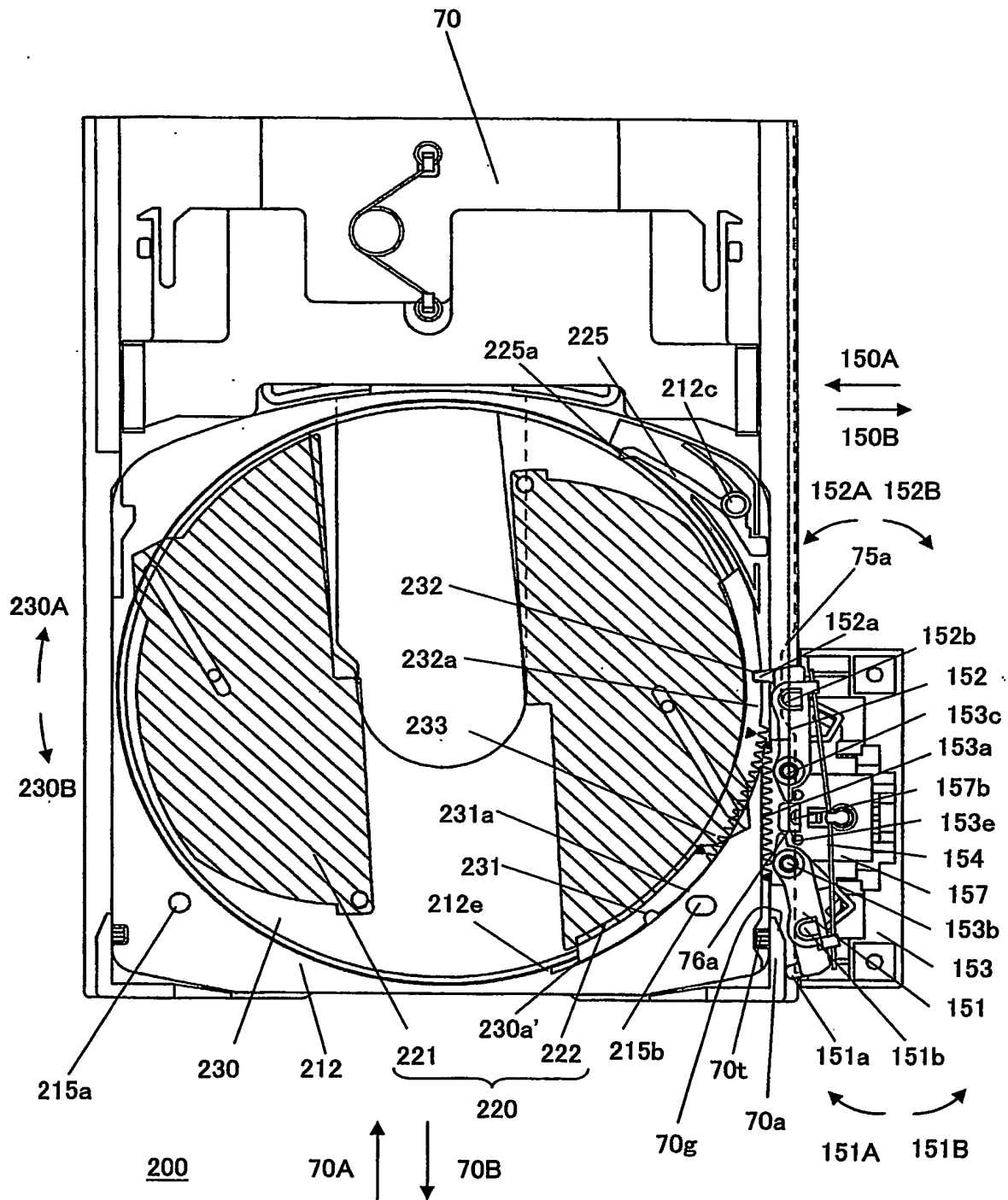


図60

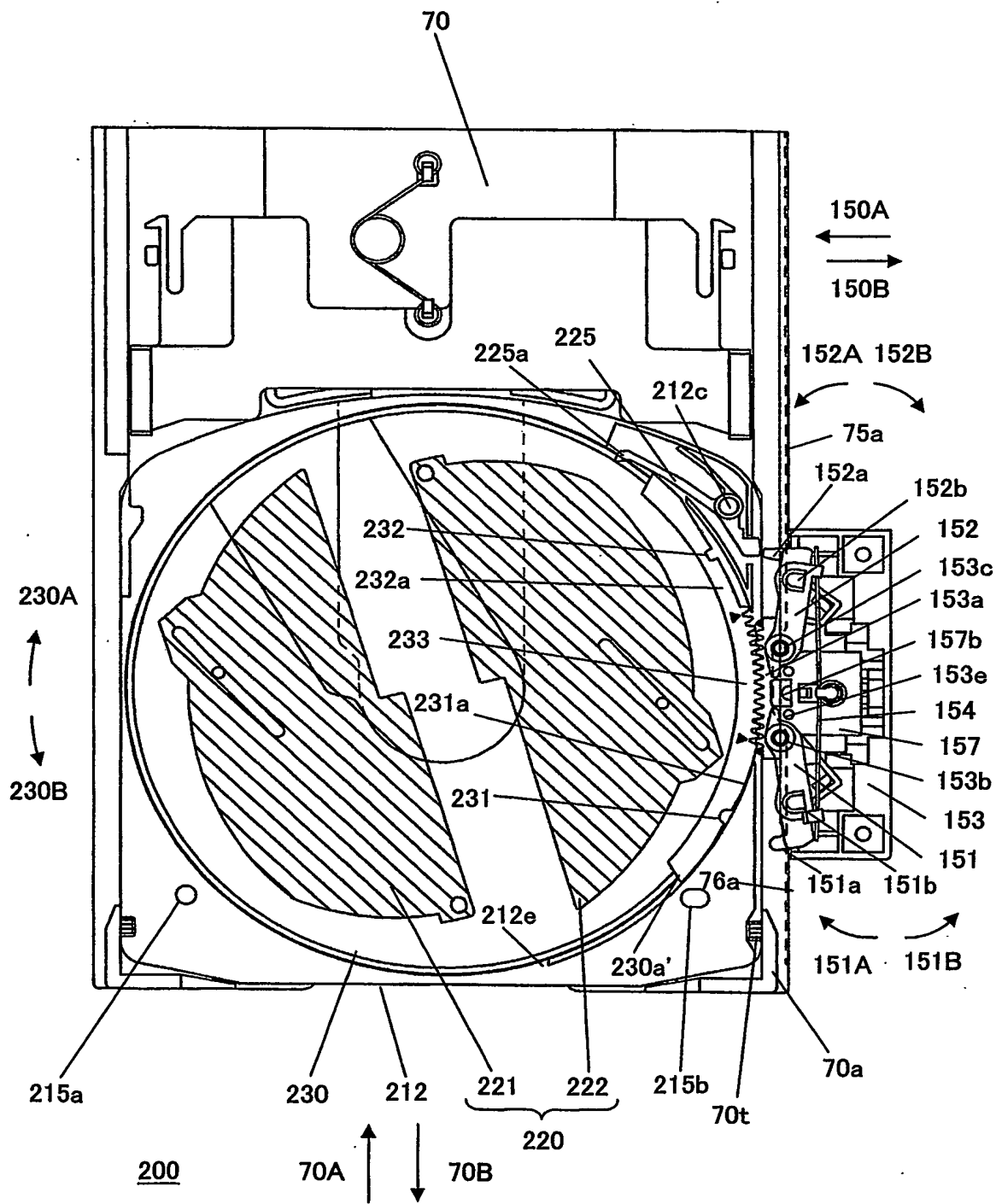


図61

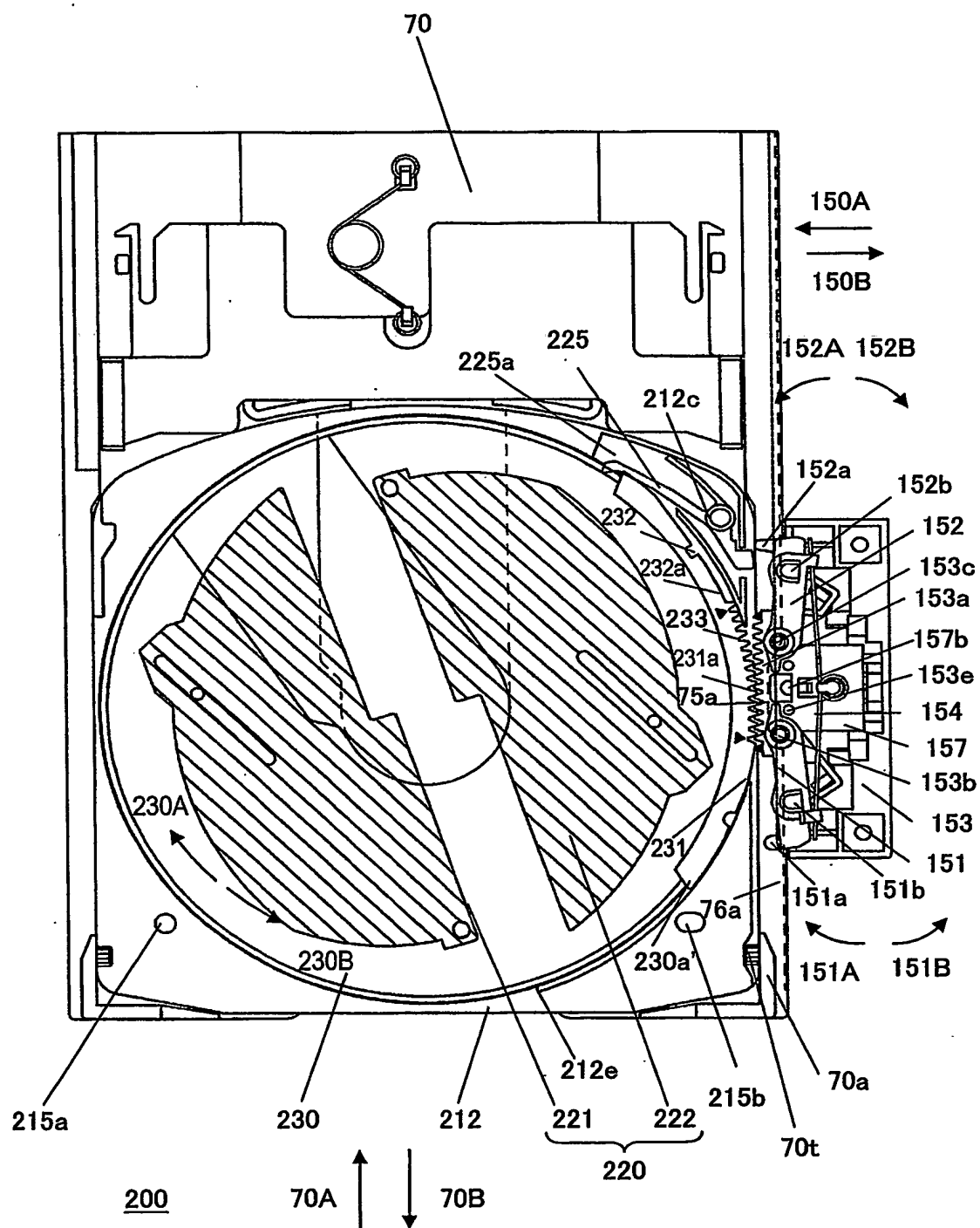


図62A

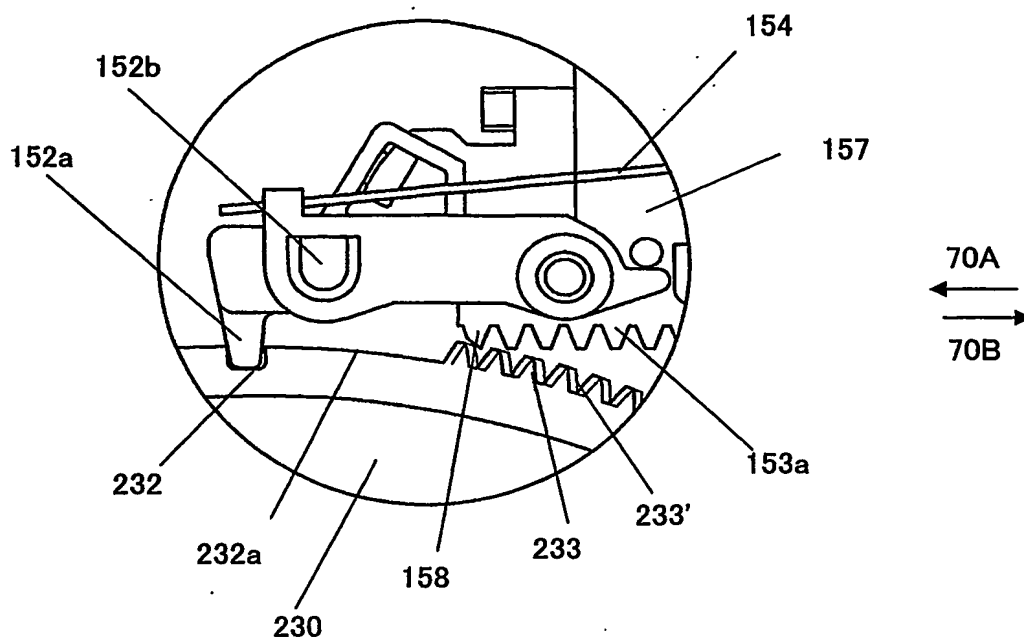


図62B

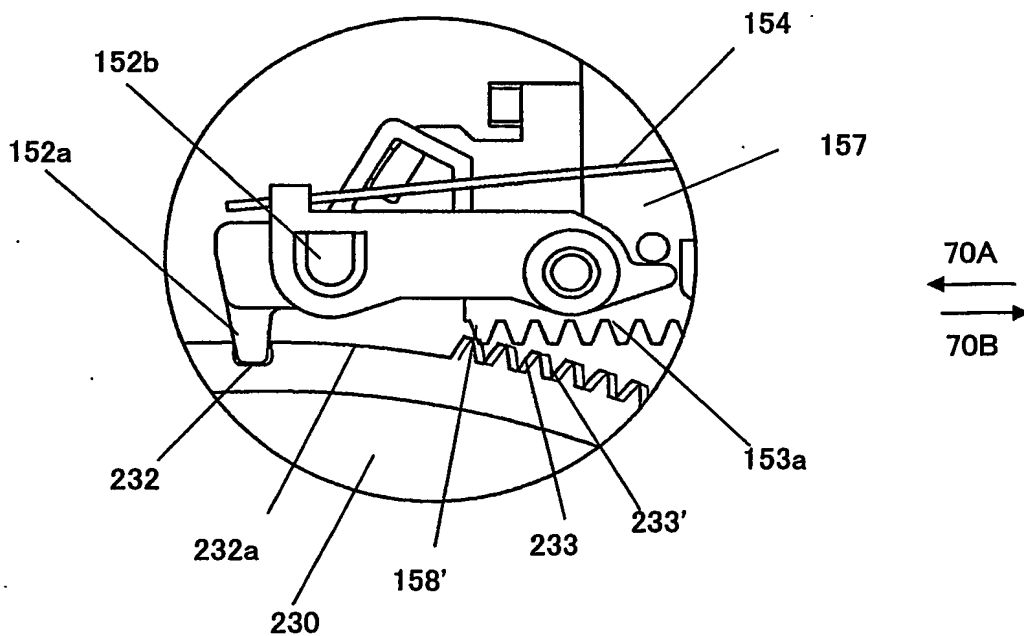


図63

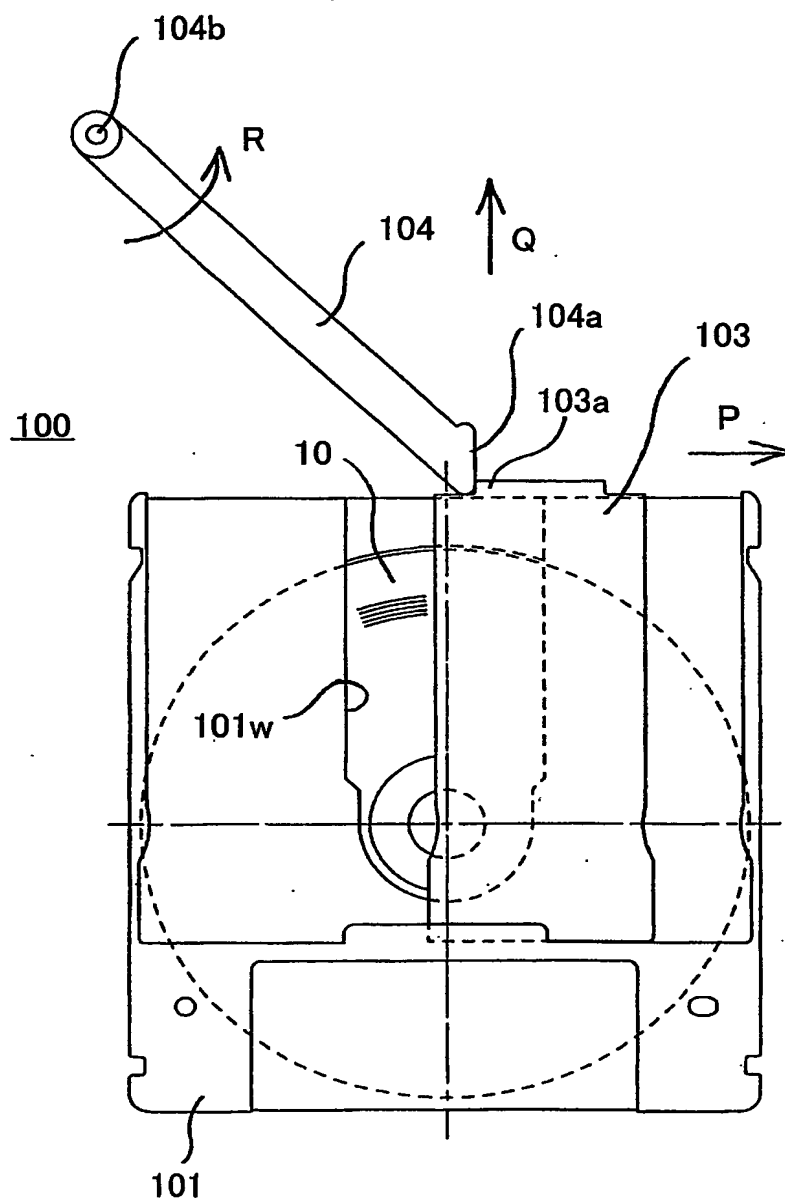


図64

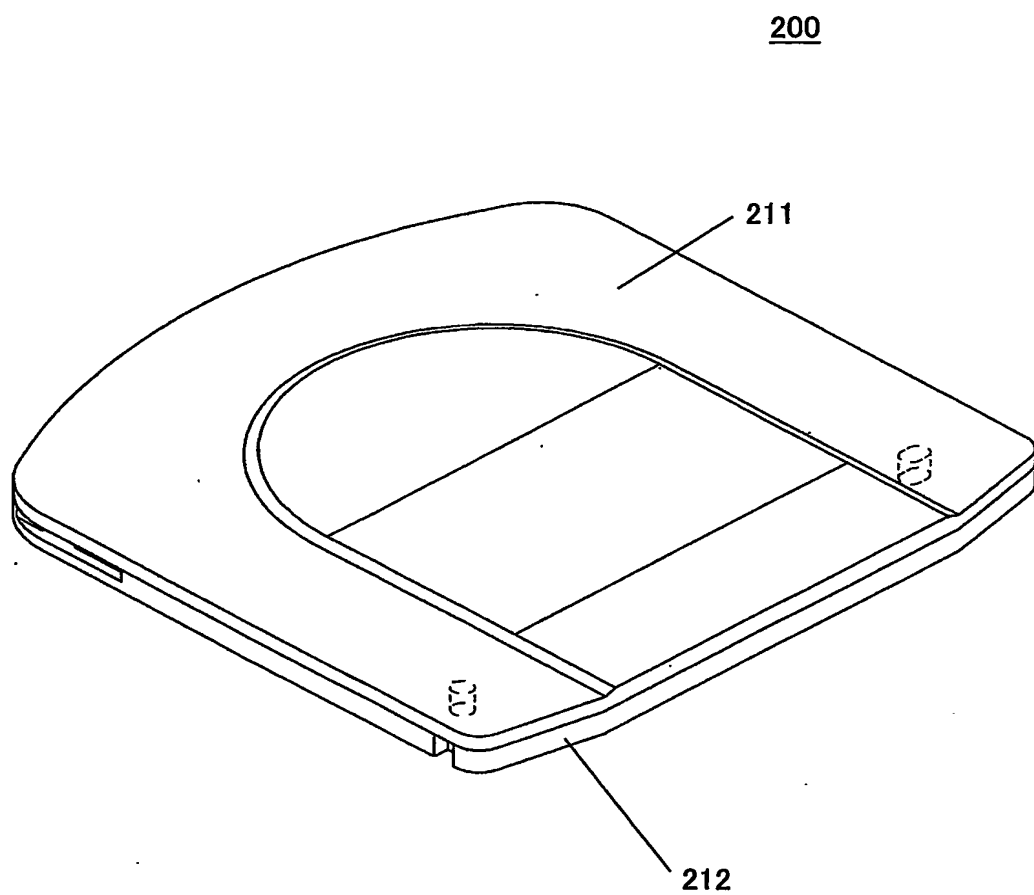


図 65

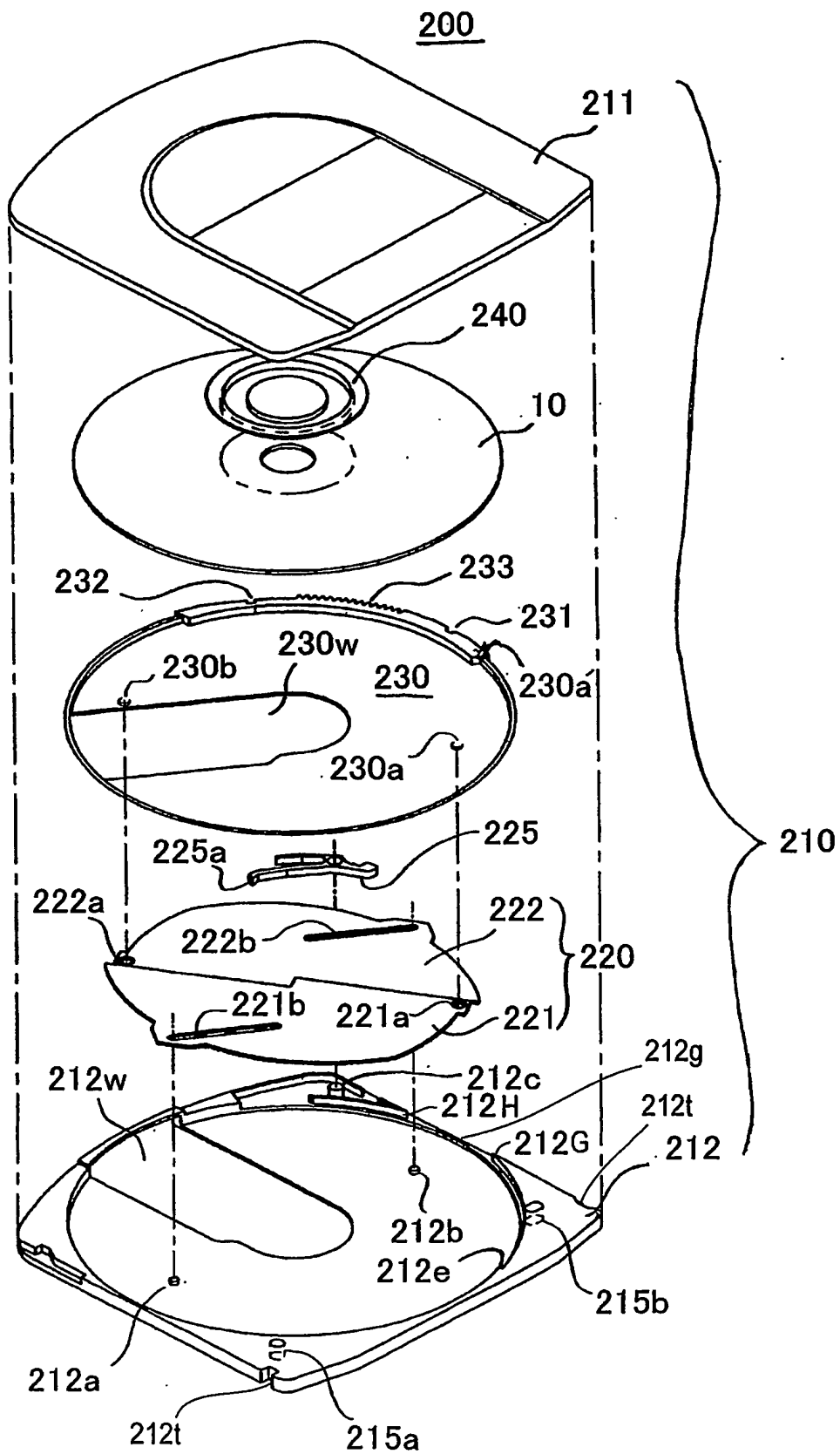


図66

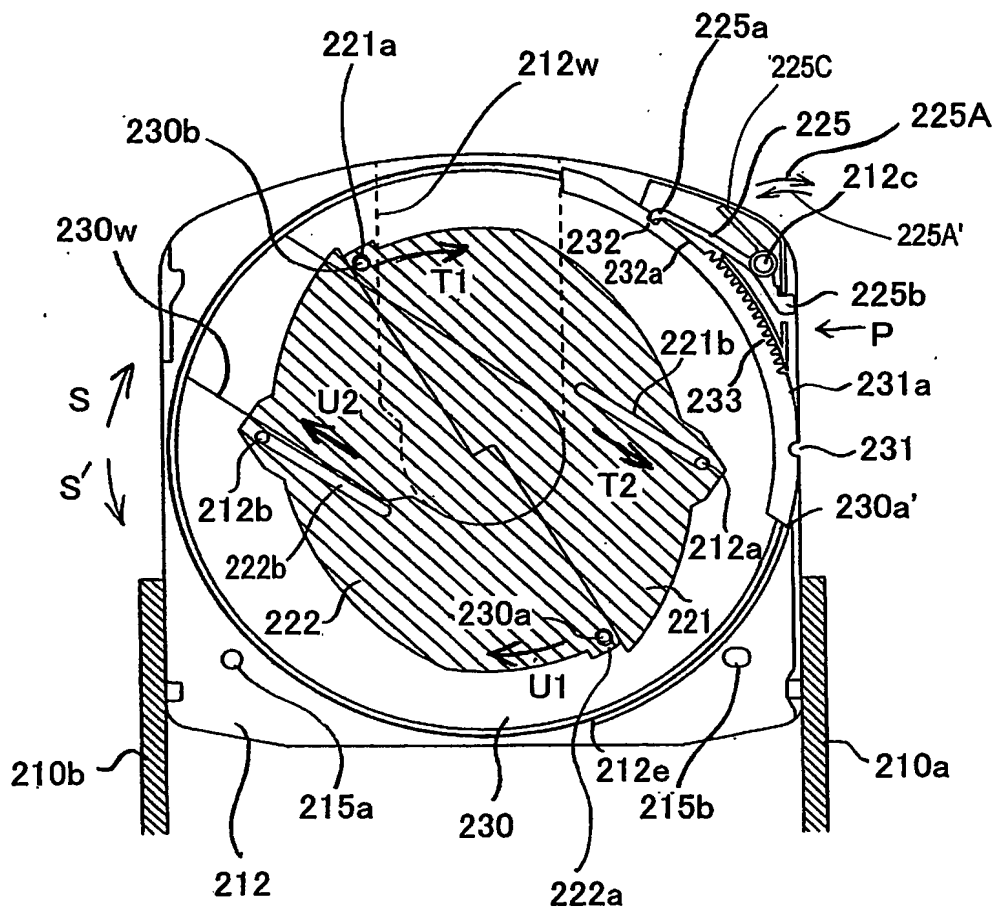


図68

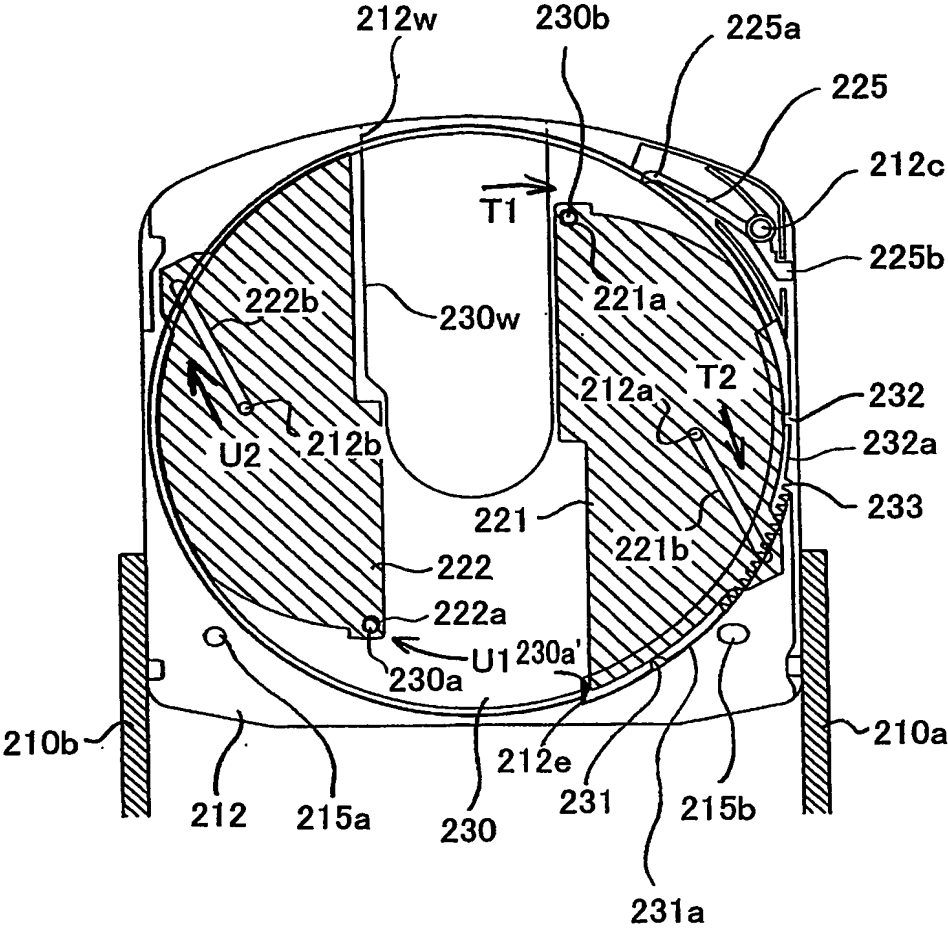


图69

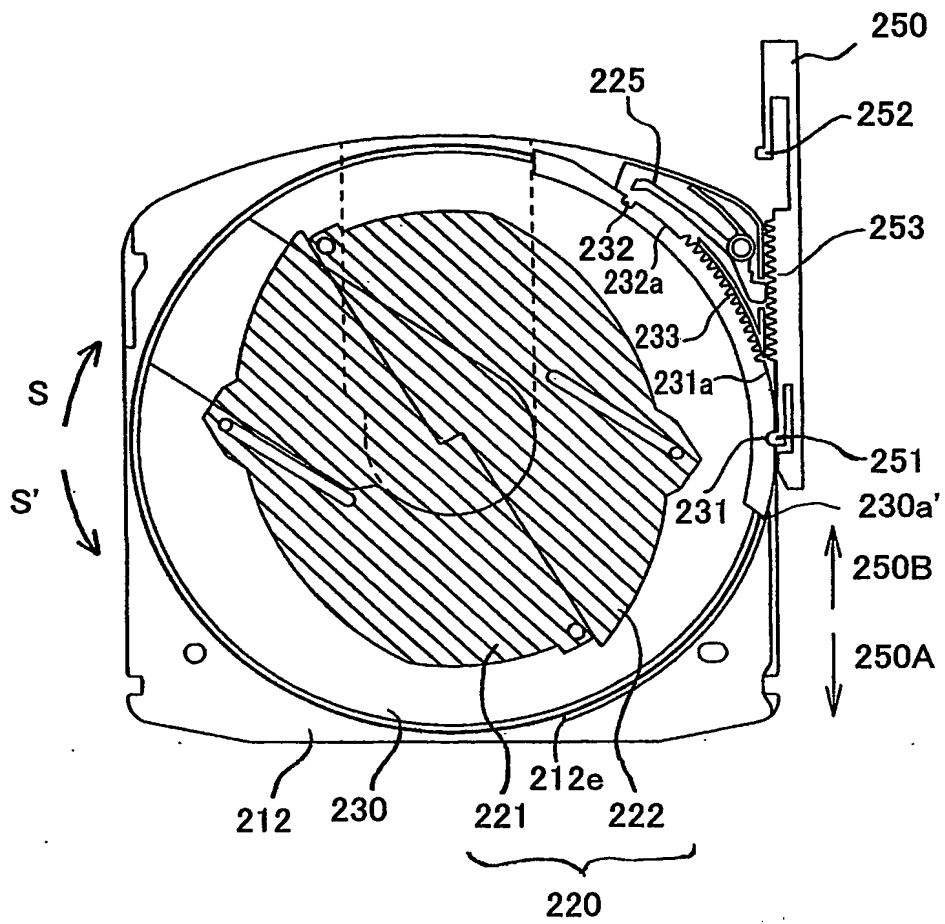


図 71

300

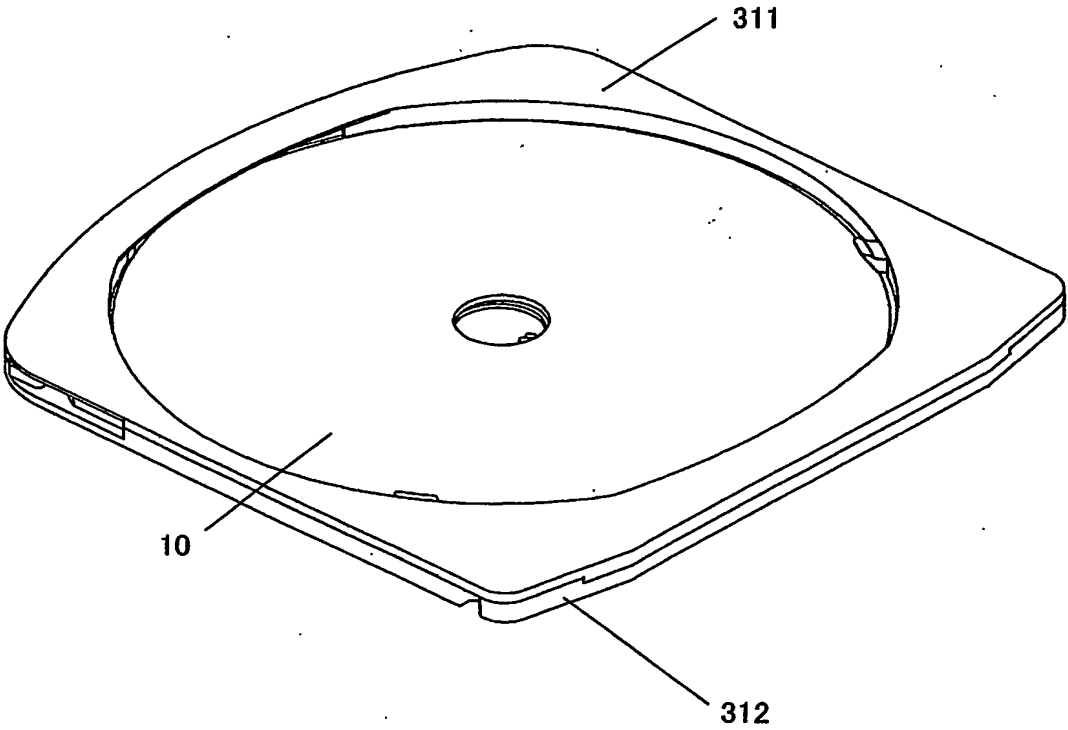
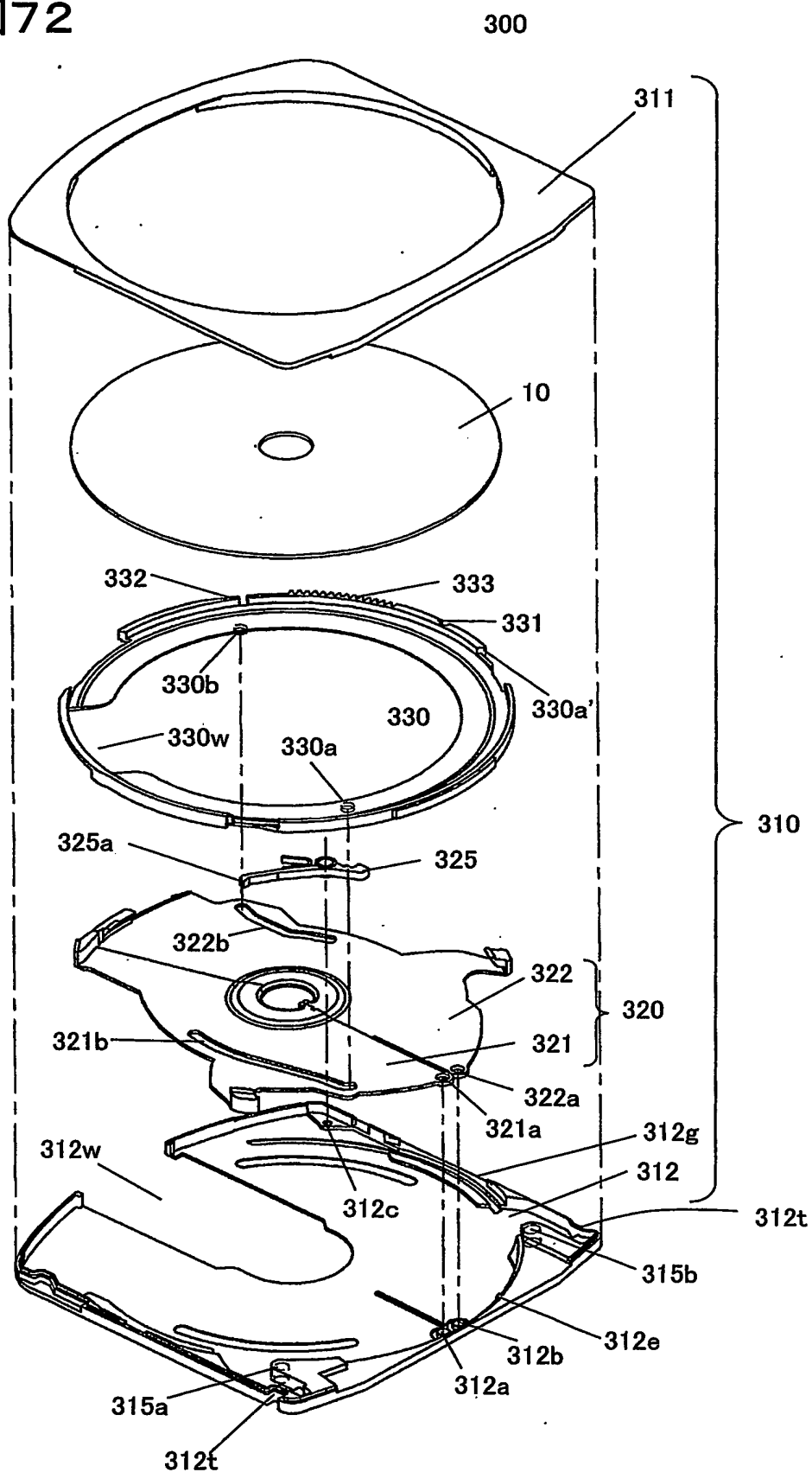


図72



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP03/13965

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int.Cl⁷ G11B17/04

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl⁷ G11B17/04, G11B23/03

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2003
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2003	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2003

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 2002-50148 A (Sony Corp.), 15 February, 2002 (15.02.02), Full text; Figs. 22 to 41 & US 2002/0031080 A & CN 2353256 A	1-27
A	WO 02/056313 A1 (Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.), 18 July, 2002 (18.07.02), Page 97; Figs. 65 to 68 & EP 1274082 A3	1-27

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier document but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
26 November, 2003 (26.11.03)

Date of mailing of the international search report
09 December, 2003 (09.12.03)

Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC)) Int. Cl ⁷ G11B17/04			
B. 調査を行った分野 調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC)) Int. Cl ⁷ G11B17/04 G11B23/03			
最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの 日本国実用新案公報 1922-1996年 日本国公開実用新案公報 1971-2003年 日本国実用新案登録公報 1996-2003年 日本国登録実用新案公報 1994-2003年			
国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)			
C. 関連すると認められる文献			
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号	
A	JP 2002-50148 A (ソニー株式会社) 2002. 02. 15, 全文, 第22-41図 & US 2002/0031080 A & CN 2353256 A	1-27	
A	WO 02/056313 A1 (松下電器産業株式会社) 2002. 07. 18, 第97頁, 第65-68図 & EP 1274082 A3	1-27	
<input type="checkbox"/> C欄の続きにも文献が列挙されている。 <input type="checkbox"/> パテントファミリーに関する別紙を参照。			
* 引用文献のカテゴリー 「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの 「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す) 「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願		の日の後に公表された文献 「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの 「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの 「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの 「&」 同一パテントファミリー文献	
国際調査を完了した日 26. 11. 03		国際調査報告の発送日 09.12.03	
国際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号		特許庁審査官 (権限のある職員) 岩井 健二 電話番号 03-3581-1101 内線 3590	